

令和5年度通常総会資料

暮らしのそばに、ほら世界。



一般社団法人 長崎国際観光コンベンション協会

一般社団法人 長崎国際観光コンベンション協会

令和5年度通常総会

日 時 令和5年6月20日(火) 午後4時
場 所 サンプリエール(長崎市元船町2-4)

会 次 第

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 来賓祝辞 長崎市 市長様
長崎市議会 議長様
- 4 議長選出
- 5 議事録署名人の選任
- 6 議案審議
第1号議案 令和4年度事業報告・・・P1～P37
第2号議案 令和4年度収支決算・・・P39～P71
第3号議案 定款の変更・・・P73～P76
第4号議案 役員改選・・・P77
- 7 報告事項
第1号報告 令和5年度事業計画・・・P79～P98
第2号報告 令和5年度収支予算・・・P99～P113
そ の 他
- 8 閉 会
- 9 懇 親 会

資料：一般社団法人長崎国際観光コンベンション協会 沿革・・・P115～P116

令和4年度事業報告

事業概況 P 2

1 DMO機能の強化

- | | |
|--|-----------|
| (1) 長崎市 DMO 事業計画 2021-2025 (後期3ヵ年) の策定 | P 3 |
| (2) マーケティング事業 | P 4 ~ P 5 |
| (3) 観光マスターブランド | P 6 ~ P 9 |
| (4) 観光分野における DX の推進 | P 9 ~ P11 |

2 国内誘致・消費拡大事業

- | | |
|--------------------|-----------|
| (1) 国内一般観光客の誘致宣伝 | P11 ~ P17 |
| (2) 国内修学旅行の強化 | P17 ~ P21 |
| (3) 国内一般観光客の消費拡大対策 | P21 ~ P23 |

3 インバウンド誘致・消費拡大事業

- | | |
|--------------------|-----------|
| (1) 誘致プロモーション・セールス | P24 ~ P26 |
| (2) 受入活動 | P26 |

4 MICE 誘致・消費拡大事業

- | | |
|----------|-----------|
| (1) 開催実績 | P26 ~ P28 |
| (2) 誘致活動 | P28 ~ P29 |
| (3) 受入活動 | P29 ~ P30 |

5 経営・財務基盤 その他

- | | |
|--------------------------|-----------|
| (1) 収益事業の運営 | P30 ~ P33 |
| (2) 地域受入基盤の強化 | P33 |
| (3) 長崎市観光関連施設の受託 | P33 ~ P34 |
| (4) 観光地域づくりの支援 | P34 ~ P35 |
| (5) 経営管理委員会の定期開催による事務局運営 | P35 |
| (6) 市が設定する外部評価制度への対応 | P35 |
| (7) 組織機構の見直し | P35 ~ P36 |
| (8) 財務体制の段階的見直し等 | P36 |
| (9) 会議運営等 | P36 ~ P37 |

事業概況

令和 2 年からの新型コロナウイルスの度重なる感染拡大により、社会経済が疲弊してきている中、ウクライナ情勢等による原油や原材料、食料価格の高騰などにより、経済だけでなく住民生活にも多大な影響を及ぼしており、そのあおりは観光業界にも大きく影響している。

このような状況の中、本協会は令和 4 年度において、国を挙げた国内観光再始動を基本軸としながら、「長崎市観光・MICE 戦略」及び「長崎市 DMO 事業計画 2021-2025」に基づき、訪問客の増加と観光消費の拡大を図るため、受入態勢の強化・磨き上げとセールス・プロモーションを両輪で行った。

特に、新型コロナウイルス感染症対策としては、長崎市から長崎県全体の取組みに拡大した宿泊・観光施設の取組みである「team NAGASAKI SAFETY（チームナガサキセーフティ）」などの安全・安心な観光・交流のまち「ながさき」づくりを着実に推進しながら、昨年 9 月 23 日の西九州新幹線開業を大きな契機として、交通事業者や新幹線沿線都市等と連携したプロモーションを実施し、開業効果の最大化と持続を図った。

また、「長崎市 DMO 事業計画」の後期計画（2023-2025）の策定をはじめ、マーケティングや長崎市観光マスターブランドの取組みなどの「DMO 機能の強化」を図るとともに、クロスメディアプロモーションなどによる国内一般観光客誘致や修学旅行のセールスなどの「国内誘致」、長崎県観光連盟と連携した周知事業や 2023 年世界水泳をフックとして福岡市などの九州他都市と連携したプロモーションなどの「インバウンド誘致」、そして、長崎 MICE 誘致推進協議会と連携した「MICE 誘致」にも、地元での消費拡大の取組みとあわせて重点的に取り組んだ。

事業報告

1 DMO 機能の強化

(1) 長崎市 DMO 事業計画 2021-2025ver2.0 (後期計画) 2023-2025 の策定

令和2年度からの5ヵ年計画である『長崎市 DMO 事業計画 2021-2025 ver1.0』について、前期2年(令和3年度・令和4年度)の振り返りと市場変化を踏まえ、令和5年度からの後期3ヵ年の事業推進に向けた計画の見直しを図った『長崎市 DMO 事業計画 2021-2025ver2.0(後期計画)2023-2025』を策定した。本計画策定にあたり、(公財)ながさき地域政策経済研究所の支援を受け、専門家や域内事業者で構成された検討委員会を計3回実施した。



<DMO 事業計画検討委員会>

役割	氏名 (敬称略)	役職
座長	米森 健太	有限責任監査法人トーマツ ディレクター
委員	沢登 次彦	じゃらんリサーチセンター長
委員	杉崎 健太	株式会社 MATCHA
委員	西本 恵子	一般社団法人 M I C E 総研 上席研究員
委員	平尾 武敏	株式会社 J T B 長崎支店長
委員	小林 央幸	稲佐山観光ホテル 専務取締役
委員	久野 隆紹	株式会社長崎自動車 取締役
委員	坂本 卓也	株式会社坂本屋 代表取締役
委員	松永 安市	長崎商工会議所 専務理事
委員	岸川 信吾	株式会社あかり 代表取締役
委員	石丸 忠直	株式会社石丸文行堂 代表取締役社長
委員	園田 幸四郎	長崎県観光連盟 専務理事
委員	柴田 恭郎	文化観光部 観光政策課長
オブザーバー	浦川 信一	文化観光部 観光交流推進室長
オブザーバー	町田 久幸	商工部 商工振興課長
オブザーバー	竹内 裕二	水産農林部 水産農林政策課長

(検討会 開催日)

第1回：令和4年 8月22日(月) 於：出島メッセ108会議室

第2回：令和4年10月19日(水) 於：平安閣 サンプリエール 3階ペルルの間

第3回：令和4年11月14日(月) 於：長崎バスターミナルホテル 第一会議室

(2) マーケティング事業【観光地域づくり事業】

① 観光動向調査

観光まちづくりマーケティングの基礎となる訪問客の定量データや旅行形態、満足度、消費額などの各種データ、潜在訪問客を含む観光市場全体の旅行ニーズ等のデータを収集、包括的に分析し、その結果を『長崎市 DMO 事業計画 2021-2025 ver.2 (後期計画 2023-2025)』や『令和 5 年度実施計画』の策定に反映させた。

ア 包括的マーケティングリサーチ

(ア)市場調査

- ブランド調査 (認知度・想起率、ランタンフェスティバル宣伝効果測定等)
- SNS 分析

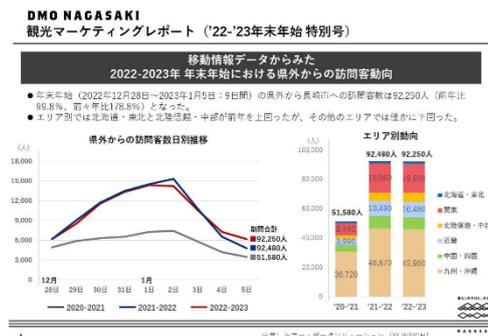
(イ)訪問客 (日本人) 調査 (アンケートによる観光動向調査)

(ウ)MICE 調査 (主催者・参加者調査)

(エ)事業者調査 (ブランド認知度、観光まちづくりについての評価)

(オ)市民アンケート (観光まちづくりに対する印象、長崎市観光の推奨度等)

(カ)マンスリーレポート、動画解説版の発行 (毎月、大型連休特別レポート等)



イ ビッグデータの購入・利用 (モバイル空間統計、DS.INSIGHT)

ウ データ分析ツール (Tableau) の使用

② イベント実施に伴う調査・分析

- 長崎ベイサイドフェスティバル (集客数、経済波及効果)
- 2023 長崎ランタンフェスティバル (集客数、アンケート調査 ※経済波及効果は令和 5 年度上期に実施)

③ 国道交通量・発地調査

観光統計の基礎資料として活用することを目的に、長崎市への自動車入込台数及び発地を調査した。(秋期、春期の 2 回実施)

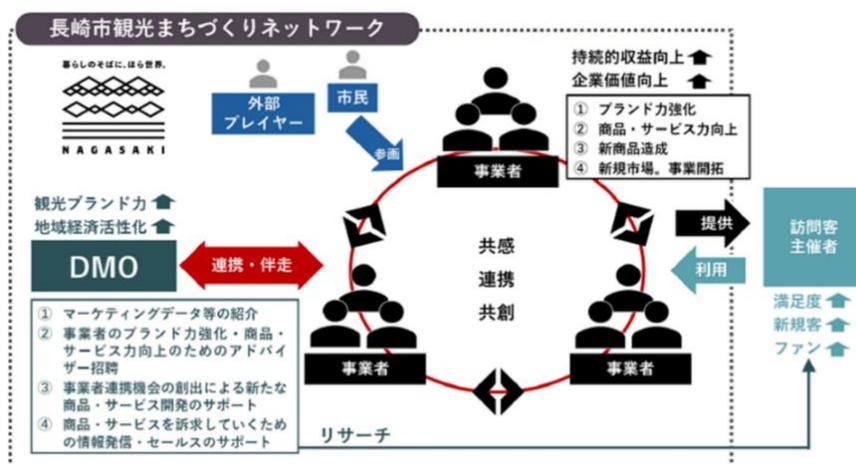
④ 地域プラットフォームの形成及び情報共有や課題解決策の検討・実施

背景：生活者の価値観や嗜好が急速に変化し、旅の目的も多様化している現代社会において、これまでの訪問客増加を追い求めるプロモーション先行の取り組み

ではなく、「観光まちづくりにおける抜本的な改革」が必要とされている。

目的：観光・MICE産業を取り巻く多様な事業者が、長崎市観光・MICE戦略が目指す観光まちづくりの方向性に共感し、能動的な相互連携や共創によって成長し続ける。

目標：域内の事業者や市民を中心として、DMOが伴走していくことで、域外の事業者や訪問客も巻き込んだ「共創」による商品やサービスの魅力向上や高付加価値化に持続的に取り組み、価値を高め続けていくことで、持続可能な観光まちづくりを目指していく。



上記を念頭に置き、令和4年度は、DMOの取組みや事業を域内の幅広い事業者
に理解を高めてもらうためのセミナーやワークショップを年間合計7回開催し、延
べ338人が参加。参加者における理解度平均は92.8%であった。

開催日	会場	タイトル	目的	登壇者	参加人数
8/19	出島メッセ長崎	DMOマーケティングセミナーVOL.4 ブランディングを学び、ビジネスチャンスに活かす！	【セミナー形式】 ①長崎市観光マスターブランドの理解促進を図る ②民間企業の事例をから、「正しいブランディング」が果たす役割を理解してもらい、各事業者のビジネスに活かしてもらう	シカク コピーライター 原晋氏	65名（現地26名 オンライン39名）
10/5	出島メッセ長崎	DMOマーケティングセミナーVOL.5 ブランディングを学び、ビジネスチャンスに活かす！第2弾 ～アイデアは誰の中にも眠っている～	【ワークショップ形式】 ①事業者が抱える課題を解決していくための「アイデアを創るための「型」を学んでもらう。 ②課題解決とともに、長崎市の新しい魅力として、実際にコンテンツ、プラン、プロダクトの消費へと繋げる。	シカク コピーライター 原晋氏	21名
11/21	出島メッセ長崎	DMOマーケティングセミナーVOL.6 サステナブルな視点で訪問客の体験価値を高め、ビジネスチャンスを生み出す！	【セミナー形式】 ①SDGs、サステナブル、エシカルなどのトレンドを学んでもらい、理解を深める。 ②サステナブルな事業企画立案のための理解を深める。	(株)博報堂 小田部巧氏	46名 (現地22名 オンライン24名)
1/19	長崎県美術館	DMOマーケティングセミナーVOL.7 サステナブルをビジネスチャンスに！暮らしのそばに、ほら世界の体験価値を考える	【ワークショップ形式】 ①長崎市版サステナブルツーリズムのしくみについて理解を得ってもらうため ②サステナブルな事業企画立案のための理解を深める。	(株)博報堂 小田部巧氏 (株)TNC 小祝晋士夫氏	15名
3/9・10	オンライン	長崎市観光まちづくりネットワークオンライン説明会	【説明会】 ①長崎市観光まちづくりネットワークに関して市内事業者に理解を頂き、参加者を募る。	DMO NAGASAKI	120名
3/16	出島メッセ長崎	長崎観光マーケティング・ラボ2023 今日から使える！夜景観光案内と観光データの読み解き方	【セミナー形式】 ①長崎における夜景観光のありかたを考え、一緒になっておもてなしの質の向上を図る。 ②DMOが持っているデータを使ったマーケティングの基礎的な手法を伝え、参加者の日常業務に活かしてもらう。	夜景評論家 丸々もとお氏 (公財)ながさき 地域政策研究所 鶴田貴明氏	78名 (現地51名 オンライン27名)

(3) 観光マスターブランド【観光地域づくり事業】

観光における長崎市の想起を高め、訪問意欲を喚起する域外向けのコミュニケーションと共に、市内事業者や市民へのブランド周知を図る取組みを行った。

① ブランド発表（令和4年4月25日）

田上市長、村木会長をはじめ4名のブランド検討委員とともに、「長崎市観光マスターブランド」の記者発表を実施した。

暮らしのそばに、ほら世界。



② 商標の出願と登録

スローガンとロゴマークの2種を特許庁へ出願し、登録が完了した。

③ 市内事業者のブランド活用に向けた使用規定の整備

事業者使用実績（令和4年度末）3件

④ 長崎市観光マスターブランドの周知・認知拡大施策

ア ブランド浸透に向けたグッズ制作（ポスター、名刺、クリアファイル等）

イ 長崎市観光マスターブランド映像制作



<https://www.youtube.com/watch?v=0x1C42Sgck4>

ウ ブランドコミュニケーション「長崎のふつうは、世間のふしぎ展」の開催

長崎市観光マスターブランドの域外向け（訪問客）の認知拡大施策として、「長崎のふつうは、世間のふしぎ展」を開催した。

(ア)リアル展覧会の実施（東京・大阪）

令和4年度におけるブランドコミュニケーション全体の話題喚起、ニュース創出を目的として、東京と大阪の情報拡散力が高い場所で開催した。



【東京開催】

- 開催日時 令和4年6月26日（日） 11:00～20:00

- 開催場所 代官山 T-SITE（東京都渋谷区猿楽町 17-5）
- 主催 （一社）長崎国際観光コンベンション協会
- 協賛 ソラシドエア（羽田＝長崎往復航空券）
- 入場者 約 1,000 人（うち、メディア関係者等約 30 名）

【大阪開催】

- 開催日時 令和 4 年 8 月 7 日（日） 11:00～19:00
- 開催場所 グランフロント大阪(北館 1F ナレッジプラザ大阪市北区大深町)
- 協業 JTB トラベルゲート大阪梅田店、エキマルシェ大阪店連動 PR
（店舗内でのふしぎ展の告知、長崎市観光コーナーの設置）
- 入場者 約 1,200 名

(イ) WEB 展覧会の実施

リアル展覧会と連動した常設展として定常的なブランドコミュニケーションを WEB 上で展開し、長崎市の魅力を訴求した。

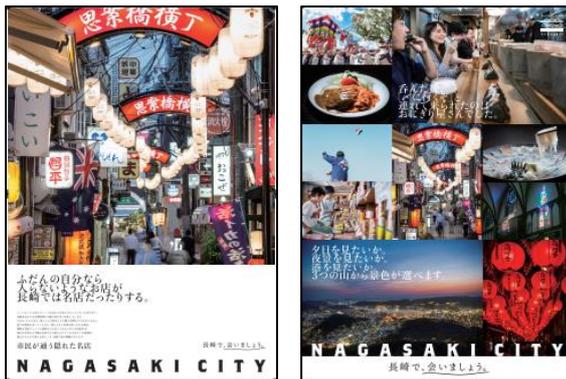


エ JR 長崎駅コンコースサイネージへの掲出

（掲出期間：令和 4 年 7 月～令和 5 年 3 月）

訪問客の旅ナカにおける情報発信及び市民の生活導線におけるタッチポイントとして駅の交通広告を継続的に活用することで、マスターブランドの周知を図った。

オ 西九州新幹線車内へのポスター掲出（2 種類）



カ 路面電車（長崎電気軌道）中吊り広告（全面）

（掲出期間：令和 4 年 9 月 20 日～26 日）

西九州新幹線開業に合わせて、路面電車全てのの中吊り広告に掲出し（6 か所 12 面）市民への周知を強化した。



キ 市内交通機関（長崎自動車株式会社）とのタイアップ

（実施期間：令和5年2月～令和7年1月予定）

市民への周知・認知拡大を目的に、長崎バス長崎空港線と長崎市内路線を走行する車両へのラッピングを実施中。



ク 全国交通機関（日本航空株式会社）とのタイアップ

（放映期間：令和5年3月1日～31日）

次の旅行先は長崎市へという動機付けを目的に、マスターブランドの世界観を魅力的に発信する動画を共同で制作し、JALの機内エンターテインメントのコンテンツの一つとして期間限定で放映した。

- 機内ビデオプログラム番組名：
「JAL でいく長崎 和華蘭の街」
（約2分）
- 放映路線：国内線全133路線のうち放映可能機材にて放映



ケ 東京メトロ半蔵門線への出稿（窓上ステッカー）

首都圏での認知及び想起率の向上を目指し掲出した。



コ 広告出稿

- 書籍『旅する出島』（長崎文献社 第2版 令和4年10月発売）
- 長崎新聞（9月22日）

西九州新幹線開業記念特集企画1ページを掲載し、インナーブランディングを目的に出稿した。

サ ローカルテレビ局事業への協賛

域内、域外からの集客が見込める事業において、「長崎市観光マスターブランド」動画を放映し、ブランド周知を図った。

- 10月15日～16日開催 KTN「SPA JAM」
- 11月5日～6日開催 KTN「LOVE FES2022」
- 3月4日～5日開催 KTN「Haru Fes」
- 3月4日～5日開催 NBC「NAGASAKI MUSIC JOURNEY」

(4) 観光分野におけるDXの推進【観光地域づくり事業】

① 訪問客向けワンストップシステムの強化

これまで個別での運用や分散されていた情報や機能を一元化し、個人の趣味嗜好に合わせて最適化された情報・商品・サービスの提供を目指し、新・長崎市公式観光サイトと着地型コンテンツサイトを西九州新幹線開業に合わせて同時公開した。



ア 長崎市観光公式サイト「travel nagasaki」の構築と運用

<https://www.at-nagasaki.jp/>

- システムと掲載内容を刷新し、名称を「あっ！とながさき」から「travel nagasaki」に変更した。
- 訪問客に合わせたおススメ情報の表示やメルマガ配信が可能なシステム、SNSを活用した双方向コミュニケーション機能などを導入した。また、AIチャットボットについては総合観光案内所でも展開し、機能学習を強化している。

イ 体験型商品予約・販売サイト「play nagasaki」の運用

<https://play.nagasaki-visit.or.jp/>

- WEBマガジン企画「play mag」による“長崎市の楽しみ方”の発信を強化した。(合計20記事作成)
- 商品掲載数 令和3年度末30商品 → 71商品に拡充した。
- BtoB向けページの制作



団体旅行やMICE等でのエクスカージョンやアフターコンベンション、滞在プランを作成する法人企業担当者や旅行会社担当者が「なぜ、長崎を選ぶべきか」「長崎で何を学んでもらえるか」等の視点で提案し易くなるWEBページを制作し、目的別の検索画面やモデルコースを設置した。

- 広告の出稿

7月8日付 長崎新聞「とととって motto」に1ページの広告を出稿した。

- 行動変容促進に向けた旅ナカ用チラシの作成

長崎市総合観光案内所や市内ホテルを中心とした36ヶ所への設置に加え、BtoBセールスでの活用や問い合わせのあったお客さまへの配布を行っ

た。

ウ グルメサイトの強化・運用（一般向けサイト「ナガサキ飯」）

<https://gourmet.nagasaki-visit.or.jp/jp/>

- これまで MICE 参加者向けであったグルメサイト「最初の晩餐」を、一般訪問客に対しても訴求を強化し、周遊促進と飲食消費額の拡大に向けた改修を行った。
- 特に“長崎市ならでの食の楽しみ”を伝える WEB マガジン仕立ての構成とし、特集記事 4 本を制作した。
- 運用管理の効率化と更新性を高めていくために、Google ビジネスプロフィールを活用した仕組みを構築した。
- 掲載店舗数 令和 3 年度末 224 店→300 店に拡充した。



② 市内事業者向けワンストップシステムの強化

市内の観光まちづくり事業者とのコミュニケーション強化を目的とした「DMO NAGASAKI 市内事業者向け情報サイト」（<https://www.at-nagasaki.jp/dmo>）を令和 5 年 3 月 7 日(火)に公開した。

- 長崎市や DMO の取り組み紹介だけでなく、国や関係団体の支援事業など各種情報の提供のほか、観光マーケティング情報の共有など、有益かつタイムリーな情報発信を行う。
- 「長崎市観光まちづくりネットワーク」メンバーを対象とした、DMO 主催セミナーのオンデマンド配信や、メンバーからの情報発信もできる機能を整えるなど、観光まちづくりの情報収集・発信の基盤として活用していく。



③ その他

ア 「長崎市 MICE 公式ホームページ」の改修と運用

- 日本語版については、観光 DX ワンストップサイトの法人向けプラットフォームに移設し、主催向けに特化した改修を行った（令和 5 年 2 月から新サイトの運用開始） <https://www.at-nagasaki.jp/mice>

- 英語版については既存サイトを活用し、適宜情報の更新を行った。

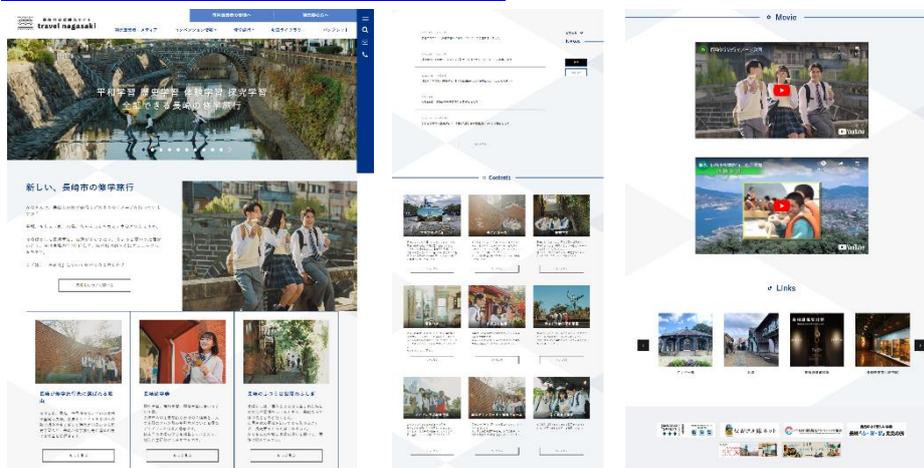
<https://mice.nagasaki-visit.or.jp/>



イ 修学旅行ナビ・平和ガイドサイトの改修と運用

観光 DX ワンストップサイトの法人向けプラットフォームに移設し、これまで個別運用していた修学旅行関連各サイトを一元化するとともに、旅行会社や学校にとって有益な情報をわかりやすく掲載した情報サイトへの刷新を図った（令和5年2月から新サイトの運用開始）

<https://www.at-nagasaki.jp/education>



2 国内誘致・消費拡大事業

(1) 国内一般観光客の誘致宣伝【観光地域づくり事業】

ポストコロナにおける長崎市の観光消費の早期回復と西九州新幹線開業効果の最大化に向け、「長崎市観光マスターブランド」を軸とした、訪問意欲創出、滞在満足度向上、消費拡大に繋がる企画を、デジタルとリアルメディアを効果的に組み合わせたクロスメディアプロモーション実施した。

① 誘致プロモーション

ア クロスメディアプロモーション

四季折々の過ごし方、世界新三大夜景、2つの世界遺産、長崎のもぎき恐竜パーク、魚を中心としたグルメなど多様な魅力とともに、歴史・文化・自然体験やランタンフェスティバル等のイベントを、WEB、雑誌、屋外広告等を組み合わせた誘致プロモーションを通年で実施した。また、戦略ターゲットを大都市圏（東京、大阪）と新幹線沿線都市（岡山、広島、北部九州）在住のクリエイティブクラス・Z世代に設定し、施策を展開した。

(ア) ポストコロナ及びシーズンプロモーション

		知識層 (クリエイティブクラス)	ジェネレーション Z	富裕層
ターゲット層		25～35歳の芸術、観光、グルメ、歴史、ライフスタイルなどに興味関心を持つ世帯年収500万円以上の方	18～27歳の長崎市、観光、旅行に興味関心を持つ方	学士号・博士号を持つ30歳以上で、観光、高級ホテル、旅行に興味関心を持つ世帯年収1,500万円以上の方
全体の方向性		<p>① 令和3年度に構築した観光マスターブランドを軸、下記ア、イのプロモーションを複合的に実施した。 ア「ポストコロナ回復、新幹線開業を契機としたプロモーション」(以下ポストコロナプロモ) イ「国内誘客プロモーション」(以下シーズンプロモ)</p> <p>② ポストプロモは観光消費の早期回復、シーズンプロモは消費拡大とともに旅の過ごし方を具体的に訴求した。</p> <p>③ オンライン、オフラインメディアを交えたクロスメディアプロモーション展開を行った。</p> <p>④ 体験や飲食といったコンテンツサイトへの導線を設置、消費拡大を企図した。</p> <p>⑤ ディスプレイ広告、検索連動広告、動画広告として下記媒体を中心に投稿し各記事に誘導した。</p> <p>⑥ 記事や広告では世界新三大夜景、世界遺産、魚、恐竜、歴史・文化・自然体験などを紹介した。</p>		
(ア) ポストコロナプロモ	設計	テーマ 「長崎のふつうは、世間のふしぎ。」		
		WEB プロモーション		リアルプロモーション (ブランド訴求【再掲】)
		特設LP	WEB 広告	イベント・広告等
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ● 新しい旅先として長崎を認知させ、訪問意欲を喚起することを目的に制作し、観光消費拡大を企図した旅の予約ページや体験コンテンツサイト等への誘導導線を配置した。 <p>https://www.at-nagasaki.jp/promotion/2022/</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 西九州新幹線開業に合わせて、上記 LP 内にトピックス記事を追加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ● Google、Instagram、YouTube、SmartNews、Gunosy、楽天トラベルの各媒体を用い、左記 LP へ誘導する広告を出稿した。  <ul style="list-style-type: none"> ● 新幹線開業期には、福岡、広島、岡山エリアに重点的に出稿した。 ● 秋のシーズンプロモーションと連動し、全国旅行再開に合わせて着地型体験商品や滞在コンテンツ等を楽天トラベルサイト内で記事掲載した。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「長崎のふつうは、世間のふしぎ展」の開催 (東京・大阪)  <ul style="list-style-type: none"> ● 長崎新聞 広告 西九州新幹線開業記念特集号へ1ページ掲載  <ul style="list-style-type: none"> ● 路面電車 (長崎電気軌道) 中吊り広告 

		テーマ あれも！これも！それも！NAGASAKI		
設計	WEB プロモーション	リアルプロモーション		
	特設 LP/WEB 広告	冊子制作/広告出稿/メディア招聘/イベント告知		
(イ) シーズンプロモ	実施内容	<p>シーズンごとにZ世代、クリエイティブクラス層に向けたモデルコースを造成し、ポストコロナ特設LPへ掲載、誘導する広告を出稿した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 夏プロモーション 7月29日～8月31日 「長崎には終わらない夏がある」 長崎らしい夏の過ごし方として伊王島のビーチと島内スポットを提案した。   <ul style="list-style-type: none"> ● 秋プロモーション 9月1日～11月30日 「長崎を“さるく”なら季節は秋」 居留地時代からまちなかに残る史跡やエピソードに着目したモデルコースを公開した。   <ul style="list-style-type: none"> ● 冬プロモーション 12月1日～ 「冬の長崎は、“来てよかった”が口ぐせです。」 冬にしかできない長崎に着目したモデルコースを公開した。  	<ul style="list-style-type: none"> ● 冊子制作 令和3年度にテストマーケティングとして実施したクリエイティブクラス層に向けた取組み「#長崎人の週末野心」を印刷し、訪問客への配送や観光案内所に設置した。  <ul style="list-style-type: none"> ● メディアの招聘 8月24日～26日 ライフスタイル系全国誌、WEB マガジン編集者を対象としたプレスツアーを実施した。 ● メディアの出稿 ・9月6日発売 「Discover Japan10月号」 ・12月6日発売 「Discover Japan1月号」 	<ul style="list-style-type: none"> ● イベントプロモーション ・長崎ベイサイドフェスティバル  <ul style="list-style-type: none"> ・2023長崎ランタンフェスティバル  <p>長崎県内、福岡県内とその周辺に対し、TVCM放送による周知と来訪動機の創出を行った。</p> 

(イ)メディア招聘

ライフスタイル系全国誌、WEB マガジン編集者を対象としたプレスツアーを実施。クリエイティブ層・富裕層をターゲットにする発信力の高いメディア 8 社を招聘し、14 誌に掲載された。ブランドスローガン「暮らしのそばに、ほら世界。」を連想させる新たな長崎の魅力を紹介し記事化を促した。

<招聘、掲載媒体名>

クロワッサン、hanako、marisol、T-JAPAN、numero、CREA、BRUTUS、casa BRUTUS

<掲載事例>

『クロワッサン (令和 4 年 9 月 8 日発売)』



クロワッサン (マガジンハウス) 9/6売 誌面 表紙・企画扉

『casa BRUTUS (令和 4 年 12 月 8 日発売)』



(ウ)ライフスタイル系雑誌への出稿

令和 3 年度から継続してクリエイティブクラス向けのライフスタイル雑誌「Discover Japan」に特集記事を掲載した。

- 9 月 6 日発売 「Discover Japan10 月号」 4 ページ

西九州新幹線開業特集号にブランドメッセージと連動した編集企画を掲載した。「世界の料理は、長崎でひとつになる。」「海からやってきた文化は、あれも、これも、それも。」という編集テーマでグルメ、世界遺産、工芸のほか外海地区を紹介した。



- 12月6日発売「Discover Japan1月号」 10ページ+表紙

「酒と肴」特集に合わせ、ランタンフェスティバルの告知とともにあたたかい長崎の過ごし方をテーマに「おでん」を訴求。ランタンフェスへの訪問時におけるナイトタイム消費のモデルを生活者へ提案した。



イ SNS（オウンドメディア）の活用

「長崎市公式観光情報（Instagram）@travel nagasaki」

観光における情報検索として Instagram の活用が増加している現状を踏まえ、クリエイティブクラス層やZ世代向けに、新たな観光スポットや体験コンテンツ、グルメ、イベント情報等の旬のトピックをタイムリーに情報を発信した。また、フォロワー数も年度初の1,111名から4,133名と大幅に増加させることができた。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
記事投稿数	22	3	15	13	15	16
フォロワー数	1,111	1,374	1,512	1,900	2,151	2,335
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
記事投稿数	11	18	17	33	32	8
フォロワー数	2,409	2,468	2,839	3,660	4,054	4,133



ウ デジタルサイネージの運用

長崎駅西口及び9月23日にリニューアルオープンした長崎市総合観光案内所内に設置されたデジタルサイネージを活用し、着地型コンテンツ訴求の他、まちなかや出島メッセ長崎のイベント情報等を配信した。

エ 着地型観光マップ等の作成・印刷・発送

- 「長崎 MAP」日本語、英語、韓国語、繁体語、簡体語のデータ作成と印刷
- 各種パンフレットの在庫管理と発送

オ イベントのパンフレット等の作成、広告・宣伝

(ア)長崎ベイサイドフェスティバル

- 告知ツール（ポスター、パンフレット）を作成し市内外事業者等へ発送した。
- 福岡、佐賀、長崎、熊本エリアの18歳以上男女をターゲットにWEBプロモーションを実施した。



(イ) 2023 長崎ランタンフェスティバル

- 告知ツール（ポスター、パンフレット）を作成し市内外事業者等へ発送した。
- 福岡、佐賀、長崎、熊本エリアの18歳以上男女をターゲットにWEBプロモーションを実施した。
- 特設WEBページを制作し、Instagram (@travelnagasaki) を活用したプロモーションを実施した。



- 域内マスメディアへの出稿

（期間 1月16日～2月4日）

長崎県内、福岡県内とその周辺に対し、TVCM放送（15秒）による周知と訪問動機の創出を行った。

② 誘致セールス【観光地域づくり事業】

九州観光機構、長崎県観光連盟等が主催する商談会への参加や旅行会社へ訪問セールスを実施するとともに、事業者との良好な関係を構築しながら、訪問客の誘致強化を図った。（商談件数：107件、訪問セールス：117件）

ア 個人型・団体型旅行商品の仕入造成担当者との商談

イ 法人旅行担当者との商談

ウ 旅行会社への訪問

エ 関西の旅行会社店舗での「長崎プロモーション」の提案

- オフ期対策として、関西の旅行会社店舗でランタンや長崎市の観光ツールをディスプレイした長崎コーナーを設置したプロモーションを提案・実施した。

実施店舗：JTB 直営店舗（2府4県）56店舗内、
大型10店舗では特別展開を実施した。

実施内容：長崎市観光情報の発信、ランタン装飾、
長崎でしか出会えないモノを設置した。



動画配信：JTB 会員（140 万人）へ長崎市の観光動画を配信した。

オ 長崎市水産農林部と連携した旅行商品の開発

- 長崎市水産農林部と連携して、地元事業者の協力により「戸石とらふぐ」「ふぐ・あじの養殖場の見学」をツアーとして造成し、旅行会社の募集型企画旅行で販売した。（旅行期間：令和 5 年 1 月～2 月）



(2) 国内修学旅行の強化

① 実績（宿泊客数、ガイド活動、遊学券）

ア 長崎市修学旅行延べ宿泊者数

令和4年	令和3年	前年比	平成30年	平成30年比
291,733 人	160,650 人	181.6%	233,371 人	125.0%

令和 4 年の長崎市への修学旅行延べ宿泊者数（長崎県観光振興課 速報値 2,291 校 291,733 人 前年比 181.6%）は、昨年中止した学校が戻りつつあり、海外及び沖縄方面を予定していた学校（主に高校生）が、長崎市へ振り替えられたため増加した。また、民泊の受入ができないために長崎市の連泊も増え、コロナ禍前の平成 30 年と比較しても 125.0%であり、大きく上回った。

イ ながさき平和・歴史ガイド【長崎市からの受託事業】

区分	内訳	令和 4 年度	令和 3 年度	前年度比	平成 30 年度	平成 30 年度比
小学校	学校数	292 校	259 校	112.7%	289 校	101.0%
	案内人数	18,366 人	15,177 人	121.0%	19,196 人	95.7%
	延べガイド数	2,072 人	1,735 人	119.4%	2,068 人	100.2%
中学校	学校数	124 校	61 校	203.3%	83 校	149.4%
	案内人数	12,271 人	4,262 人	287.9%	8,398 人	146.1%
	延べガイド数	1,358 人	482 人	281.7%	909 人	149.4%
高等学校	学校数	79 校	48 校	164.6%	37 校	213.5%
	案内人数	9,711 人	4,641 人	209.2%	4,968 人	195.5%
	延べガイド数	1,059 人	509 人	208.1%	546 人	194.0%
合計	学校数	495 校	368 校	134.5%	409 校	121.0%
	案内人数	40,348 人	24,080 人	167.6%	32,562 人	123.9%
	延べガイド数	4,489 人	2,726 人	164.7%	3,523 人	127.4%

沖縄や海外を予定していた学校の振り替えや、修学旅行を中止していた学校の増加により、前年はもちろん、コロナ前の平成 30 年度と比べても、案内人数が大幅に増加した。

ウ 長崎遊学券の販売【販売事業】

長崎市内の主要観光施設 8ヶ所の入場券と、人気観光施設 20ヶ所の割引券がついた修学旅行生のためのガイドブック付き観光施設入場券「長崎遊学券」を販売した。

- 無料入場施設：グラバー園、出島、亀山社中記念館、長崎原爆資料館、長崎歴史文化博物館、シーボルト記念館、旧香港上海銀行長崎支店記念館、孔子廟・中国歴代博物館
- 販売金額：小学生用 500 円、中学生用 550 円、高校生用 650 円
- 年間販売冊数：合計 87,206 冊（前年度比 151.5% / H30 年度比 100.9%）
- 年間売上金額：50,905,700 円（同 152.7% / 同 107.4%）

区分	内訳	令和 4 年度	令和 3 年度	前年度比	平成 30 年度	平成 30 年度比
長崎 遊学券	小学生用	16,950 冊	14,204 冊	119.3%	29,184 冊	58.1%
	中学生用	32,357 冊	19,386 冊	166.9%	29,006 冊	111.5%
	高校生用	37,899 冊	23,955 冊	158.2%	28,183 冊	134.4%
	合計	87,206 冊	57,545 冊	151.5%	86,373 冊	100.9%

ながさき平和・歴史ガイドと同じく、長崎遊学券の販売冊数もコロナ禍前と比べ増加した。沖縄や海外の振替により高校生の利用が大幅に増えたものの、小学生については大分県内の小学校の変更（県内実施）に伴い減少した。

② 国内修学旅行の誘致【観光地域づくり事業】

ア セールス活動

誘致獲得に向けて、長崎市、長崎県、長崎市宿泊施設協議会とセールス情報を共有しながら、修学旅行地としての長崎市を PR した。（営業・商談数：38 件）

<主たる活動>

- 長崎市東京事務所及び市内事業者（観光施設、宿泊施設、交通事業者）との連携強化
- 旅行会社の仕入担当者及び教育旅行担当者との商談
- 学校へのアプローチ
- 旅行会社へ「長崎 SDGs 平和ワークショップ」の提案
- 西九州新幹線を利用したモデルコースの提案
- 「長崎スタジアムシティプロジェクト」の紹介

イ 情報発信・提供

(ア) 修学旅行ナビ・平和ガイドサイトの運用

観光 DX ワンストップサイトの法人向けプラットフォームに移設し、これまで個別運用していた修学旅行関連各サイトを一元化するとともに、旅行会社や学校にとって有益な情報をわかりやすく掲載した情報サイトへの刷新を図った。（令和 5 年 2 月から新サイトの運用開始）

<https://www.at-nagasaki.jp/education>



(イ) 新たなセールスキットの制作

旅行会社や学校に関心を持ってもらえるよう、新たな平和学習ツールなど、これからの新しい「長崎の修学旅行」を訴求するためセールスツールを制作した。

● 長崎修学旅行プランニングガイド（概要版）の作成

新しい長崎市の修学旅行の特徴・セールスポイントをわかりやすく、且つ興味を引く構成とした。



● セールス用動画制作

長崎の修学旅行の中心は平和学習であるが、現在のニーズに即した長崎ならではの歴史学習や体験学習など、豊富なメニューがあることを知っていただくことや、観光スポットや景色ではなく、学生たちを主体に撮影することにより、修学旅行らしい“楽しさ”も訴求する動画を制作した。

<https://youtu.be/10iATFKbNwA?list=TLGgle3OPnAYj9MyMTA0MjAyMw>



(ウ)長崎修学旅行プランニングガイドの作成

修学旅行誘致活動において、学校及び旅行会社へ長崎をPRするツールとして活用するパンフレットを制作した。(制作部数：5,000部)

(エ)修学旅行専門誌への情報掲載

日本修学旅行協会の竹内理事長を招聘し、長崎の新しい修学旅行の取材及び講演会を実施したことで、「月刊教育旅行(1月号)」に長崎の平和学習を包括的に捉えた内容の記事が掲載され、効果的なPRに繋げることができた。



③ 国内修学旅行の受入

ア ながさき平和・歴史ガイドの運営【長崎市からの受託事業】

- 登録ガイド数 156名 (対前年比 100%)
- 全体会議、班長会議の開催

会議	回	日程	場所	参加人数
班長会議	第1回	7月8日	出島交流会館	10名
	第2回	2月21日	〃	9名
全体会議	第1回	8月19日	長崎歴史文化博物館	60名
	第2回	3月10日	〃	65名

班長会議では、各班の班長と活動の方向性の確認や班活動の現状把握、課題について意見交換を行った。全体会議では、令和4年度の振り返り及び令和5年度に向けた取組みについての説明と意見交換を行った。

- 歴史ガイド研修の実施

日程	居留地エリア	出島・新地エリア	眼鏡橋エリア	参加人数
9月11日(日)	12名	15名	3名	30名
9月12日(月)	7名	5名	11名	23名
9月16日(金)	16名	13名	7名	36名
9月17日(土)	7名	8名	11名	26名
合計	42名	41名	32名	115名

歴史ガイドの定番である前記3コースを対象に、新人ガイドの秋季繁忙期の実践と、既存ガイドのスキルアップを目的とした研修を実施した。

● 新規ガイド育成研修の実施

平和・歴史ガイド応募者17名を対象に、座学と現地での研修を実施し、15名をガイド登録した。

研修期間：7月20日(水)～9月2日(金) 研修回数：10回

イ 体験プログラムの開発・受入【販売事業】

(ア) 新学習指導要領に対応したアクティブラーニングを可能とした「長崎 SDGs 平和ワークショップ」の販売（実績：3校 421名）

(イ) 修学旅行生（中学校・高等学校）向けのデジタル学習ツール「長崎平和 AR アプリ」の販売（実績：1校 41名）



(3) 国内一般観光客の消費拡大対策

① サステナブルツーリズムの推進【観光地域づくり事業】

背景：社会環境や消費スタイルが大きく変化している現代において、「サステナブル」な取組み内容が、訪問先を選ぶ新基準へとシフトしている。

国連世界観光機関（UNWTO）では「旅行者、観光関連産業、自然環境、地域社会の需要を満たしつつ、経済面・社会面・環境面の影響も十分考慮に入れた観光」として「サステナブルツーリズム」を定義しており、世界中で「持続可能な観光」の取組みが加速している。

目標：長崎市観光 MICE 戦略に掲げる「選ばれる 21 世紀の交流都市」の実現に向け、「環境、歴史文化、経済が持続可能となる観光まちづくり」の仕組みを構築する。

実施事業：市内滞在コンテンツの現状調査と事業者と連携した磨き上げを検討と、事業者を対象としたセミナーとワークショップを実施した。



開催日	会場	タイトル	目的	登壇者	参加人数
11/21	出島メッセ長崎	DMO マーケティングセミナーVOL.6 サステナブルな視点で訪問客の体験価値を高め、ビジネスチャンスを生み出す！	【セミナー形式】 ①SDGs、サステナブル、エシカルなどのトレンドを学んでもらい、理解を深める。 ②サステナブルな事業企画立案ための理解を深める。	(株)博報堂 小田部 巧氏	46名 (現地22名 オンライン24名)
1/19	長崎県美術館	DMO マーケティングセミナーVOL.7 サステナブルをビジネスチャンスに！暮らしのそばに、ほら世界の体験価値を考える	【ワークショップ形式】 ①長崎市版サステナブルツーリズムのしくみについて理解を得るため ②サステナブルな事業企画立案ための理解を深める。	(株)博報堂 小田部 巧氏 (株)TNC 小祝 誉士夫氏	15名

② まち歩き観光「長崎さるく」の運営

ア 「長崎さるく情報発信等」【長崎市からの受託事業】

長崎市への訪問客誘致や消費行動の拡大に繋げることを目的に、長崎市のまち歩き観光「長崎さるく」の情報発信等を行った。

(ア) SNS (instagram) による情報発信

(イ) 各種広告掲載 (全 10 件)

- 広報ながさき (6月号、9月号、1月号、2月号、3月号)
- 観光施設、公共施設等へのポスター掲出 (11カ所)
- 路面電車内ポスター広告掲出 (6/18土~1年間)
- 長崎原爆資料館電停電照広告掲出 (6/21火~1年間)
- 長崎空港シャトルバス背面広告掲出 (6/24金~3/31金)
- ながさきプレス (9月号 特集4ページ)
- 西九州新幹線開業特集 HP ページ開設(8/30~9/25)
- 長崎文化放送 (観光案内所リニューアルとまち歩き 9/14取材、9/23放送)
- DC 関係の冊子 (旅の手帖 11月号、Please)
- 長崎ランタンフェスティバル特集 HP ページ開設 (11/30~2/5)



(ウ)長崎さるくホームページ運営

- まち歩き団体の紹介：6団体

長崎ストーリーズ、長崎の風、長崎コンプラドール、小島昭徳氏、東秀信氏、長崎さるく石だたみの会

※その他、常駐ガイド（出島、グラバー園、亀山社中記念館）、池島炭鉱体験、外海キリシタンガイド、ながさき平和・歴史ガイド



- まち歩き観光の紹介（掲載商品数：累計 273 商品）
- ガイドの紹介（掲載ガイド人数：74 名）※掲載許可 5 団体のガイド



- 長崎さるく参加者数（施設常駐ガイドとながさき平和・歴史ガイドを除く）
参加者数：2,531 件 7,023 名

③ 体験型コンテンツ造成や観光地機能向上事業等の活用【実施主体：観光庁、県等】

長崎市の滞在満足度向上のために、域内外の事業者が申請主体となった事業に DMO として連携し、コンテンツ造成に係るモニタツアーへの参加や情報発信の等の伴走支援を行った。

事業名	主体事業者	内容
観光庁 地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品創出事業	大成不動産システム株式会社	長崎ならではの恐竜体験を主体とした野母崎地域の滞在コンテンツ造成
	株式会社産経デジタル	坂道×e-bike を観光資源へ。ROUTE と連携した長崎市における新たなサイクリングコンテンツ造成

3 インバウンド誘致・消費拡大事業【観光地域づくり事業】

(1) 誘致プロモーション・セールス

入国規制緩和後のV字回復に向けて、WEBを中心に個人旅行者（FIT）向けの情報発信を行った。

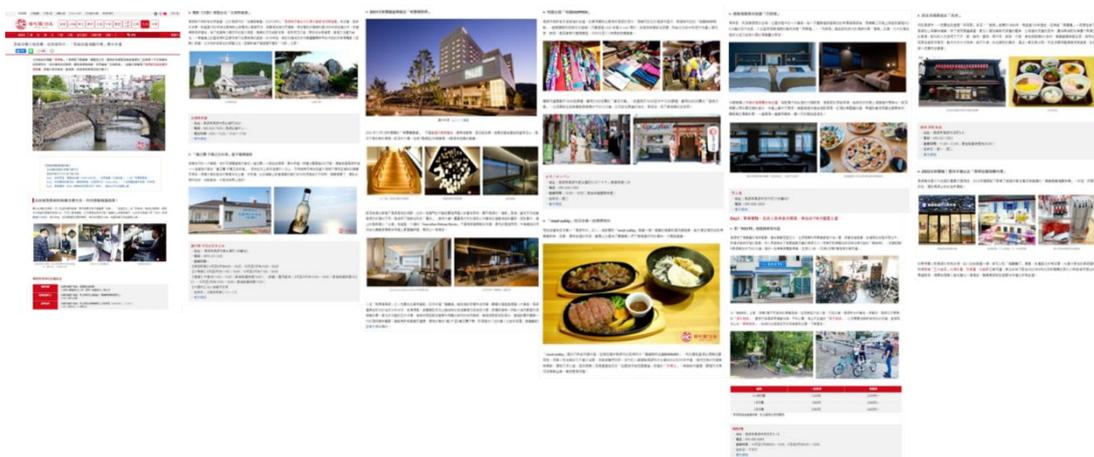
① 多言語 WEB サイト連携

訪問客に対しより有益な情報を発信できるよう、これまで長崎市で単独運用していた多言語 WEB サイトを大きく見直し、長崎県観光連盟が運用する観光サイト「DISCOVER NAGASAKI」と連携した新サイトを構築し公開した。

② 台湾・香港向けプロモーション

訪日観光情報メディア「樂吃購(ラーチーゴー)！日本」へ長崎市観光情報の記事を掲載するとともに、台湾国内への広告配信を行った。

<https://kyushu.letsgojp.com/archives/529837/>

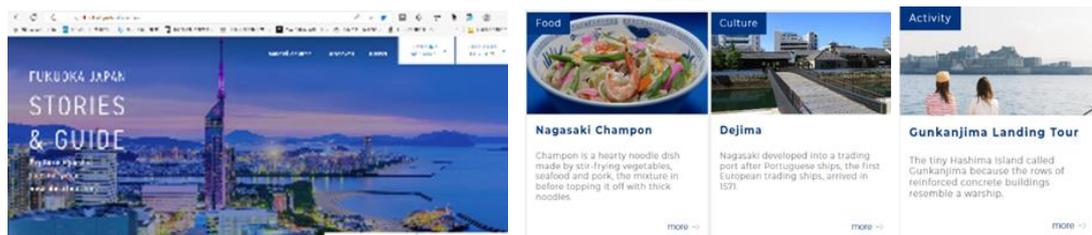


③ 欧州・豪州向けプロモーション

ア 2023年世界水泳をフックとした誘客プロモーション

2023年7月に開催される世界水泳を契機に、福岡・九州を訪れる欧米豪市場をターゲットにした他市町との連携プロモーションを展開した。専用WEBサイト「Fukuoka Kyushu Travel Guide」

(<https://fukuoka-kyushu-travel.com/>)に、「出島」「ちゃんぽん」「軍艦島」の記事を掲載し、長崎市の認知度アップとともに誘客促進を図る施策として実施した。



イ ドイツ向け広告配信等

ドイツ向けに制作した動画を活用した youtube 広告を配信した。

- SNS 配信用に 2 種（オムニバス（60 秒）と SNS 用短編（30 秒））制作し、当該ページから長崎県観光連盟が運営する「Discover Nagasaki」にリンク設定してより深い情報を取得できるように導線設計した。
- ランディングページの制作
（ドイツ語公開日：令和 5 年 2 月 20 日）
<https://welcome-nagasaki-city.com/>



ウ 雑誌社招聘ツアー

令和元年度から誘致活動を実施しているドイツ市場を継続的に強化する為、スイス雑誌社「Schweizer Familie」の招聘ツアーを実施した。

- 掲載日：2022 年 11 月掲載 8 ページカラー（他都道府県の記事含む）
- 取材内容：中華街、出島、眼鏡橋、稲佐山、出島ワーフ、ROUTE（体験）



<取材の様子>



④ セールスツールの制作

海外現地及び招聘時の活用できるデジタルパンフレット（3 言語：英語、韓国語、繁体語）と簡易動画を制作した。

- タイトル：Greatest Nagasaki city
- 全 12 ページ オールカラー
- グルメ、体験のほか外海、南部を巡るモデルコースを掲載



⑤ セールス活動

ア 商談会及び訪問セールス：33 件

首都圏で、九州インバウンド商談会やランドオペレーターへの訪問セールスを実施して、長崎の最新情報や体験コンテンツを提案して商品造成を依頼した。また、香港・台湾の旅行会社や JNTO 現地事務所を訪問しセールスを行い、インバウンド旅行の動向や商品の最新情報をヒアリングして、長崎の送客を依頼した。

イ 旅行社・メディア等のキーパーソン招聘

JNTO や長崎県観光連盟と連携し、米国、シンガポール、韓国、フィリピンからキーパーソンを招聘（15社18名）した。EU加盟国連合大使訪問団の滞在コースの提案及び手配をDMOがワンストップで受注、また米国人学習型ツアーの商品造成・誘客を獲得した。

(2) 受入活動

多言語版飲食サイト「EAT NAGASAKI」の運用・保守管理

多言語メニュー作成支援システム（飲食店等が日本語のウェブシステムを利用し外国語でメニューを作成できるシステム）の運営を行った。

※令和5年3月末時点 外国人向け店舗検索サイト掲載店舗数 203店舗

4 MICE 誘致・消費拡大事業

(1) MICE 開催実績

① 長崎市における MICE 開催件数・人数（令和4年1月～12月開催）

令和4年3月に新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるまん延防止等重点措置が解除されて以降、大型 MICE も開催されるようになり、大会種別、分野別ともに件数、人数は前年を大幅に超える結果となった。

（単位：件、人）

大会種別	件数			人数		
		構成比	前年比		構成比	前年比
学会・大会等	233	15.5%	382.0%	48,362	4.2%	277.4%
会議・研修会・ 一般会議・ シンポジウム等	637	42.3%	505.6%	60,087	5.2%	264.9%
展示会・ イベント等	241	16.0%	207.8%	827,142	72.1%	541.4%
スポーツ	249	16.5%	181.8%	186,313	16.3%	280.3%
その他	146	9.7%	304.2%	24,610	2.2%	273.9%
合計	1,506	100%	308.6%	1,146,514	100%	427.3%

（単位：件、人）

分野別	件数			人数		
		構成比	前年比		構成比	前年比
政治・経済・ 法律	63	4.2%	393.8%	19,322	1.7%	538.7%
科学・技術・ 自然	83	5.5%	638.5%	90,509	7.9%	1477.0%

医学	115	7.6%	338.2%	20,686	1.8%	206.2%
産業	81	5.4%	736.4%	6,387	0.5%	47.0%
芸術・文化・ 教育	328	21.8%	215.8%	251,583	21.9%	286.2%
社会	135	8.9%	187.5%	31,577	2.8%	183.0%
運輸・観光	35	2.3%	388.9%	42,902	3.7%	5047.3%
社交・親善	9	0.6%	450.0%	1,002	0.1%	589.4%
宗教	6	0.4%	600.0%	2,980	0.3%	993.3%
スポーツ	287	19.1%	202.1%	194,581	17.0%	292.7%
その他	364	24.2%	1011.1%	484,985	42.3%	781.6%
合 計	1,506	100%	308.6%	1,146,514	100%	427.3%

【参考資料】出島メッセ長崎 開業1年目実績（令和3年11月～令和4年10月）

催事 種別	人数規模	目標		実績（確定値）	
		件数	利用者数	件数	利用者数
学会	500人未満	10件	5,800人	26件	2,485人
	500人以上	8件	13,800人	3件	2,317人
	1,000人未満				
	1,000人以上	6件	31,200人	3件	4,950人
	小計	24件	50,800人	32件	9,752人
一般 会議	500人未満	650件	82,500人	1,534件	47,279人
	500人以上	34件	26,000人	17件	10,797人
	1,000人未満				
	1,000人以上	14件	47,000人	10件	20,117人
	小計	698件	155,500人	1,561件	78,193人
イベ ント 展示	500人未満	-	-	27件	3,924人
	500人以上	10件	7,500人	4件	2,216人
	1,000人未満				
	1,000人以上	43件	396,500人	38件	569,758人
	小計	53件	404,000人	69件	575,898人
総計（達成率）		775件	610,300人	1,662件 (214%)	663,843人 (109%)

② コンベンション開催補助金利用件数（令和4年4月～令和5年3月開催）

オンライン開催からリアル開催、ハイブリッド開催に移行し、前年より増加した。

<文化・学術コンベンション（九州大会以上）>

延べ宿泊者数	助成額	件 数	
		令和4年度	令和3年度
200人以上 300人未満	200,000円	3件	0件
300人以上 500人未満	300,000円	5件	2件
500人以上 1,000人未満	500,000円	3件	1件
1,000人以上 1,500人未満	1,000,000円	1件	0件
1,500人以上 2,000人未満	1,500,000円	2件	0件
2,000人以上 3,000人未満	2,000,000円	0件	0件
3,000人以上	3,000,000円	0件	0件

<文化・学術コンベンション（各県持ち回り九州大会）>

延べ宿泊者数	助成額	件 数	
		令和4年度	令和3年度
200人以上 300人未満	100,000円	2件	0件
300人以上 500人未満	150,000円	0件	0件
500人以上 1,000人未満	250,000円	0件	0件
1,000人以上 1,500人未満	500,000円	0件	0件
1,500人以上 2,000人未満	750,000円	0件	0件
2,000人以上 3,000人未満	1,000,000円	0件	0件
3,000人以上	1,500,000円	0件	0件

(2) 誘致活動（長崎 MICE 誘致推進協議会との連携）

① セールス（誘致件数 13 件）

ア 訪問セールス：249 件

長崎市、（株）ながさき MICE、DMO の 3 者連携を強化し、長崎 MICE ブランドを軸とした情報発信や、「安全・安心」な開催を基本に経済効果が期待される学会や大会等の戦略的誘致を行った。

※県内企業・団体（109 件）、県内大学（89 件）、首都圏（50 件）、福岡（1 件）

イ キーパーソン招聘：16 件

長崎市でのコンベンション開催に積極的な団体を招聘し、会場や市内案内を実施した。（株）ながさき MICE と連携した受入対応により、プレポストコンベンションを含めた、長崎で開催する魅力を一気通貫で PR することができるようになり、開催候補地としての決定率が上がった。

ウ 商談会への参加：商談件数 49 件

JCCB 主催「国際 MICE エキスポ（IME2023）」や九州・沖縄地区コンベンション推進団体連絡会「首都圏合同プロモーション」に参加して、主催者事務局や運営会社等に指定、長崎での開催を誘致する商談を行った。さらに、インセンティブ旅行誘致のためにツーリズム EXPO ジャパンに出展して、海外の旅行会社

に対して、長崎のインセンティブ旅行の素材を提案した。

エ 観光庁「海外からのインセンティブ旅行誘致に関わるコンベンションビューロー等機能高度化事業」

観光庁が支援する都市として選定され、インセンティブ旅行の特性である「広域周遊型ルートの開発」の観点から、市外、県外 20 団体に参画いただき、計 3 回のトレーニング・コンサルティング研修を受講して、インセンティブ旅行のスキルアップと他団体との連携強化を図った。



(3) 受入活動 (「まち MICE」推進：長崎 MICE 事業者ネットワークとの連携)

ユニークベニユーの活用促進や体験型コンテンツを幅広く紹介し、飲食店舗情報システム「最初の晚餐」を接点とした積極的な飲食店舗利用を促すことで、MICE 参加者の滞在や周遊を促進し、満足度向上と消費拡大を図る取り組みを行った。

① 受入セールスの強化

これまでのように開催決定した主催者だけではなく、誘致セールスにおいても、長崎ならではの演出ができるユニークベニユーやアトラクション、参加者が楽しめる体験コンテンツ、魅力的な食などを積極的に紹介することで、20 件獲得 (DMO による手配・案内) することができた。

② まち MICE 案内特設ページ (LP：ランディングページ) の制作

まち MICE の利用をより加速させるために、宿泊、体験コンテンツ、飲食・お土産情などの情報を主催者の大会 HP や大会プログラムに掲載して、大会参加者に幅広く PR するための LP を制作。9 月末に完成し、10 月から案内を開始した。



③ まち MICE 案内特設ページ (LP) の紹介チラシの作成

参加者へ紹介しやすいようにチラシを制作した。案件別にチラシに掲載する QR コードを用意し、各案件からの閲覧数等の集計・分析を実施した。

また、開催が決定している主催者事務局に「まち MICE」LP を大会ホームページに掲載いただき、さらにチラシデータを印刷して参加者に配布していただくように訪問セールス、メール、電話で依頼した。(営業 300 件、掲載 27 件)



5 経営・財務基盤 その他

(1) 収益事業の運営

収益事業については、前述の長崎遊学券の販売のほか、主に次の取組みを実施した。

① イベント等における商品販売事業の促進

長崎くんちについては、前年度に続き、開催中止の為、会場出店は実施できなかった。また、2023 長崎ランタンフェスティバルについては、新型コロナウイルス感染防止対策により、ステージイベントが中止になったこと等から、中央公園会場には出店せず、開催期間である令和 5 年 1 月 22 日 (日) ~ 2 月 5 日 (日) の 15 日間、湊公園会場のみ出店を行った。

湊公園会場売店売上金額：4,807,530 円 (前回 2020 年比 85.3%)

※2023 長崎ランタンフェスティバル来場者数 53 万人 (前回 2020 年 56 万人)

② 「朝たび長崎・夜たび長崎」事業の取組み

令和 2 年度に 6 事業者で「出島ワーフ de 朝活」を実施し、令和 3 年度からは 32 事業者に参加事業者を拡大させ、「朝たび長崎」の取組みを開始した。令和 4 年度は計 34 事業者で朝と夜のプラン販売を行い、580 名の利用 (対前年比 311.8%) とプラ

ン販売による消費額 5,012 千円（対前年比 501.2%）であった。

参画者数	34 事業者（宿泊 22・飲食 6・体験 6）				
利用者数	580 名				
消費額 （推定）	5,012 千円				
企画	朝たび				夜たび
内訳	ATTIC	旬彩なが や	伊王島	その他	60 名
	110 名	7 名	380 名	23 名	

③ 「ながさき観光きっぷ」の造成・販売

西九州新幹線開業に併せ、長崎市内の主要観光施設を割引価格にて、複数箇所訪問することができる「ながさき観光きっぷ」の販売を開始した。

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ながさき観光きっぷ(ベーシック)	66	320	449	329	246	284	441	2,135
ながさき観光きっぷ(カルチャー)	32	226	390	255	259	416	446	2,024
ながさき観光きっぷ(夜景)	86	566	854	591	353	535	657	3,642
合計	184	1,112	1,693	1,175	858	1,235	1,544	7,801

④ 手荷物配送サービス（手ぶらで長崎観光）の実施

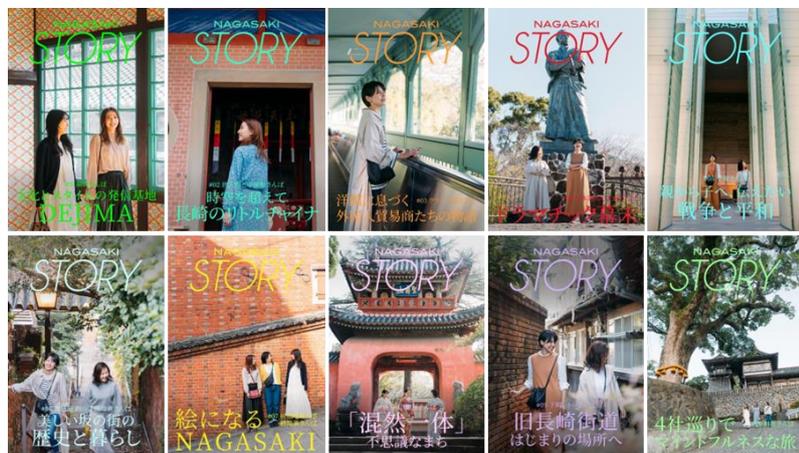
令和 4 年 9 月 23 日の西九州新幹線開業に伴う長崎市総合観光案内所のリニューアルオープンに併せ、手荷物配送サービス（手ぶらで長崎観光）を開始した。

⑤ 長崎ストーリーズの販売促進【販売事業】

新たなまち歩き観光商品として「長崎ストーリーズ」を造成し、県外からの訪問客をターゲットに実施した。特に県外からの訪問者をメインターゲットとし、魅力ある商品と質の高いガイドの育成によって、滞在時間の増加と消費拡大に努めた。

ア 商品展開：基本 10 コースに加え、イベントなど期間限定コースを 6 商品造成した。

NAGASAKI
STORY



#1 出島さんぽ	#9 下町レトロさんぽ
#2 唐人街と中華街さんぽ	#10 神社さんぽ
#3 グラバー園さんぽ	#11 出島 夜さんぽ
#4 坂本龍馬の足跡さんぽ	#12 グラバー園 夜さんぽ
#5 平和さんぽ	#13 車庫見学つき路面電車さんぽ
#6 居留地 路地裏さんぽ (南山手)	#14 長崎ハタ揚げさんぽ
#7 居留地 路地裏さんぽ (東山手)	#15 長崎ランタンフェスティバルさんぽ
#8 寺町と町家さんぽ	#16 祈りの三角ゾーンと2つの世界遺産さんぽ

イ 参加者人数：667件 2,222名（対目標 139%）

区分	実績人数	備考
一般	827	お客様からの直接予約
旅行会社	505	組み込み商品・オプション販売（17社）
ホテル	40	宿泊プラン組み込み商品（2ホテル）
MICE	121	プレポストコンベンション3件
行政関係	121	他自治体からの視察10件
教育関係	397	大学のゼミ・学習プログラム6件
企業	48	社員研修3件
DC	163	西九州新幹線開業でのまち歩き
合計	2,222	

ウ ガイド登録数：51名

エ 情報発信

- ・ポスター掲載（市内の公共施設や観光施設 10カ所）
- ・チラシ設置（市内ホテルと観光施設 合計 56カ所）
- ・instagramでの情報発信

オ 各種広告掲載

- ・長崎コンシェルジュ（市内ホテルにて無料配布される冊子）
- ・DC関連冊子、ながさきプレス（特集4ページのうち1ページ）



⑥ 浪漫ながさき旅情報による着地型旅行商品の販売

既存の軍艦島上陸クルーズ販売を自社ホームページで販売した。

取扱い事業者数：3社

年間参加者数：441人（前年度比 506.8%）

（2） 地域受入基盤の強化

① 長崎市観光まちづくりネットワークの構築

訪問客の回遊性の拡大、消費拡大を進めていくため、当協会（DMO）が実施する観光まちづくり事業に積極的に参画する事業者や個人のネットワークを構築するため、「長崎市観光まちづくりネットワーク」の説明会を開催し、令和5年度の本格稼働に向けて参加者の募集を開始した。

② 観光関連事業者の人材育成・スキルアップへの取組み強化

観光関連事業者の人材育成及びスキルアップを促すため、「ブランディングを学び、ビジネスチャンスを活かす・創り出す」をテーマとしたマーケティングセミナー等を開催し、訪問客のニーズに応じた戦略的な事業展開の支援を行った。

また、「夜景観光と観光データの読み解き方」について、「長崎観光マーケティングラボ 2023」を開催し、旅行消費拡大に向けた事業者の取組を喚起した。

③ 専門人材の確保・育成

ア COO・CMO、CFOの採用

令和4年度末で本部長が任期満了を迎えるにあたり、トップ人材であるCOO（最高執行責任者）の公募を行い、1,719人の応募があり、その後の書類選考及び面接選考により選定した。なお、COOはCMO兼務とした。

また、持続可能なDMOの運営を推進するため、公募により、CFO（最高財務責任者）を選定し、財務・管理部門の専門人材の確保を図った。

イ 外部教育プログラムの活用

外部教育プログラムについては、e-ラーニングの活用等により、業務に関連する職員のスキル及び資質向上を図った。

（3） 長崎市観光関連施設の受託

① 総合観光案内所業務

長崎市からの業務委託によりJR長崎駅構内「仮設総合観光案内所」において、来崎する内外観光客に長崎市内及び周辺地域の観光全般について、案内・説明・紹介にあたった。また、ラッキー自動車（株）からの業務委託により、タクシー観光案内を行った。

令和4年9月23日からは、西九州新幹線開通に伴うJR長崎駅改修工事の一環として全面リニューアルされ、施設面積も拡大、バリアフリーカウンターの新設、手ぶら観光の復活や車いす、ベビーカーのレンタルなどワンストップサービスの充実を図った。

- 開所時間： 年中無休 午前8時から午後8時

※9月23日～午前8時から午後7時

- 利用者総数： 69,455名（前年比419%）

観光案内 全般	旅館 案内	電話 案内	文書 案内	外国人 案内	合計
60,992 (同450%)	19 (同663%)	1,654 (同69%)	85 (同67%)	6,705 (同1330%)	69,455 (同419%)

② 亀山社中記念館受付業務

長崎市からの業務受託により、受付及び入館料金の収納業務を行った。

新たな取組みとして、長崎市からの依頼により、11月5日から施設常駐ガイドを開始した。（土・日・祝日のみ提供。登録ガイド6名）

- 開館時間：年中無休 午前9時から午後5時まで
- 年間入館者数：計38,695名（前年度比218.2%）

※平成30年度入館者数60,328名（平成30年度比64.1%）

(4) 観光地域づくりの支援

① 長崎ペーロンの振興（長崎市ペーロン協会、選手権大会実行委員会事務局）

長崎市ペーロン協会の事務局を担当し、伝統あるペーロンの保存育成に努めているが、令和4年度の各地区大会及び長崎ペーロン選手権大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

ア 長崎市ペーロン協会

(ア) 地区大会への助成

各地区ペーロン大会はすべての地区において中止となった。

(イ) 国内大会へのチームの派遣について

a. 「相生ペーロン祭」

- 派遣日程：5月27日(金)～30日(月)【3泊4日】※往復車中移動を含む
- 大会日：5月29日(日)
- 派遣チーム：野母崎チーム一行37名
- 成績：一般男子1部にて第3位

b. 「天草れいほくペーロン大会」

新型コロナウイルス感染拡大防止のため大会中止となった。

イ 長崎ペーロン選手権大会実行委員会

新型コロナウイルス感染拡大により、これまでより参加チームが減少したため、例年2日間大会を1日大会に変更し、7月31日(日)に大会開催の準備を行っていたが、長崎県新型コロナウイルス感染段階のレベルが2-IIの特別警戒警報に上昇したため、

当初の決定に従い中止となった。

② 長崎ハタ揚げの振興（長崎ハタ揚げ振興会事務局）

長崎ハタ揚げ振興会の事務局を担当し、長崎の伝統文化であるハタ揚げの継承に努めているが、4月3日(日)に予定していた令和4年長崎ハタ揚げ大会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

③ 長崎龍踊りの振興（長崎観光龍踊り会事務局）

長崎観光龍踊り会の事務局を担当しており、令和4年度においては3件の出演要請に応えた。

日程	派遣人数	イベント名
9月23日(金)	43名	西九州新幹線しゅん功開業祝賀会 (ホテルニュー長崎)
9月25日(日)	40名	西九州新幹線開業イベント (水辺の森公園)
1月22日(日)~2月5日(日) (期間中6日間出演)	延べ271名	2023長崎ランタンフェスティバル (新地中華街会場・中央公園会場)

※令和3年度の出演実績は1件

(5) 経営管理委員会の定期開催による事務局運営

役員で組織された専門委員会である経営管理委員会を4回開催し、令和3年度の事業報告及び収支決算や令和4年度の事業進捗状況等の報告のほか、令和5年度の事業計画及び予算案、事務局組織案等について意見を交換し、会員協働による事業推進及び円滑な運営を図った。

(6) 市が設定する外部評価制度への対応

効果的で持続可能な事業推進等を図るため、専門家等からなる「DMO事業計画検討委員会」による検討等を経て、「長崎市観光・MICE戦略」及び「長崎市観光・MICE計画」を踏まえたDMOの具体的な行動計画である「長崎市DMO事業計画」を策定するとともに、DMOの事業活動における主要な成果指標として「長崎市DMO第1期中期目標」を設定した。

今後、長崎市DMO事業計画及び第1期中期目標の達成状況等については、DMO内でのPDCAによる進行管理を行うことはもとより、DMO事業計画検討委員会による目標達成状況等の評価を踏まえつつ、長崎市の外部評価制度に適切に対応していく。

(7) 組織機能の見直し

各種事業を確実に実行し成果を出し続けられるよう、専門性とスピード感ある意思

決定と行動ができる組織体制を構築するため、令和4年度から CMO をトップとした企画部、営業部、事業部の体制を構築した。

さらに、令和4年度においては、今後の DMO の財政・財務機能等の充実を図るために、管理課、企画課及び広報・宣伝課を所管する企画部について、管理課を分離し、令和5年度から管理部として組織を独立させることで、観光・交流まちづくりの舵取り役として、持続可能な DMO の運営・推進体制の確保を目指すよう検討を行い、令和5年4月から実施することとした。

(8) 財務体制の段階的見直し等

DMO による効果的で持続可能な事業推進等を図るため、長崎市において、令和6年度から令和7年度までの観光誘客プロモーション等委託の事業費について債務負担行為の設定を行い、より安定的な DMO の財務体制の確保を図った。

今後、収益事業等の強化や事業の見直し・改善等による経常費用の縮減等を一層図るため、経営管理に関する計画の策定検討を行い、年次計画で財務体制を強化していく。

(9) 会議運営等

① 総会、理事会、監査会の開催

5月27日 令和3年度監査会(11:00~ホテル JAL シティ長崎)

6月27日 理事会(15:00~出島メッセ長崎)

通常総会(16:00~出島メッセ長崎)

令和5年3月20日 理事会(14:00~出島メッセ長崎)

② 会員の異動(順不同)

入会 8、退会 32

[令和5年3月31日現在会員数 397]

入 会 ヒルトン長崎 入 会 PRIME・BASEBALL(株)

〃 (株)トランジットジェネラルオフィス 〃 織貴舞会

〃 長崎市恐竜博物館 〃 (株)にしけい長崎支社

〃 協和商工(株) 〃 長崎エステートマネージメント(株)

退 会 (株)中山洋行 退 会 (有)中島珈琲本社

〃 プリヂストンスポーツセールスジャパン(株) 〃 ふらわーまじっく

〃 カ・コ・ポ・ト・ズ・ジ・ャ・リ(株)ペンダグ長崎支店 〃 (有)林田タクシー

〃 (株)西鉄エージェンシー 〃 ゑびす屋

〃 (有)長崎衛生管理センター 〃 (株)魚住商店

〃 (有)いろは本店 〃 (株)ポジティブドリームパーソンズ

〃 (株)岩永印刷所 〃 (株)エビス堂

- | | | | |
|---|--------------------|---|---------------------|
| 〃 | (株)まるなか本舗 | 〃 | LUSKnagasaki ラスク専門店 |
| 〃 | コンフォートホテル長崎 | 〃 | (有)お茶の秋月園 |
| 〃 | 榎純正堂 | 〃 | (株)長崎タクシー |
| 〃 | 安田産業汽船(株) | 〃 | インプローブシステム |
| 〃 | 阪急交通社国内旅行推進協力会九州支部 | 〃 | 松尾コーヒー(株) |
| 〃 | (株)フジカ | 〃 | (株)インターグループ |
| 〃 | (有)囁き坂 | 〃 | ライブプラス |
| 〃 | オムロプリント(株) | 〃 | (株)Risky |
| 〃 | (有)タシロ | 〃 | (有)アポロ電機防災 |

令和4年度 正味財産増減計算書
令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

科 目	(公益事業) 補助事業及び 自主事業会計	(収益事業) さるく運営 事業会計	(収益事業) 受託事業会計	(収益事業) 販売事業会計	(公益・収益事業) 法人会計	合計
I 事業活動収支の部						
1. 経常収益						
受取会費					15,145,000	15,145,000
長崎商工会議所					2,000,000	2,000,000
一般会員					13,145,000	13,145,000
事業収益				81,884,636		81,884,636
印刷物事業収益				42,192		42,192
通信販売部事業収益				3,023,584		3,023,584
イベント販売部事業収益				5,745,894		5,745,894
企画商品事業収益				64,692,900		64,692,900
旅行商品事業収益				764,431		764,431
亀山社中物販事業収益				1,422,755		1,422,755
長崎ストーリーズ事業収益				4,330,580		4,330,580
SDGs平和ワークショップ事業収益				1,219,000		1,219,000
平和ARアプリ事業収益				12,300		12,300
手ぶら観光事業収益				631,000		631,000
受取手数料				4,233,187		4,233,187
受託販売受取手数料				2,559,693		2,559,693
旅行商品手配受取手数料				1,673,494		1,673,494
受取補助金等	13,140,746	35,264,091	362,607,061			411,011,898
受取国庫補助金	6,590,746					6,590,746
コンベンション開催補助金	6,550,000					6,550,000
受託収益		35,264,091	362,607,061			397,871,152
受取負担金				141,259		141,259
宿泊施設受取負担金				8,259		8,259
手ぶら観光受取負担金				133,000		133,000
雑収益	445,700			553,397	2,077,407	3,076,504
受取利息				5,625	19	5,644
雑収益	445,700			547,772	2,077,388	3,070,860
経常収益計	13,586,446	35,264,091	362,607,061	86,812,479	17,222,407	515,492,484
2. 経常費用						
事業費	19,011,509	33,388,031	361,494,279	66,799,665	6,261,028	486,954,512
給料手当		11,591,857	66,308,497	5,690,468		83,590,822
嘱託費		2,522,916	15,625,498			18,148,414
臨時雇賃金		1,370,082	1,345,491	811,225		3,526,798
福利厚生費		2,542,101	13,738,878	1,020,291		17,301,270
仕入費				4,875,341		4,875,341
旅費交通費	1,659,324		5,176,337	46,160		6,881,821
通信運搬費		1,621,182	3,605,871	240,242		5,467,295
消耗品費		203,492	2,078,827	324,787		2,607,106
印刷製本費	317,000	85,800	18,988,121	9,163,273		28,554,194
会議費					2,018,951	2,018,951
誘致宣伝費(旅費交通費、支払負担金等)	2,268,600	1,277,100	24,584,900	1,465,963		29,596,563
観光行事費(助成費等)	1,010,000					1,010,000
受入対策費(受入補助金等)	6,797,000					6,797,000
渉外費	351,775		825,225	234,918		1,411,918
賃借料		373,446	3,825,951	280,800		4,480,197
施設使用料			83,360	28,693,225		28,776,585
保険料		907,100		162,145		1,069,245
諸謝金		9,092,000	2,322,079	2,308,310		13,722,389
支払負担金			15,179,615	480,753	610,000	16,270,368
支払手数料			110,000	5,824,119	825,000	6,759,119
図書研修費		175,015				175,015
商品開発費				70,500		70,500
委託費	6,607,810	1,576,842	175,129,044	4,035,381		187,349,077
事務費		42,278	12,363,706	310,715	2,636,377	15,353,076
被服費			85,635			85,635
雑費		6,820	117,244	761,049	170,700	1,055,813
事業費	19,011,509	33,388,031	361,494,279	66,799,665	6,261,028	486,954,512
管理費					44,161,346	44,161,346
給料手当					13,931,010	13,931,010
退職給付費用					4,064,580	4,064,580
福利厚生費					2,588,287	2,588,287
減価償却費					197,447	197,447
光熱水料費					640,340	640,340
賃借料					3,357,662	3,357,662
租税公課					13,970,500	13,970,500
委託費					1,208,900	1,208,900
事務費					2,954,494	2,954,494
図書研修費					511,632	511,632
雑費					148,563	148,563
減価償却引当金繰入額					587,931	587,931
管理費					44,161,346	44,161,346
経常費用計	19,011,509	33,388,031	361,494,279	66,799,665	50,422,374	531,115,858
当期経常増減額	△ 5,425,063	1,876,060	1,112,782	20,012,814	△ 33,199,967	△ 15,623,374

令和4年度 正味財産増減計算書
令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

科 目	(公益事業) 補助事業及び 自主事業会計	(収益事業) さるく運営 事業会計	(収益事業) 受託事業会計	(収益事業) 販売事業会計	(公益・収益事業) 法人会計	合計
Ⅱ 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
特定資産取崩額					8,672,026	8,672,026
減価償却引当金取崩額					8,672,026	8,672,026
固定資産売却益					147,649	147,649
什器備品売却益					147,649	147,649
過年度損益修正益	43,374			215,362	112,000	370,736
過年度損益修正益	43,374			215,362	112,000	370,736
経常外収益計	43,374			215,362	8,931,675	9,190,411
(2) 経常外費用						
棚卸減耗損				851,003		851,003
棚卸減耗損				851,003		851,003
過年度損益修正損	10,417			168,694	328,750	507,861
過年度損益修正損	10,417			168,694	328,750	507,861
経常外費用計	10,417			1,019,697	328,750	1,358,864
当期経常外増減額	32,957			△ 804,335	8,602,925	7,831,547
他会計振替額						
税引前当期正味財産増減額	△ 5,392,106	1,876,060	1,112,782	19,208,479	△ 24,597,042	△ 7,791,827
法人税・住民税及び事業税					71,000	71,000
当期一般正味財産増減額	△ 5,392,106	1,876,060	1,112,782	19,208,479	△ 24,668,042	△ 7,862,827
一般正味財産期首残高					121,897,301	121,897,301
一般正味財産期末残高	△ 5,392,106	1,876,060	1,112,782	19,208,479	97,229,259	114,034,474
正味財産期末残高	△ 5,392,106	1,876,060	1,112,782	19,208,479	97,229,259	114,034,474

貸借対照表
令和5年3月31日現在

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	108,404,320	111,983,362	△ 3,579,042
未収金	13,496,993	26,575,350	△ 13,078,357
前払金	1,044,344	959,855	84,489
商品	8,719,446	14,808,643	△ 6,089,197
流動資産	131,665,103	154,327,210	△ 22,662,107
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	56,121,724	64,404,760	△ 8,283,036
減価償却引当資産	6,681,712	14,765,807	△ 8,084,095
特定資産	62,803,436	79,170,567	△ 16,367,131
(3) その他固定資産			
車両運搬具	1	1	
什器備品	682,705	1,012,503	△ 329,798
供託金	11,009,880	11,009,880	
その他の固定資産	11,692,586	12,022,384	△ 329,798
固定資産	74,496,022	91,192,951	△ 16,696,929
資産合計	206,161,125	245,520,161	△ 39,359,036
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	5,408,550		5,408,550
未払金	23,760,765	42,204,793	△ 18,444,028
前受金	82,900		82,900
未払法人税等	71,000	2,247,500	△ 2,176,500
流動負債	29,323,215	44,452,293	△ 15,129,078
2. 固定負債			
退職給付引当金	56,121,724	64,404,760	△ 8,283,036
減価償却引当金	6,681,712	14,765,807	△ 8,084,095
固定負債	62,803,436	79,170,567	△ 16,367,131
負債合計	92,126,651	123,622,860	△ 31,496,209
III 正味財産の部			
1. 基金			
2. 指定正味財産			
3. 一般正味財産			
一般正味財産	114,034,474	121,897,301	△ 7,862,827
正味財産合計	114,034,474	121,897,301	△ 7,862,827
負債・正味財産合計	206,161,125	245,520,161	△ 39,359,036

貸借対照表(公益、収益区分)
令和5年3月31日現在

科 目	金 額	内 訳	
		公 益	収 益
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	108,404,320	34,335,963	74,068,357
未収金	13,496,993	6,619,648	6,877,345
前払金	1,044,344		1,044,344
商品	8,719,446		8,719,446
流動資産	131,665,103	40,955,611	90,709,492
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	56,121,724	7,851,415	48,270,309
減価償却引当資産	6,681,712	3,431,449	3,250,263
特定資産	62,803,436	11,282,864	51,520,572
(3) その他固定資産			
車両運搬具	1		1
什器備品	682,705	29,949	652,756
供託金	11,009,880		11,009,880
その他の固定資産	11,692,586	29,949	11,662,637
固定資産	74,496,022	11,312,813	63,183,209
資産合計	206,161,125	52,268,424	153,892,701
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	5,408,550		5,408,550
未払金	23,760,765	8,831,853	14,928,912
前受金	82,900		82,900
未払法人税等	71,000		71,000
流動負債	29,323,215	8,831,853	20,491,362
2. 固定負債			
退職給付引当金	56,121,724	7,851,415	48,270,309
減価償却引当金	6,681,712	3,431,449	3,250,263
固定負債	62,803,436	11,282,864	51,520,572
負債合計	92,126,651	20,114,717	72,011,934
III 正味財産の部			
1. 基金			
2. 指定正味財産			
3. 一般正味財産			
繰越正味財産	121,897,301	38,204,812	83,692,489
当期正味財産	△ 7,862,827	△ 6,051,105	△ 1,811,722
正味財産合計	114,034,474	32,153,707	81,880,767
負債・正味財産合計	206,161,125	52,268,424	153,892,701

財産目録
令和5年3月31日現在

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	108,404,320	
未収金	13,496,993	
前払金	1,044,344	
商品	8,719,446	
流動資産		131,665,103
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
(2) 特定資産		
退職給付引当資産	56,121,724	
減価償却引当資産	6,681,712	
特定資産		62,803,436
(3) その他固定資産		
車両運搬具	1	
什器備品	682,705	
供託金	11,009,880	
その他の固定資産		11,692,586
固定資産		74,496,022
資産合計		206,161,125
II 負債の部		
1. 流動負債		
預り金	5,408,550	
未払金	23,760,765	
前受金	82,900	
未払法人税等	71,000	
流動負債		29,323,215
2. 固定負債		
退職給付引当金	56,121,724	
減価償却引当金	6,681,712	
固定負債		62,803,436
負債合計		92,126,651
正味財産合計		114,034,474

財務諸表に対する注記

1 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産
定率法を採用しております。

(2) 引当金の計上基準

① 退職給付引当金
職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務を限度として一定額を計上しております。

② 減価償却引当金
将来の資産購入に備えるため、計上しております。

(3) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

(4) 消費税等の会計処理

税込方式により計上しております。

3 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	-	-	-	-
小計	-	-	-	-
特定資産				
退職給付引当資産	64,404,760	4,064,580	12,347,616	56,121,724
減価償却引当資産	14,765,807	587,931	8,672,026	6,681,712
小計	79,170,567	4,652,511	21,019,642	62,803,436
合計	79,170,567	4,652,511	21,019,642	62,803,436

4 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次のとおりである。

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産	-	(-)	(-)	(-)
小計	-	(-)	(-)	(-)
特定資産				
退職給付引当資産	56,121,724	(-)	(-)	(56,121,724)
減価償却引当資産	6,681,712	(-)	(-)	(6,681,712)
小計	62,803,436	(-)	(-)	(62,803,436)
合計	62,803,436	(-)	(-)	(62,803,436)

5 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

科目	取得価格	減価償却累計額 (除却損及び売却額・売却損益含)	当期末残高
車両運搬具	1,896,680	1,896,679	1
什器備品	13,917,537	13,234,832	682,705
合計	15,814,217	15,131,511	682,706

6 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
補助金 訪日外国人旅行者周 遊促進事業費補助金 (観光地域づくり法 人の体制強化)	国	0	6,590,746	6,590,746	0	一般正味財産
合 計		0	6,590,746	6,590,746	0	

固定資産減価償却内訳明細書
(令和 4年 4月 1日 ~ 令和 5年 3月31日)

商号：一般社団法人 長崎国際観光コンベンション協会
部門：001 一般会計

【全登録資産】

印刷：令和 5年 3月15日(15:56)
(単位：円)

P - 1

種別	固定資産コード	原価区分(%) 原・販・外 部門	名 構造・細目	称	償却 方法	事業供用 年 外 年月	(5%相当額) 取得価額	期首帳簿価額	償却基礎金額	耐用 年数 償却 率	償却限度額		当期償却額	償却累計額	期末帳簿価額	摘要
											普通償却限度額	特別償却限度額				
											合計					
				【器具及び備品(旧定率法)】												
	0000180034	0-100-0 001:一般会計	クロスパーテーション		旧定率法 2.00台	H17. 4	(10,395) 207,900	2		3年 0.536		0	207,898			2
	0000180036	0-100-0 001:一般会計	内装設備 建具・刃込		旧定率法 1.00式	H17. 4	(26,772) 535,426	1		8年 0.250		0	535,425			1
	0000180037	0-100-0 001:一般会計	プリント・ロールマシン		旧定率法 1.00式	H17. 4	(32,636) 652,718	1		3年 0.536		0	652,717			1
	0000180038	0-100-0 001:一般会計	外装用看板		旧定率法 1.00式	H17. 4	(12,602) 252,029	1		3年 0.536		0	252,028			1
	0000180039	0-100-0 001:一般会計	電気設備		旧定率法 1.00式	H17. 4	(13,729) 274,571	20,324	20,324	15年 0.142	2,886	2,886	257,133	2,886	17,438	
	0000180040	0-100-0 001:一般会計	給排水設備		旧定率法 1.00式	H17. 4	(9,843) 196,854	14,573	14,573	15年 0.142	2,069	2,069	184,350	2,069	12,504	
			器具及び備品(旧定率法) 計				2,119,498	34,902	34,902		【売却損】	4,955	2,089,551	4,955	29,947	
							【期末資産の取得価額】	【期中買入額】	【期中売却額】		【売却損】	【売却益】	【除却損】	【除却損】		
							2,119,498	0	0		0	0	0	0		
			【器具及び備品(250%定率法)】													
	0000180053	0-100-0 001:一般会計	デジタル電話設備(さるく)		250%定率法 1.00式	H21.12	449,400	1	(0.500) 44,701	6年 0.417		0	449,399	0	1	
			器具及び備品(250%定率法) 計				449,400	1	44,701		【売却損】	0	449,399	0	1	
							【期末資産の取得価額】	【期中買入額】	【期中売却額】		【売却損】	【売却益】	【除却損】	【除却損】		
							449,400	0	0		0	0	0	0		
			【器具及び備品(200%定率法)】													
	0000180067	0-100-0 001:一般会計	電話設備 主装置及びパッケージ 器具及び備品(200%定率法) 計		200%定率法 1.00式	H26. 3	892,500	1	(0.334) 257,493	6年 0.333		0	892,499	0	1	
							892,500	1	257,493		【売却損】	0	892,499	0	1	
							【期末資産の取得価額】	【期中買入額】	【期中売却額】		【売却損】	【売却益】	【除却損】	【除却損】		
							892,500	0	0		0	0	0	0		
			(種類別合計)													
			器具及び備品				3,461,398	34,904	337,096		4,955	4,955	3,431,449	4,955	29,949	
			合計				3,461,398	34,904	337,096		4,955	4,955	3,431,449	4,955	29,949	

(注1) 償却累計額の合計の上段は期末所有資産のみの合計を表示しています。
(注2) 種類が機械及び装置の普通償却限度額の上段は、増加償却の割合と金額を表示しています。
(注3) 圧縮記帳を積立金方式で行っている場合は、TPS1000のメニュー「332 法人税・地方税ワーキングシートの入力」で、圧縮積立金取崩額を別表4に直接入力してください。
(注4) 改定償却率による計算を開始している資産は、「償却基礎金額」列の上段に「改定償却率」、下段に「改定取得価額」を表示しています。

近藤正敏税理士事務所

(TPS1000-K3 Copyright (C) TKC)

TKC
13178301

固定資産減価償却内訳明細書
(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

商号：一般社団法人 長崎国際観光コンベンション協会
部門：002 特別会計 【全登録資産】

印刷：令和5年3月15日(15:56)
(単位：円)

P - 1

原価区分(%)
原・敷・外
部門

権 属 年 度	固定資産コード	原価区分(%) 原・敷・外 部門	名 称 ・ 細 目	償却 方 法	業 務 供 用 年 限 外 年 月	(5%相当額) 取得価額	期首帳簿価額	償却基礎金額	耐用 年 数 償 却 率	償却限度額		当期償却額	償却累計額	期末帳簿価額	摘要	
										普通償却限度額	特別償却限度額					
											合 計					
			【車両及び運搬具(200%定率法)】													
	0000160002	0-100-0 002:特別会計	ホンダFIT	200%定率法	H26.3	1,896,680	1	(0.334) 547,206	6年 0.333	12	0	0	1,896,679	1		
	16		車両及び運搬具(200%定率法) 計			1,896,680	1	547,206			0	0	1,896,679	1		
			【期末資産の取得価額】			1,896,680	0	0			0	0	0	0		
			【期中買入額】				0	0			0	0	0	0		
			【期中売却額】				0	0			0	0	0	0		
			【売却損】				0	0			0	0	0	0		
			【売却益】				0	0			0	0	0	0		
			【売却時処分見込額】				0	0			0	0	0	0		
			【売却損】				0	0			0	0	0	0		
			【売却益】				0	0			0	0	0	0		
			【売却時処分見込額】				0	0			0	0	0	0		
			【除却損】				0	0			0	0	0	0		
			【除却益】				0	0			0	0	0	0		
			【除却時処分見込額】				0	0			0	0	0	0		
			【除却損】				0	0			0	0	0	0		
			【除却益】				0	0			0	0	0	0		
			【除却時処分見込額】				0	0			0	0	0	0		
			【除却損】				0	0			0	0	0	0		
			【除却益】				0	0			0	0	0	0		
			【除却時処分見込額】				0	0			0	0	0	0		
			【除却損】				0	0			0	0	0	0		
			【除却益】				0	0			0	0	0	0		
			【除却時処分見込額】				0	0			0	0	0	0		
			【除却損】				0	0			0	0	0	0		
			【除却益】				0	0			0	0	0	0		
			【除却時処分見込額】				0	0			0	0	0	0		
			【除却損】				0	0			0	0	0	0		
			【除却益】				0	0			0	0	0	0		
			【除却時処分見込額】				0	0			0	0	0	0		
			【除却損】				0	0			0	0	0	0		
			【除却益】				0	0			0	0	0	0		
			【除却時処分見込額】				0	0			0	0	0	0		
			【除却損】				0	0			0	0	0	0		
			【除却益】				0	0			0	0	0	0		
			【除却時処分見込額】				0	0			0	0	0	0		
			【除却損】				0	0			0	0	0	0		
			【除却益】				0	0			0	0	0	0		
			【除却時処分見込額】				0	0			0	0	0	0		
			【除却損】				0	0			0	0	0	0		
			【除却益】				0	0			0	0	0	0		
			【除却時処分見込額】				0	0			0	0	0	0		
			【除却損】				0	0			0	0	0	0		
			【除却益】				0	0			0	0	0	0		
			【除却時処分見込額】				0	0			0	0	0	0		
			【除却損】				0	0			0	0	0	0		
			【除却益】				0	0			0	0	0	0		
			【除却時処分見込額】				0	0			0	0	0	0		
			【除却損】				0	0			0	0	0	0		
			【除却益】				0	0			0	0	0	0		
			【除却時処分見込額】				0	0			0	0	0	0		
			【除却損】				0	0			0	0	0	0		
			【除却益】				0	0			0	0	0	0		
			【除却時処分見込額】				0	0			0	0	0	0		
			【除却損】				0	0			0	0	0	0		
			【除却益】				0	0			0	0	0	0		
			【除却時処分見込額】				0	0			0	0	0	0		
			【除却損】				0	0			0	0	0	0		
			【除却益】				0	0			0	0	0	0		
			【除却時処分見込額】				0	0			0	0	0	0		
			【除却損】				0	0			0	0	0	0		
			【除却益】				0	0			0	0	0	0		
			【除却時処分見込額】				0	0			0	0	0	0		
			【除却損】				0	0			0	0	0	0		
			【除却益】				0	0			0	0	0	0		
			【除却時処分見込額】				0	0			0	0	0	0		
			【除却損】				0	0			0	0	0	0		
			【除却益】				0	0			0	0	0	0		
			【除却時処分見込額】				0	0			0	0	0	0		
			【除却損】				0	0			0	0	0	0		
			【除却益】				0	0			0	0	0	0		
			【除却時処分見込額】				0	0			0	0	0	0		
			【除却損】				0	0			0	0	0	0		
			【除却益】				0	0			0	0	0	0		
			【除却時処分見込額】				0	0			0	0	0	0		
			【除却損】				0	0			0	0	0	0		
			【除却益】				0	0			0	0	0	0		
			【除却時処分見込額】				0	0			0	0	0	0		
			【除却損】				0	0			0	0	0	0		
			【除却益】				0	0			0	0	0	0		
			【除却時処分見込額】				0	0			0	0	0	0		
			【除却損】				0	0			0	0	0	0		
			【除却益】				0	0			0	0	0	0		
			【除却時処分見込額】				0	0			0	0	0	0		
			【除却損】				0	0			0	0	0	0		
			【除却益】				0	0			0	0	0	0		
			【除却時処分見込額】				0	0			0	0	0	0		
			【除却損】				0	0			0	0	0	0		
			【除却益】				0	0			0	0	0	0		
			【除却時処分見込額】				0	0			0	0	0	0		
			【除却損】				0	0			0	0	0	0		
			【除却益】				0	0			0	0	0	0		
			【除却時処分見込額】				0	0			0	0	0	0		
			【除却損】				0	0			0	0	0	0		
			【除却益】				0	0			0	0	0	0		
			【除却時処分見込額】				0	0			0	0	0	0		
			【除却損】				0	0			0	0	0	0		
			【除却益】				0	0			0	0	0	0		
			【除却時処分見込額】				0	0			0	0	0	0		
			【除却損】				0	0			0	0	0	0		
			【除却益】				0	0			0	0	0	0		
			【除却時処分見込額】				0	0			0	0	0	0		
			【除却損】				0	0			0	0	0	0		
			【除却益】				0	0			0	0	0	0		
			【除却時処分見込額】				0	0			0	0	0	0		
			【除却損】				0	0			0	0	0	0		
			【除却益】				0	0			0	0	0	0		
			【除却時処分見込額】				0	0			0	0	0	0		
			【除却損】				0	0			0	0	0	0		

固定資産減価償却内訳明細書
(令和 4年 4月 1日 ~ 令和 5年 3月31日)

印刷：令和 5年 3月15日(15:56)
(単位：円)

商号：一般社団法人 長崎国際観光コンベンション協会
部門：002 特別会計

【全登録資産】

種別	固定資産コード	原価区分(%) 原・敷・外 部門	名 称	償却 方法	事業供用 年 限 外 年 月	(5%相当額) 取得価額	期首帳簿価額	償却基礎金額	耐用 年数 償却 率	償却限度額		当期償却額	償却累計額	期末帳簿価額	摘要
										普通償却限度額	特別償却限度額				
			【器具及び備品(250%定率法)】												
	0000180058	0-100-0 002:特別会計	業務用エアコン	250%定率法 1.00台	H22. 9 R 4. 4	296,100	1	(0.500) 25,887	6年 0.417		0	0	296,099	0	売却
	0000180065	0-100-0 002:特別会計	バーコードラベルプリンタ	250%定率法 1.00台	H22.11 R 4. 4	157,500	1	(1.000) 15,586	5年 0.500		0	0	157,499	0	売却
			器具及び備品(250%定率法) 計			453,600	2	41,473			0	0	453,598	0	
							【期中買入額】	【期中売却額】			【売却損】	【売却益】	【除却損】	【除却益】	
			【器具及び備品(200%定率法)】												
	0000180066	0-100-0 002:特別会計	電磁調理器	200%定率法 1.00台	H25. 3 R 4. 4	262,500	1	(0.334) 75,734	6年 0.333		0	0	262,499	0	売却
	0000180068	0-100-0 002:特別会計	家具、電気、ガス、家庭その他の電気機器	200%定率法 1.00式	H26. 7 R 4. 4	369,360	1	(1.000) 20,469	3年 0.667		0	0	369,359	0	売却
	0000180069	0-100-0 002:特別会計	高湿ディスプレイケース	200%定率法 1.00式	H26.10 R 4. 4	427,680	1	(0.334) 118,407	8年 0.250		0	0	427,679	0	売却
	0000180070	0-100-0 002:特別会計	アルカリイオン水生成器	200%定率法 1.00台	H27. 3 R 4. 4	120,960	1	(0.500) 25,257	5年 0.400		0	0	120,959	0	売却
	0000180071	0-100-0 002:特別会計	恋ランタン祈願所 孔子廟	200%定率法 1.00式	H31. 2	852,660	171,897	171,897	4年 0.400		85,948	85,948	766,711	85,949	
	0000180072	0-100-0 002:特別会計	器具及び備品(200%定率法) 計	200%定率法 1.00台	R 3. 4	192,280	96,140	96,140	4年 0.500		48,070	48,070	144,210	48,070	
						2,225,440	268,041	507,904			134,018	134,018	2,091,417	134,019	
						【期末資産の取得価額】	【期中買入額】	【期中売却額】			【売却損】	【売却益】	【除却損】	【除却益】	
						1,044,940	0	0			4	0	0	0	
			【器具及び備品(定額法)】												
	0000180073	0-100-0 002:特別会計	会議室間仕切り	定額法 1.00式	R 4. 3	548,900	544,326	548,900	10年 0.100		54,890	54,890	59,464	489,436	
			器具及び備品(定額法) 計			548,900	544,326	548,900			54,890	54,890	59,464	489,436	
						【期末資産の取得価額】	【期中買入額】	【期中売却額】			【売却損】	【売却益】	【除却損】	【除却益】	
						548,900	0	0			0	0	0	0	
			(種類別合計)												
			車両及び運搬具			1,896,680	1	547,206			0	0	1,896,679	1	

(注1) 償却累計額の合計の上段は期末所有資産のみの合計を表示しています。
(注2) 種類が機械及び装置の普通償却限度額の上段は、増加償却の割合と金額を表示しています。
(注3) 圧縮記帳を積立金方式で行っている場合は、TPS1000のメニュー「332 法人税・地方税ワーキングシートの入力」で、圧縮積立金取崩額を別表4に直接入力してください。
(注4) 改定償却率による計算を開始している資産は、「償却基礎金額」列の上段に「改定償却率」、下段に「改定取得価額」を表示しています。

償却資産種類別合計表
(令和 4年 4月 1日 ~ 令和 5年 3月31日)

商号：一般社団法人 長崎国際観光コンベンション協会 (301)
部門：一般会計 (001)

P - 1
印刷：令和 5年 3月15日(15:57)

【全登録資産】【自社資産】

償却資産の種類	取得価額	期首帳簿価額	償却基礎金額	当期償却限度額			償却累計額	期末帳簿価額
				普通償却限度額	特別償却限度額	償却限度額合計		
18 器具及び備品	3,461,398	34,904	34,904	4,955	0	4,955	3,431,449	29,949
合 計	3,461,398	34,904	34,904	4,955	0	4,955	3,431,449	29,949

(注) 「当期償却実施額」欄の上段には、剰余金処分方式による特別償却限度額を表示しています。

償却資産種類別合計表
(令和 4年 4月 1日 ~ 令和 5年 3月31日)

商号：一般社団法人 長崎国際観光コンベンション協会 (301)
部門：特別会計 (002)

P - 1
印刷：令和 5年 3月15日(15:57)

【全登録資産】【自社資産】

償却資産の種類	取得価額	期首帳簿価額	償却基礎金額	当期償却限度額			償却限度額合計	当期償却実施額	償却累計額	期末帳簿価額
				普通償却限度額	特別償却限度額	償却限度額				
16 車両及び運搬具	1,896,680	1	1	0	0	0	0	1,896,679	1	
18 器具及び備品	10,456,139	977,599	1,031,817	192,492	0	192,492	192,492	9,671,032	652,756	
合 計	12,352,819	977,600	1,031,818	192,492	0	192,492	192,492	11,567,711	652,757	

(注) 「当期償却実施額」欄の上段には、剰余金処分方式による特別償却限度額を表示しています。

償却資産種類別合計表
(令和 4年 4月 1日 ~ 令和 5年 3月31日)

商号：一般社団法人 長崎国際観光コンベンション協会 (301)

部門：(全社合計)

【全登録資産】【自社資産】

P - 1
印刷：令和 5年 3月15日(15:57)

償却資産の種類	取得価額	期首帳簿価額	償却基礎金額	当期償却限度額			償却累計額	期末帳簿価額
				普通償却限度額	特別償却限度額	償却限度額合計		
16 車両及び運搬具	1,896,680	1	1	0	0	0	1,896,679	1
18 器具及び備品	13,917,537	1,012,503	1,066,721	197,447	0	197,447	13,102,481	682,705
合計	15,814,217	1,012,504	1,066,722	197,447	0	197,447	14,999,160	682,706

(注) 「当期償却実施額」欄の上段には、剰余金処分方式による特別償却限度額を表示しています。

預貯金残高
令和5年3月31日現在

(単位：円)

銀 行		口座番号	残 高	備 考
十八親和銀行	桜町支店	566654	32,073,392	
十八親和銀行	本店	204442	8,155,885	
十八親和銀行	本店	292619	20,876,450	
十八親和銀行	本店	358663	16,557,959	
十八親和銀行	本店	624217	9,922,655	
十八親和銀行	北支店	188129	5,887,837	
十八親和銀行	新大工町支店	1007090	1,021,982	
十八親和銀行	北支店	428615	3,330,455	
十八親和銀行	北支店	581457	6,170,582	
長崎銀行	本店	2277837	2,262,571	旧長崎駅前支店1203273
ゆうちょ銀行	17600	1329271	1,004,376	
		合 計	107,264,144	

銀 行		口座番号	残 高	備 考
十八親和銀行	桜町支店	63094	3,431,449	減価償却引当資産(旧一般会計)
			3,250,263	減価償却引当資産(旧特別会計)
		合 計	6,681,712	

銀 行		口座番号	残 高	備 考
十八親和銀行	桜町支店	96680	7,851,415	退職給付引当資産(旧一般会計)
十八親和銀行	大波止支店	1211595	18,270,309	退職給付引当資産(旧特別会計)
長崎銀行	本店	1084734	30,000,000	退職給付引当資産(旧特別会計)
		合 計	56,121,724	

附属資料

令和4年度 収支計算書
令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

収入の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増△減
(公益事業) 補助事業及び自主事業会計 (コンベンション開催補助金等、キャンペーン・イベント負担金等)	22,000,000	13,586,446	△8,413,554
(収益事業) さるく運営事業会計 (修学旅行ガイド・さるく情報発信等受託)	33,757,088	35,264,091	1,507,003
(収益事業) 受託事業会計 (施設受託、観光地域づくり受託)	333,236,430	362,607,061	29,370,631
(収益事業) 販売事業会計	60,661,800	86,812,479	26,150,679
法人会計	14,731,682	17,222,407	2,490,725
(公益事業) 法人会計	14,731,682	15,522,407	790,725
(収益事業) 法人会計	0	1,700,000	1,700,000
当期収入合計	464,387,000	515,492,484	51,105,484
(公益事業) 収入合計	36,731,682	29,108,853	△7,622,829
(収益事業) 収入合計	427,655,318	486,383,631	58,728,313

支出の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増△減
(公益事業) 補助事業及び自主事業会計 (コンベンション開催補助金等、キャンペーン・イベント負担金等)	26,680,000	19,011,509	△7,668,491
(収益事業) さるく運営事業会計 (修学旅行ガイド・さるく情報発信等受託)	33,950,638	33,388,031	△562,607
(収益事業) 受託事業会計 (施設受託、観光地域づくり受託)	298,220,921	361,494,279	63,273,358
(収益事業) 販売事業会計	51,783,862	66,799,665	15,015,803
法人会計	67,614,579	50,493,374	△17,121,205
(公益事業) 法人会計	15,663,573	16,518,558	854,985
(収益事業) 法人会計 ※法人税・住民税及び事業税含む額	51,951,006	33,974,816	△17,976,190
当期支出合計	478,250,000	531,186,858	52,936,858
当期収支差額	△13,863,000	△15,694,374	△1,831,374
(公益事業) 支出合計	42,343,573	35,530,067	△6,813,506
(収益事業) 支出合計	435,906,427	495,656,791	59,750,364

経常増減額 (収入-支出)

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増△減
(公益事業) 補助事業及び自主事業会計 (コンベンション開催補助金等、キャンペーン・イベント負担金等)	△4,680,000	△5,425,063	△745,063
(収益事業) さるく運営事業会計 (修学旅行ガイド・さるく情報発信等受託)	△193,550	1,876,060	2,069,610
(収益事業) 受託事業会計 (施設受託、観光地域づくり受託)	35,015,509	1,112,782	△33,902,727
(収益事業) 販売事業会計	8,877,938	20,012,814	11,134,876
法人会計	△52,882,897	△33,270,967	19,611,930
(公益事業) 法人会計	△931,891	△996,151	△64,260
(収益事業) 法人会計	△51,951,006	△32,274,816	19,676,190
当期収支差額	△13,863,000	△15,694,374	△1,831,374
(公益事業) 当期収支差額合計	△5,611,891	△6,421,214	△809,323
(収益事業) 当期収支差額合計	△8,251,109	△9,273,160	△1,022,051
当期経常外増減額		7,831,547	
当期一般正味財産増減額		△7,862,827	

(公益事業) 補助事業及び自主事業会計 (コンベンション開催補助金等、キャンペーン・イベント負担金等)

国の補助金事業

収入の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増△減	説 明
1. 補助金収入 (国)	0	6,590,746	6,590,746	観光地域づくり法人の体制強化
当期収入合計	0	6,590,746	6,590,746	

支出の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増△減	説 明
1. 事業費	0	7,249,820	7,249,820	
(1)DMO形成促進事業費	0	7,249,820	7,249,820	
①旅費交通費	0	642,010	642,010	業務サポートに伴う旅費
②委 託 費	0	6,607,810	6,607,810	業務サポート料
当期支出合計	0	7,249,820	7,249,820	
当期収支差額	0	△659,074	△659,074	

コンベンション開催補助金及び自主財源による事業

収入の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増△減	説 明
1. コンベンション開催補助金	22,000,000	6,550,000	△15,450,000	長崎市 4,000,000 長崎県 2,550,000
2. 雑 収 入	0	445,700	445,700	長崎MICEサービスカタログ掲載料 348,700 その他 119,000
当期収入合計	22,000,000	6,995,700	△15,004,300	

支出の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増△減	説 明
1. 誘致宣伝受入事業費(インバウンド対策)	300,000	147,000	△153,000	
(1)受入対策費	300,000	147,000	△153,000	
①受入対応費	300,000	147,000	△153,000	クルーズ船受入費等
2. 誘致宣伝受入事業費(国内誘致・受入)	4,380,000	4,647,689	267,689	
(1)観光誘致宣伝費	2,130,000	2,268,600	138,600	県キャンペーン対策費 130,000 長崎伝統芸能振興助成金 1,000,000 JTB関西店舗長崎プロモーション 1,100,000 その他 38,600
(2)観光行事費	1,450,000	1,010,000	△440,000	
①行 事 費	1,350,000	927,500	△422,500	長崎開港記念会助成金 800,000 長崎居留地まつり協賛金 20,000 佐賀・長崎ステーションキャンペーン協賛金 50,000 長崎夜景MAP制作協賛金 20,000 長崎駅周辺まちづくり協議会協賛金 27,500 ながさきグリーンキャンペーン協賛金 10,000
②啓発事業費	100,000	82,500	△17,500	サービス講習会
(3)企画開発費	800,000	1,369,089	569,089	
①旅費交通費	300,000	1,017,314	717,314	諸会議旅費等
②渉 外 費	500,000	351,775	△148,225	他都市意見交換代等
3. 誘致宣伝受入事業費(MICE振興)	22,000,000	6,967,000	△15,033,000	
(1)印刷製本費	0	317,000	317,000	長崎MICEサービスカタログ印刷

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増△減	説 明
(2)受入対策費	22,000,000	6,650,000	△15,350,000	
①コンベンション開催補助金	22,000,000	6,550,000	△15,450,000	コンベンション開催補助金
②コンベンション受入支援費	0	100,000	100,000	空港広告物掲出等
当期支出合計	26,680,000	11,761,689	△14,918,311	
当期収支差額	△4,680,000	△4,765,989	△85,989	協会自主財源負担額 4,765,989

(合算)当期収入合計	22,000,000	13,586,446	△8,413,554	
(合算)当期支出合計	26,680,000	19,011,509	△7,668,491	
(合算)当期収支差額	△4,680,000	△5,425,063	△745,063	

(収益事業) さるく運営事業会計 (修学旅行ガイド・さるく情報発信等受託)

収入の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増△減	説 明
1. 受 託 収 入	33,757,088	35,264,091	1,507,003	
(1) 修学旅行ガイド受託収入	23,754,855	25,261,859	1,507,004	ガイド運營業務受託料 16,283,859 ガイド謝礼金支払業務受託料 8,978,000
(2) さるく情報発信等受託収入	10,002,233	10,002,232	△1	長崎市受託料
当期収入合計	33,757,088	35,264,091	1,507,003	

支出の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増△減	説 明
1. さるく情報発信等事業費	9,092,940	5,845,347	△3,247,593	
(1) 通信運搬費	240,000	187,594	△52,406	電話料等
(2) 消耗品費	0	13,165	13,165	パネル等
(3) 印刷製本費	0	66,000	66,000	ポスター印刷
(4) 広告費	0	1,277,100	1,277,100	バスラッピング等
(5) 賃借料	100,000	36,121	△63,879	コピー機使用料等
(6) 委託費	2,712,000	1,331,933	△1,380,067	ホームページ運営・改修
(7) 事務費	826,631	22,278	△804,353	セキュリティソフト更新
(8) 雑費	0	4,345	4,345	
(9) 契約職員人件費	5,214,309	2,906,811	△2,307,498	契約1名
①給料	3,183,318	2,122,212	△1,061,106	
②諸手当	1,239,363	379,239	△860,124	
③保険料	754,128	376,493	△377,635	
④厚生費	37,500	28,867	△8,633	
2. 修学旅行ガイド運営事業費	24,857,698	27,542,684	2,684,986	
(1) 通信運搬費	866,220	1,433,588	567,368	電話料、ガイドへの郵送料等
(2) 消耗品費	273,000	190,327	△82,673	コピー用紙等
(3) 印刷製本費	63,000	19,800	△43,200	ガイド用封筒
(4) 賃借料	198,800	337,325	138,525	コピー機使用料等
(5) 保険料	138,808	907,100	768,292	参加者傷害保険、ガイドボランティア保険
(6) 諸謝金	7,703,000	9,092,000	1,389,000	ガイド謝礼、研修講師謝礼
(7) 図書研修費	200,000	175,015	△24,985	班別研修経費
(8) 委託費	0	244,909	244,909	ハードウェア保守
(9) 事務費	1,341,062	20,000	△1,321,062	
(10) 雑費	0	2,475	2,475	
(11) 人件費	7,127,298	7,181,819	54,521	職員1名
①給料	3,748,800	3,748,800	0	
②諸手当	2,350,962	2,386,357	35,395	
③保険料	1,002,536	1,017,812	15,276	
④厚生費	25,000	28,850	3,850	
(12) 契約職員人件費	6,414,910	6,446,707	31,797	契約1名、嘱託1名

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増△減	説 明
①給 料	2,122,212	2,122,212	0	
②諸 手 当	826,242	833,037	6,795	
③嘱 託 費	2,526,754	2,522,916	△3,838	
④保 険 料	889,702	910,586	20,884	
⑤厚 生 費	50,000	57,956	7,956	
(13)ステーション人件費	531,600	1,491,619	960,019	アルバイト
①賃 金	521,600	1,370,082	848,482	
②保 険 料	10,000	19,470	9,470	
③厚 生 費	0	102,067	102,067	
当期支出合計	33,950,638	33,388,031	△562,607	
当期収支差額	△193,550	1,876,060	2,069,610	

(収益事業) 受託事業会計 (施設受託、観光地域づくり受託)

収入の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増△減	説 明
1. 受 託 収 入	333,236,430	362,607,061	29,370,631	
(1) 総合観光案内所受託収入	20,787,390	20,419,816	△367,574	
①長崎市観光案内	17,299,551	16,961,080	△338,471	長崎市受託料
②タクシー観光案内	3,487,839	3,458,736	△29,103	タクシー観光案内受託料
(2) 亀山社中記念館受託収入	10,438,040	10,438,040	0	長崎市受託料
(3) 観光地域づくり推進受託収入	302,011,000	317,453,973	15,442,973	DX化推進及び誘客プロモーション業務 126,945,640 観光地域づくりプロモーション業務 175,064,630 インバウンドセールス等業務 15,443,703
(4) キャリア教育推進 事業受託収入	0	1,610,534	1,610,534	長崎市受託料
(5) 長崎市&五島市旅行 促進事業受託収入	0	9,999,000	9,999,000	五島市受託料
(6) 総合観光案内所展示品 設置等業務受託収入	0	1,579,879	1,579,879	長崎市受託料
(7) 観光案内所デジタル サイネージ業務受託収入	0	1,061,216	1,061,216	長崎市受託料
(8) 朝たび長崎宿泊プラン 提供業務受託料	0	44,603	44,603	長崎市受託料
当期収入合計	333,236,430	362,607,061	29,370,631	

支出の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増△減	説 明
1. 観光案内所受託事業費	15,726,865	15,485,023	△241,842	
(1) 人 件 費	3,990,545	3,941,960	△48,585	職員1名(7ヶ月)
①給 料	2,200,800	2,200,800	0	
②諸 手 当	1,147,362	1,182,983	35,621	
③保 険 料	627,783	549,071	△78,712	
④厚 生 費	14,600	9,106	△5,494	
(2) 契約職員人件費	10,851,848	9,908,383	△943,465	嘱託3名、アルバイト
①嘱 託 費	8,678,616	7,815,988	△862,628	
②賃 金	437,000	804,617	367,617	
③保 険 料	1,654,992	1,203,416	△451,576	
④厚 生 費	81,240	84,362	3,122	
(3) 被 服 費	439,200	85,635	△353,565	制服
(4) 事 務 費	445,272	1,549,045	1,103,773	
2. タクシー観光案内受託事業費	3,170,764	2,752,731	△418,033	
(1) 人 件 費	3,170,764	2,752,731	△418,033	嘱託1名
①嘱 託 費	2,692,626	2,353,532	△339,094	
②保 険 料	453,138	372,657	△80,481	
③厚 生 費	25,000	26,542	1,542	
3. 亀山社中記念館受託事業費	13,199,235	12,590,989	△608,246	
(1) 人 件 費	5,943,845	5,722,421	△221,424	職員1名
①給 料	3,392,700	3,392,700	0	
②諸 手 当	1,680,101	1,483,961	△196,140	

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増△減	説 明
③保 険 料	846,044	819,218	△26,826	
④厚 生 費	25,000	26,542	1,542	
(2)契約職員人件費	6,862,503	6,549,684	△312,819	嘱託3名、アルバイト
①嘱 託 費	5,679,990	5,455,978	△224,012	
②賃 金	159,850	56,378	△103,472	
③保 険 料	947,663	952,533	4,870	
④厚 生 費	75,000	84,795	9,795	
(3)消 耗 品 費	120,000	162,352	42,352	清掃用品、インクカートリッジ等
(4)事 務 費	272,887	156,532	△116,355	
4. 観光地域づくり推進受託事業費	266,124,057	318,798,269	52,674,212	
(1)海外誘客事業費	2,168,000	14,443,969	12,275,969	
①委 託 費	1,968,000	3,277,781	1,309,781	プロモーション業務等
②旅費交通費	0	890,451	890,451	セールス・商談会旅費
③通信運搬費	200,000	6,932	△193,068	送料等
④印刷製本費	0	4,590,300	4,590,300	外国語マップ印刷
⑤広 告 費	0	5,171,400	5,171,400	海外向けプロモーション
⑥渉 外 費	0	72,642	72,642	交流経費
⑦賃 借 料	0	56,881	56,881	市内移動費
⑧諸 謝 金	0	155,917	155,917	外国語翻訳
⑨支払負担金	0	200,000	200,000	海外招待ロケ負担
⑩雑 費	0	21,665	21,665	
(2)ウェブ・サイト情報発信事業費	61,040,000	72,185,959	11,145,959	
①委 託 費	61,040,000	71,729,979	10,689,979	web関連経費等
②広 告 費	0	443,000	443,000	インスタフォロワー増加対策
③雑 費	0	12,980	12,980	
(3)動向調査事業費	18,415,000	21,876,950	3,461,950	
①委 託 費	18,415,000	18,443,326	28,326	観光客動向調査、マーケティングリサーチ委託等
②旅費交通費	0	385,985	385,985	会議出席旅費
③賃 借 料	0	931,528	931,528	会場借上げ
④諸 謝 金	0	2,101,162	2,101,162	DMO策定検討会・マーケティングラボ謝礼
⑤雑 費	0	14,949	14,949	
(4)国内誘客事業費	87,317,000	120,839,850	33,522,850	
①委 託 費	68,505,000	64,783,854	△3,721,146	プロモーション業務等
②渉 外 費	0	501,380	501,380	交流経費
③賃 借 料	0	1,392,188	1,392,188	倉庫代、市内移動費等
④諸 謝 金	0	65,000	65,000	講演会謝礼
⑤旅費交通費	2,400,000	2,489,576	89,576	セールス・商談会旅費
⑥通信運搬費	2,240,000	3,449,243	1,209,243	送料等
⑦印刷製本費	13,872,000	14,103,111	231,111	マップ印刷、コピー機使用料等
⑧消 耗 品 費	0	1,171,453	1,171,453	パソコン、コピー用紙等

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増△減	説 明
⑨広告費	0	18,970,500	18,970,500	テレビ・交通機関・雑誌広告等
⑩賃借料	300,000	0	△300,000	
⑪支払負担金	0	13,868,000	13,868,000	出向者負担金等
⑫雑費	0	45,545	45,545	
(5)コンテンツ造成事業費	8,382,000	4,748,651	△3,633,349	
①委託費	8,382,000	4,748,651	△3,633,349	サステナブルツーリズム委託等
(6)誘致宣伝受入事業費(MICE振興)	5,175,000	5,915,976	740,976	
①通信運搬費	200,000	149,696	△50,304	送料等
②消耗品費	0	294,539	294,539	パソコン、コピー用紙等
③委託費	300,000	993,114	693,114	国際会議向け動画制作等
④印刷製本費	630,000	239,710	△390,290	コピー機使用料
⑤旅費交通費	2,346,000	1,306,315	△1,039,685	セールス・商談会旅費
⑥渉外費	0	251,203	251,203	交流経費
⑦賃借料	0	1,445,354	1,445,354	会場借上げ、市内移動費等
⑧支払負担金	1,589,000	1,111,615	△477,385	MICE団体負担金等
⑨支払手数料	110,000	110,000	0	JCCBデータ購入
⑩雑費	0	14,430	14,430	
(7)人件費	67,112,650	57,778,515	△9,334,135	職員9名
①給料	33,483,900	28,808,591	△4,675,309	
②諸手当	23,868,023	20,756,288	△3,111,735	
③保険料	9,535,727	7,940,364	△1,595,363	
④厚生費	225,000	273,272	48,272	
(8)契約職員人件費	3,500,000	10,364,670	6,864,670	契約4名、アルバイト
①給料	1,737,500	6,829,093	5,091,593	
②諸手当	1,216,250	1,654,081	437,831	
③賃金	0	484,496	484,496	
④保険料	521,250	1,315,609	794,359	
⑤厚生費	25,000	81,391	56,391	
(9)事務費	12,914,407	10,643,729	△2,270,678	
(10)雑費	100,000	0	△100,000	
5. キャリア教育推進受託事業費	0	1,255,090	1,255,090	
(1)施設使用料	0	39,360	39,360	施設入館料
(2)委託費	0	1,215,000	1,215,000	体験料
(3)事務費	0	400	400	
(4)雑費	0	330	330	
6. 長崎市&五島市旅行 促進事業受託事業費	0	8,900,410	8,900,410	
(1)委託費	0	8,781,300	8,781,300	宣伝業務委託
(2)旅費交通費	0	104,010	104,010	調査
(3)事務費	0	14,000	14,000	
(4)雑費	0	1,100	1,100	

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増△減	説 明
7. 総合観光案内所展示品 設置等業務受託事業費	0	1,367,507	1,367,507	
(1) 消耗品費	0	450,483	450,483	ディスプレイ用品
(2) 印刷製本費	0	55,000	55,000	ディスプレイ用ポスター印刷
(3) 委託費	0	856,639	856,639	ディスプレイプラン委託
(4) 雑費	0	5,385	5,385	
8. 観光案内所デジタル サイネージ業務受託事業費	0	300,150	300,150	
(1) 委託費	0	299,400	299,400	デジタルサイネージ利用料等
(2) 雑費	0	750	750	
9. 朝たび長崎宿泊プラン 提供業務受託事業費	0	44,110	44,110	
(1) 施設使用料	0	44,000	44,000	体験料等
(2) 雑費	0	110	110	
当期支出合計	298,220,921	361,494,279	63,273,358	
当期収支差額	35,015,509	1,112,782	△33,902,727	

(収益事業) 販売事業会計

収入の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増△減	説 明
1. 売上金収入	57,637,800	81,884,636	24,246,836	
(1)印刷物収入	55,000	42,192	△12,808	
(2)通信販売部収入	1,500,000	3,023,584	1,523,584	
(3)イベント販売部収入	4,781,000	5,745,894	964,894	長崎ランタンフェスティバル
(4)長崎ストーリーズ収入	3,004,800	4,330,580	1,325,780	2,222名
(5)SDGs平和ワークショップ収入	500,000	1,219,000	719,000	3校 421名
(6)平和ARアプリ収入	900,000	12,300	△887,700	1校 41名
(7)企画商品収入	45,500,000	64,692,900	19,192,900	
①遊 学 券	42,500,000	50,905,700	8,405,700	87,206冊(小学16,950冊、中学32,357冊、高校37,899冊)
②周遊パスポート	0	10,999,600	10,999,600	7,843枚(バスケット2,177枚、加チャ-2,024枚、夜景3,642枚)
③シュガーロードPASS	3,000,000	2,787,600	△212,400	1,688冊、DCキャンペーン分
(8)旅行商品収入	500,000	764,431	264,431	
(9)亀山社中物販収入	897,000	1,422,755	525,755	
(10)手ぶら観光事業収入	0	631,000	631,000	取扱数631個
2. 手数料収入	2,870,000	4,233,187	1,363,187	
(1)受託販売手数料	1,570,000	2,559,693	989,693	電車一日乗車券等
(2)旅行商品手配手数料	1,300,000	1,673,494	373,494	
3. 負担金収入	53,000	141,259	88,259	
(1)宿泊施設負担金収入	53,000	8,259	△44,741	
(2)手ぶら観光事業負担金収入	0	133,000	133,000	
4. 雑 収 入	101,000	553,397	452,397	
(1)利 息 収 入	1,000	5,625	4,625	
(2)雑 収 益	100,000	547,772	447,772	手ぶら長崎観光事業支援金等
当期収入合計	60,661,800	86,812,479	26,150,679	

支出の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増△減	説 明
1. 事 業 費	50,433,862	65,274,234	14,840,372	
(1)通信販売部費	1,310,000	2,694,740	1,384,740	
①仕 入 費	960,000	2,005,822	1,045,822	物品販売仕入費
②印刷製本費	0	6,325	6,325	限定シール
③広 告 費	100,000	0	△100,000	
④賃 借 料	150,000	136,400	△13,600	倉庫料
⑤雑 費	100,000	546,193	446,193	ネット販売利用料等
(2)イベント販売部費	4,016,580	3,296,791	△719,789	
①仕 入 費	3,251,080	1,259,983	△1,991,097	物品販売仕入費
②支払負担金	315,500	480,753	165,253	長崎ランタンフェスティバル販売負担分

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増△減	説 明
③委 託 費	0	949,500	949,500	売店運営スタッフ派遣等
④賃 借 料	150,000	136,400	△13,600	倉庫料
⑤支払手数料	0	174,230	174,230	恋ランタン販売
⑥事 務 費	100,000	253,244	153,244	
⑦雑 費	200,000	42,681	△157,319	
(3) イベント販売人件費	800,000	0	△800,000	
①賃 金	800,000	0	△800,000	
(4) 印刷物販売経費	0	44,078	44,078	
①印刷製本費	0	44,078	44,078	
(5) 長崎ストーリーズ事業費	3,557,684	3,605,919	48,235	
①旅費交通費	0	46,160	46,160	参加者・ガイド移動経費
②通信運搬費	0	105,126	105,126	送料、電話料
③消 耗 品 費	0	78,595	78,595	受付用旗等
④印刷製本費	0	250,170	250,170	コピー機使用料等
⑤広 告 費	1,300,000	175,450	△1,124,550	ホームページビジュアル作成等
⑥賃 借 料	0	8,000	8,000	市内移動費
⑦施設使用料	406,500	417,460	10,960	入場施設使用料
⑧保 険 料	46,934	161,145	114,211	旅行特別補償・旅行業者賠償責任保険
⑨諸 謝 金	1,200,000	1,964,310	764,310	ガイド謝礼
⑩支払手数料	324,250	216,680	△107,570	旅行会社手数料
⑪委 託 料	240,000	173,383	△66,617	コース内商品等
⑫雑 費	40,000	9,440	△30,560	
(6) 長崎ストーリーズ人件費	3,476,206	3,608,374	132,168	契約1名
①給 料	2,122,212	2,122,212	0	
②諸 手 当	826,242	957,894	131,652	
③保 険 料	502,752	499,001	△3,751	
④厚 生 費	25,000	29,267	4,267	
(7) SDGs平和ワークショップ事業費	483,250	738,598	255,348	
①施設使用料	215,250	261,100	45,850	会場借上等
②諸 謝 金	90,000	344,000	254,000	ワークショップ謝礼
③支払手数料	138,000	116,800	△21,200	旅行会社手数料
④雑 費	40,000	16,698	△23,302	
(8) 平和ARアプリ事業費	564,137	57,954	△506,183	
①支払手数料	169,843	1,230	△168,613	アプリ利用手数料
②委 託 費	354,294	55,650	△298,644	アプリ内楽曲使用料等
③雑 費	40,000	1,074	△38,926	
(9) 遊学券事業費	29,563,000	30,648,333	1,085,333	
①通信運搬費	1,000,000	61,310	△938,690	送料
②印刷製本費	5,700,000	8,021,200	2,321,200	本年度増刷及び次年度分

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増△減	説 明
③施設使用料	18,275,000	17,413,935	△861,065	入場施設使用料
④支払手数料	4,338,000	5,071,360	733,360	旅行会社手数料
⑤事 務 費	200,000	57,471	△142,529	ホームページ修正等
⑥雑 費	50,000	23,057	△26,943	
(10)周遊パスポート事業費	0	11,382,583	11,382,583	
①印刷製本費	0	676,500	676,500	ながさき観光きっぷ印刷
②施設使用料	0	10,600,730	10,600,730	入場施設使用料
③支払手数料	0	1,700	1,700	販売手数料
④雑 費	0	103,653	103,653	
(11)シュガーロードPASS事業費	2,613,840	2,439,676	△174,164	
①通信運搬費	30,240	31,946	1,706	送料
②支払手数料	150,000	240,150	90,150	旅行会社手数料
③委 託 費	2,400,000	2,163,400	△236,600	参画施設利用料
④雑 費	33,600	4,180	△29,420	
(12)企画商品人件費	2,955,965	3,058,748	102,783	職員1名(5ヶ月)
①給 料	1,572,000	1,572,000	0	
②諸 手 当	1,038,362	1,038,362	0	
③保 険 料	335,203	428,642	93,439	
④厚 生 費	10,400	19,744	9,344	
(13)旅行商品販売部費	505,000	906,373	401,373	
①仕 入 費	400,000	720,220	320,220	参画施設使用料等
②通信運搬費	50,000	39,480	△10,520	送料
③印刷製本費	0	68,750	68,750	レンタカー連携事業負担分
④保 険 料	10,000	1,000	△9,000	旅行特別補償・旅行業者賠償責任保険
⑤支払手数料	25,000	1,969	△23,031	カード手数料
⑥商品開発費	0	70,500	70,500	朝たび販促
⑦雑 費	20,000	4,454	△15,546	
(14)亀山社中物販費	588,200	891,635	303,435	
①仕 入 費	538,200	889,316	351,116	物品販売仕入費
②雑 費	50,000	2,319	△47,681	
(15)手ぶら観光事業費	0	1,045,570	1,045,570	
①通信運搬費	0	2,380	2,380	送料
②消 耗 品 費	0	246,192	246,192	計測台、のぼり等
③印刷製本費	0	96,250	96,250	チラシ印刷
④委 託 費	0	693,448	693,448	預かり荷物運搬
⑤雑 費	0	7,300	7,300	
(16)手ぶら観光事業人件費	0	854,862	854,862	アルバイト
①賃 金	0	811,225	811,225	
②保 険 料	0	11,613	11,613	

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増△減	説 明
③厚生費	0	32,024	32,024	
2. 特別宣伝費	1,000,000	1,290,513	290,513	長崎ランタンフェスティバル協賛金 1,000,000 マダム関連商品提供 290,513
3. 企画開発費	350,000	234,918	△115,082	
(1) 旅費交通費	100,000	0	△100,000	
(2) 渉外費	100,000	234,918	134,918	会議懇親会等
(3) 商品開発費	50,000	0	△50,000	
(4) 広告費	100,000	0	△100,000	
当期支出合計	51,783,862	66,799,665	15,015,803	
当期収支差額	8,877,938	20,012,814	11,134,876	

当期部門別収支比較

通信販売部	収入	売上金	3,023,584
	支出	事業費	2,694,740
	収支差額		328,844

イベント販売部	収入	売上金	5,745,894
	支出	事業費	3,296,791
		人件費	0
		小計	3,296,791
収支差額		2,449,103	

印刷物	収入	売上金	42,192
	支出	事業費	44,078
	収支差額		△ 1,886

長崎ストーリーズ	収入	売上金	4,330,580
	支出	事業費	3,605,919
		人件費	3,608,374
		小計	7,214,293
収支差額		△ 2,883,713	

SDGs平和ワークショップ	収入	売上金	1,219,000
	支出	事業費	738,598
	収支差額		480,402

平和ARアプリ	収入	売上金	12,300
	支出	事業費	57,954
	収支差額		△ 45,654

企画商品 (遊学券)	収入	売上金	50,905,700
	支出	事業費	30,648,333
		人件費	3,058,748
		小計	33,707,081
収支差額		17,198,619	

企画商品 (周遊パスポート)	収入	売上金	10,999,600
	支出	事業費	11,382,583
	収支差額		△ 382,983

企画商品 (シュガーロードPASS)	収入	売上金	2,787,600
	支出	事業費	2,439,676
	収支差額		347,924

旅行商品	収入	売上金	764,431
		手数料	1,673,494
		小計	2,437,925
	支出	事業費	906,373
収支差額		1,531,552	

亀山社中物販	収入	売上金	1,422,755
	支出	事業費	891,635
	収支差額		531,120

手ぶら観光事業	収入	売上金	631,000
		負担金	133,000
		小計	764,000
	支出	事業費	1,045,570
		人件費	854,862
収支差額		△ 1,136,432	

受託販売手数料	収入	手数料	2,559,693
	支出	—	0
	収支差額		2,559,693

宿泊施設負担金	収入	負担金	8,259
	支出	—	0
	収支差額		8,259

雑収入	収入	雑収入	553,397
	支出	—	0
	収支差額		553,397

特別宣伝費	収入	—	0
	支出	事業費	1,290,513
	収支差額		△ 1,290,513

企画開発費	収入	—	0
	支出	事業費	234,918
	収支差額		△ 234,918

当期収支差額		20,012,814
--------	--	------------

(公益事業) 法人会計

収入の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増△減	説 明
1. 会 費 収 入	14,430,000	15,145,000	715,000	長崎商工会議所 一般会員
				2,000,000 13,145,000
2. 雑 収 入	301,682	377,407	75,725	
(1) 利 息 収 入	1,000	19	△981	
(2) 雑 収 益	300,682	377,388	76,706	
当期収入合計 (A)	14,731,682	15,522,407	790,725	

支出の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増△減	説 明
1. 誘致宣伝受入事業費	650,000	610,000	△40,000	
(1) 支払負担金	650,000	610,000	△40,000	
① 観光団体負担金	600,000	610,000	10,000	加盟機関団体年度会費
② コンベンション団体負担金	50,000	0	△50,000	
2. 会 議 費	1,300,000	2,018,951	718,951	総会、理事会、委員会、監査会等
3. 支払手数料	0	825,000	825,000	職員公募経費
4. 事 務 費	3,500,000	2,636,377	△863,623	電話料、切手、事務機器リース料、消耗品等
5. 雑 費	100,000	170,700	70,700	慶弔費、記念品等
6. 事務局管理費	10,113,573	10,257,530	143,957	
(1) 契約職員人件費	4,393,320	4,405,539	12,219	専務理事1名
① 給 料	3,154,272	3,154,272	0	
② 諸 手 当	630,854	630,854	0	
③ 保 険 料	583,194	597,370	14,176	
④ 厚 生 費	25,000	23,043	△1,957	
(2) 光熱水料費	1,000,000	640,340	△359,660	事務所電気、ガス、水道料
(3) 賃 借 料	3,000,000	3,357,662	357,662	事務所使用料
(4) 委 託 費	1,000,000	1,208,900	208,900	事務委託料
(5) 減価償却費	20,000	4,955	△15,045	
(6) 租 税 公 課	0	26,100	26,100	
① 消 費 税	0	26,100	26,100	
(7) 事 務 費	500,000	498,804	△1,196	新聞代等
(8) 雑 費	200,253	110,275	△89,978	
(9) 減価償却引当金繰入額	0	4,955	4,955	
当期支出合計	15,663,573	16,518,558	854,985	
当期収支差額	△931,891	△996,151	△64,260	

(収益事業) 法人会計

収入の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増△減	説 明
1. 雑 収 入	0	1,700,000	1,700,000	
(1) 雑 収 益	0	1,700,000	1,700,000	事業復活支援金・給付金
当期収入合計	0	1,700,000	1,700,000	

支出の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増△減	説 明
1. 管 理 費	51,001,006	33,903,816	△17,097,190	
(1) 人 件 費	7,257,423	7,408,134	150,711	職員1名
① 給 料	3,748,800	3,748,800	0	
② 諸 手 当	2,474,214	2,512,957	38,743	
③ 保 険 料	1,009,409	1,026,335	16,926	
④ 厚 生 費	25,000	120,042	95,042	
(2) 契約職員人件費	4,508,695	4,705,624	196,929	契約1名
① 給 料	2,743,776	2,743,776	0	
② 諸 手 当	1,097,922	1,140,351	42,429	
③ 保 険 料	641,997	669,955	27,958	
④ 厚 生 費	25,000	151,542	126,542	
(3) 減価償却費	500,000	192,492	△307,508	
(4) 租 税 公 課	33,917,781	13,944,400	△19,973,381	
① 納 税 金	50,000	34,500	△15,500	自動車税
② 消 費 税	33,867,781	13,909,900	△19,957,881	
(5) 事 務 費	500,000	2,455,690	1,955,690	事務用品等
(6) 図書研修費	0	511,632	511,632	職員研修
(7) 雑 費	1,000	38,288	37,288	
(8) 減価償却引当金繰入額	0	582,976	582,976	
(9) 特定預金支出	4,316,107	4,064,580	△251,527	
① 退職積立引当金	4,316,107	4,064,580	△251,527	
当期支出合計	51,001,006	33,903,816	△17,097,190	
法人税・住民税及び事業税	950,000	71,000	△879,000	
当期収支差額	△51,951,006	△32,274,816	19,676,190	

法人会計(合算)当期収入合計	14,731,682	17,222,407	2,490,725	
法人会計(合算)当期支出合計	67,614,579	50,493,374	△17,121,205	
法人会計(合算)当期収支差額	△52,882,897	△33,270,967	19,611,930	

令和5年5月26日

監査報告

一般社団法人長崎国際観光コンベンション協会

監事 近藤 正敏



監事 山口 喜三



令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業年度における事業報告、計算書類、これらの附属明細書、その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容

監事間の協議により監査方針を定めた上で、監事山口は、補助事業及び自主事業会計、さるく運営事業会計を中心に、監事近藤は、受託事業会計、販売事業会計、法人会計を中心に調査を行い、その結果を監事間で協議して、監査を実施しました。

具体的には、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当法人の理事等から、職務の執行状況等について定期的に報告を受け、また、随時説明を求めました。

2 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。
- (4) 計算書類とその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しています。

(太字下線及び取消線が変更箇所)

一般社団法人長崎国際観光コンベンション協会 定款 (変更条文抜粋)

定款改正日 令和5年6月20日

(権限)

旧第13条 総会は、次の事項について決議する。

- (1) 入会の基準
- (2) 会員の除名
- (3) 理事及び監事（以下「役員」という）の選任及び解任
- (4) 理事及び監事の報酬等の額
- (5) 貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにこれらの附属明細書の承認
- (6) 定款の変更
- (7) 事業の全部の譲渡
- (8) 解散及び残余財産の帰属の決定
- (9) その他総会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

新第13条 総会は、次の事項について決議する。

- (1) 入会の基準
- (2) 会員の除名
- (3) 理事及び監事（以下「役員」という）の選任及び解任
- (4) **理事及び監事役員**の報酬等の額
- (5) 貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにこれらの附属明細書の承認
- (6) 定款の変更
- (7) 事業の全部の譲渡
- (8) 解散及び残余財産の帰属の決定
- (9) その他総会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(議長)

旧第16条 総会の議長は、会長とする。

2 会長が欠けたとき又は会長に事故があるときは、その総会において、出席正会員理事の中から選出する。

新第16条 総会の議長は、会長とする。

2 会長が欠けたとき又は会長に事故があるときは、~~その総会において、出席正会員理事の中から選出する。~~理事長が総会の議長となる。

(役員を設置)

旧第21条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 30名以上40名以内
- (2) 監事 3名以内
- 2 理事のうち会長を1名、副会長を5名以内、専務理事を1名及び常務理事を1名以内とする。
- 3 前項の会長をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律に規定する代表理事とする。

新第21条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 30名以上40名以内
- (2) 監事 3名以内
- 2 理事のうち会長を1名、**理事長を1名**、副会長を5名以内、専務理事を1名**以内**及び常務理事を1名以内とする。
- 3 前項の会長をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律に規定する代表理事とし、**理事長をもって同法第91条第1項第2号の業務執行理事**とする。

(役員を選任)

旧第22条 理事及び監事は、総会の決議によって選任する。ただし、総会で必要と認めるときは会員以外から理事3名以内を選任することができる。

- 2 会長は、理事会の決議によって理事の中から選任する。
- 3 副会長、専務理事及び常務理事は、理事会の同意を得て、会長が理事の中から選任する。
- 4 監事はこの法人の理事又は使用人を兼ねることができない。

新第22条 **理事及び監事役員**は、総会の決議によって選任する。ただし、総会で必要と認めるときは会員以外から理事3名以内を選任することができる。

- 2 会長は、理事会の決議によって理事の中から選任する。
- 3 **理事長**、副会長、専務理事及び常務理事は、理事会の同意を得て、会長が理事の中から選任する。
- 4 監事はこの法人の理事又は使用人を兼ねることができない。

(理事の職務及び権限)

旧第23条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより職務を執行する。

- 2 会長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行する。
- 3 会長は、毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

新第23条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより職務を執行する。

- 2 会長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行する。

- 3 会長及び理事長は、毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(招集)

旧第32条 理事会は、会長が招集する。

- 2 会長が欠けたとき又は会長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

新第32条 理事会は、会長が招集する。

- 2 会長が欠けたとき又は会長に事故があるときは、**理事長各理事**が理事会を招集する。

(議長)

旧第33条 理事会の議長は、会長とする。

- 2 会長が欠けたとき又は会長に事故があるときは、副会長の中から1人が理事会の議長となる。

新第33条 理事会の議長は、会長とする。

- 2 会長が欠けたとき又は会長に事故があるときは、**理事長副会長の中から1人**が理事会の議長となる。

(決議)

旧第34条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、理事が理事会の決議の目的である事項について提案した場合において、理事（当該事項について議決に加わることができる者に限る。）の全員が当該提案について書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する理事会の決議があったものとみなす。ただし、監事はその提案に異議を述べたときはこの限りでない。

- 3 理事又は監事が、理事及び監事の全員に対して理事会に報告すべき事項を通知したときは、当該事項を理事会へ報告することを要しない。

- 4 前項の規定は、第23条第3項に規定する報告については適用しない。

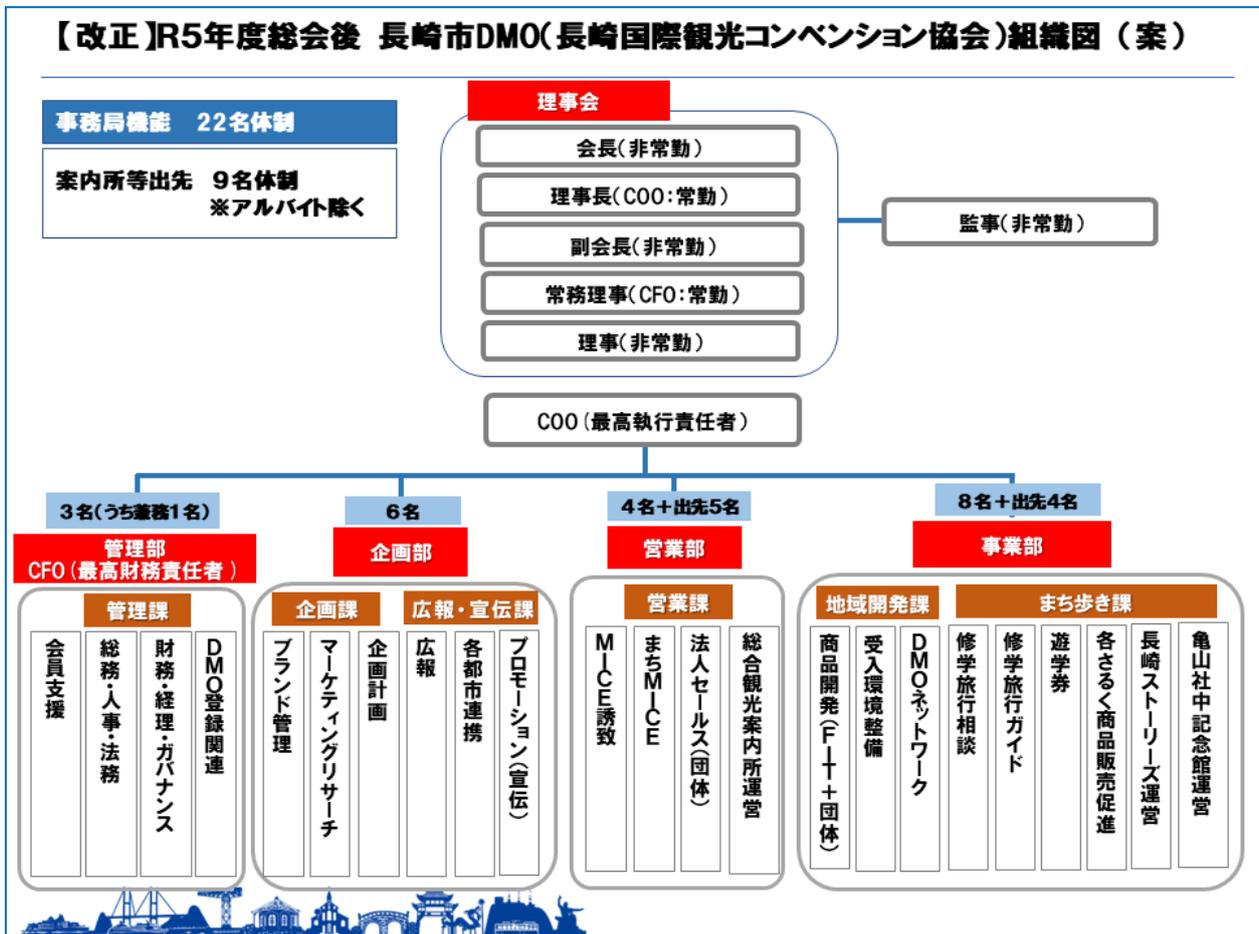
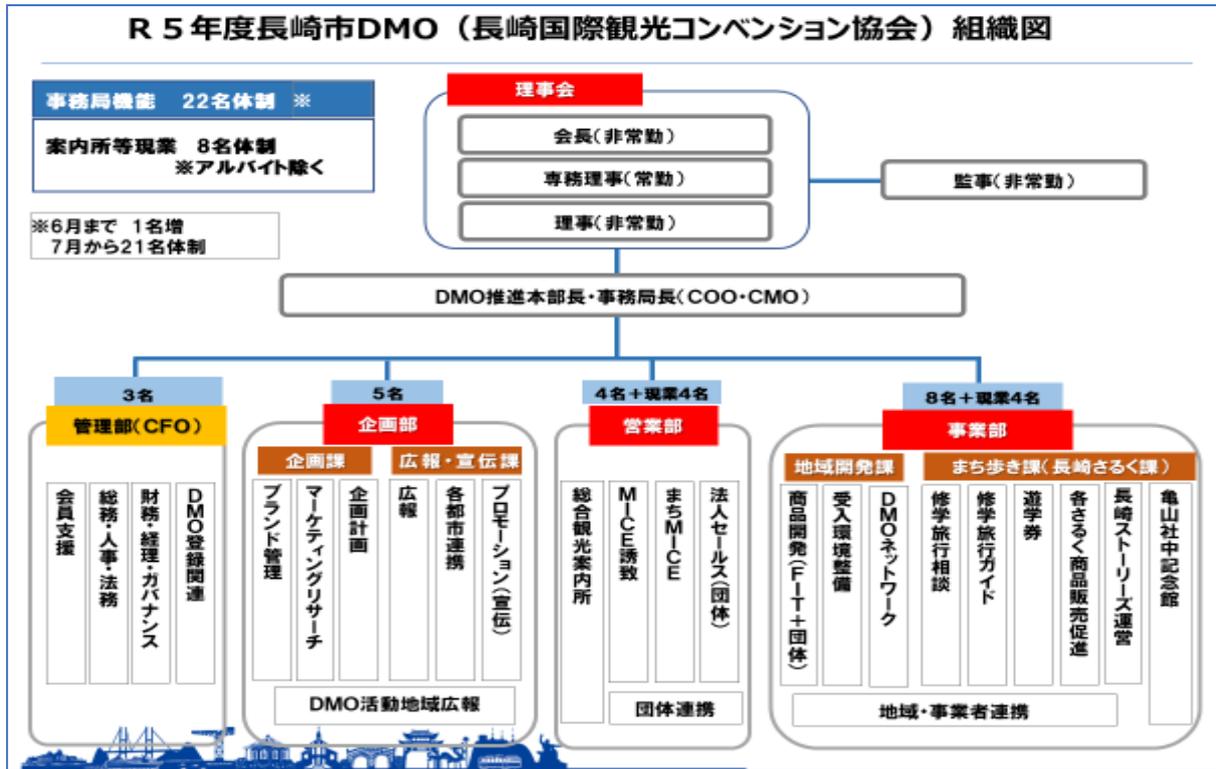
新第34条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、理事が理事会の決議の目的である事項について提案した場合において、理事（当該事項について議決に加わることができる者に限る。）の全員が当該提案について書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する理事会の決議があったものとみなす。ただし、監事はその提案に異議を述べたときはこの限りでない。

- 3 理事又は監事が、**理事及び監事役員**の全員に対して理事会に報告すべき事項を通知したときは、当該事項を理事会へ報告することを要しない。

- 4 前項の規定は、第23条第3項に規定する報告については適用しない。

参考：定款変更に伴う組織の見直し



(参考) 一般社団法人長崎国際観光コンベンション協会 定款抜粋

(役員を選任)

第22条 理事及び監事は、総会の決議によって選任する。ただし、総会で必要と認めるときは会員以外から理事3名以内を選任することができる。

(役員任期)

第25条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する通常総会の終結のときまでとする。

2 監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する通常総会の終結のときまでとする。

3 前2項の規定にかかわらず、任期の満了前に退任した理事又は監事の補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了するときまでとする。

増員により選任された理事の任期は、他の理事の任期の残存期間と同一とする。

4 理事又は監事については、再任を妨げない。

5 理事又は監事が第21条に定める定数に足りなくなるとき又は欠けたときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、それぞれ新たに選任された理事又は監事が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

令和5年度 事業計画 基本方針

当協会は長崎市及び周辺地域の観光・コンベンションの活性化と郷土芸能及び年中行事の育成保存に取り組んでおり、観光地域づくり法人（DMO: Destination Management/ Marketing Organization）として「長崎市観光・MICE 戦略」に掲げる「選ばれる21世紀の交流都市」の実現を目指し、長崎市及び観光・交流を担うすべての事業者、市民と連携して、観光地域づくりを行っていく。

ポストコロナの市場動向

令和2年初頭からの新型コロナウイルス感染症の世界的流行は、生活のあらゆる側面に影響を及ぼし、私たち観光・交流業界においても、訪問客の減少、衛生環境の確立、特にインバウンドでは、ほぼ皆無になるなど非常に厳しい状況が続いてきた。

しかし、これまでのワクチン接種の普及と新しい生活様式の変化・定着、さらには政府の全国旅行支援などにより、徐々に元の姿に戻りつつあり、もっとも影響の大きかったインバウンドについても、政府の水際対策の緩和により、一部の国を除き、急速に再拡大しつつある。

ただし、この間のコロナ禍を経ていくなかで、持続可能性に対する市民意識の向上もあり、従来とは異なる新しい生活、消費スタイルが生まれてきており、観光・交流分野においても同様の市場変化がおこりつつある。

長崎市の状況と機会

このコロナ禍では、長崎市においても、平成30年には700万人だった観光客数が、令和2年、3年には、260万人弱となるなど、非常に厳しい状況となった。しかしながら、一昨年秋には長崎市恐竜博物館、出島メッセ長崎が開業し、昨年は、コロナ禍の落ち着きとともに9月には西九州新幹線の開業とその後続く、「佐賀・長崎デスティネーションキャンペーン」を一大契機に、「長崎大くんち展」、「長崎ランタンフェスティバル2023」などのイベントも開催され、東京、大阪や福岡などの大都市圏からの訪問も大幅に増え、交流による賑わいが戻りつつある。

いま、長崎市中心部は「100年に一度のまちの変革期」にあり、今年度は、新長崎駅ビル開業、来年度は、新しい交流を生み出す「長崎スタジアムシティ」の開業が予定されている。また、今年5月にはMICE都市としてのブランド向上に資するG7長崎保健大臣会合の開催も予定されている。

令和5年度方針 ポストコロナにおける誘客強化と更なる魅力づくり

このようななか、令和5年度は、国内観光の本格稼働や水際対策緩和によるインバウンド拡大の中で生まれるあらゆる需要を着実に取り込むとともに、事業者、市民、行政と連携し、地域全体でこの好機を活かし、次の成長や進化に繋げることが求められる。

当協会は、長崎市のDMOとして「訪問客の満足度向上・消費拡大」、「事業者のビジネスチャンス拡大・収益向上」、「市民の満足度向上」の実現をミッションに掲げており、地域の舵取り役となるための協会の経営・財務基盤強化を図っていく。そのうえで、取り巻く内外の環境の変化を見据え、協会会員をはじめとする市民・事業者との綿密なコミュニケーション・連携強化（共感・共創）を図り、地域の魅力づくり・ブランド向上、多面的な情報発信、セールス強化を行うことで、観光・交流の活性化を目指すこととする。

<事業・市場別方針>

- ① ブランディング
 - インナーブランディングの醸成
 - 対外的なブランドコミュニケーションの強化
- ② マーケティング
 - 市内事業者に対する観光マーケティング情報の活用促進、DMO事業活動の見える化
 - 長崎市観光まちづくりネットワークの組成（地域共創基盤）
- ③ 国内誘致・受入
 - 観光マスターブランドを中核に一貫性のある誘致戦略の本格化
 - 持続可能（地域の「環境」「文化」「経済」）なビジネスモデルの基礎構築
- ④ インバウンド誘致・受入
 - 関係機関・他都市との連携強化、デジタルプロモーションを中心とした訪日・長崎旅行の期待感の醸成、訪問意欲の向上（重点国：台湾、世界水泳開催による欧米豪）
- ⑤ MICE誘致・受入
 - MICE開催都市としてのブランド強化及び情報発信の強化
 - 3者（DMO、長崎市、株ながさきMICE）連携の強化、ワンストップ体制強化による主催者と参加者を満足させる誘致・受入活動の推進
- ⑥ 修学旅行誘致・受入
 - 観光マスターブランド戦略と連動した誘致・受入活動の推進
 - 新規校の獲得とリピート化を目指したソリューション型営業の強化

<観光地域づくりにおける主な成果指標>

※満足度：TOP1BOX（選択肢の中で最上位評価の占める割合）

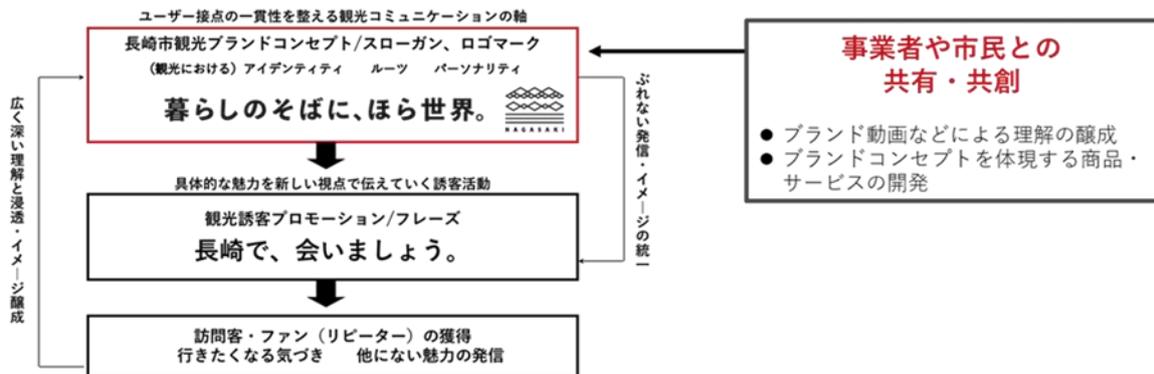
事業/市場	取組内容	項目	指標	R3	R4	R5	R6	R7	
			単位	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	
ブランディング	ブランド価値醸成、浸透	国内想起率（純粋）	%	-	調査開始	別途設定			
	インナーブランディング	DMOのブランド取組みに関する事業者満足度	%	2.4	10	15	20	25	
国内	誘致	誘致プロモーション	訪問意欲度	%	28.1	29.5	30	30.5	31
		長崎市公式観光WEBサイトの運用	WEBサイト訪問者数（GA3ベース）	UU	946,767	1,041,000	1,197,000	1,221,000	1,245,000
			WEBサイト閲覧数（GA3ベース）	PV	2,851,156	3,316,000	3,606,000	3,678,000	3,752,000
	受入（消費拡大）	体験コンテンツの予約販売サイト「playnagasaki」の強化・運営	利用客数	人	-	58,000	58,580	59,166	59,757
			販売額	千円	-	183,700	185,537	187,392	189,266
		まち歩き観光「長崎さるく」の情報発信	利用客数	人	2,375	4,600	6,200	8,000	9,000
			販売額	千円	-	9,200	12,400	16,000	18,000
			満足度	%	-	調査開始	別途設定		
		MICE	誘致	セールス	誘致成約件数	件	20	25	30
受入（消費拡大）	まちMICE推進		市内事業者受注件数	件	156	500	625	750	875
			市内事業者受注額	千円	33,975	108,720	135,900	163,080	187,542
			MICE主催者満足度	%	11	12	13	14	15
			MICE参加者満足度	%	33	34	35	36	37
修学旅行	受入（消費拡大）	ながさき平和・歴史ガイドの運営	登録ガイド数	人	156	170	180	180	180
			利用者数	人	24,080	30,000	35,000	35,000	35,000
地域プラットフォーム	DMOを中心とした観光まちづくり推進体制の強化	市内事業者満足度	%	-	調査開始	別途設定			
		市内調達率	%	-	調査開始	別途設定			

各事業の取組み

1 観光・交流促進（魅力づくり、誘客・消費拡大）

(1) 長崎市の観光ブランドの確立 【観光地域づくり事業】

（長崎市観光マスターブランドの浸透・認知拡大）



① 域内向け（インナーブランディングの醸成）

観光マスターブランドの構築背景や策定のプロセス、コンセプトなど、市民や市内事業者へのブランドの浸透・理解促進を図り、ビジネスにおける活用を促す。

ア アクションプランの策定

令和5年度から令和7年度（DMO事業計画後期3カ年）をブランド浸透強化期間とし、特に市内事業者や市民へのインナーブランディングの浸透に取り組むためのアクションプランを策定し、PDCAを実行していく。

イ JR長崎駅コンコースサイネージへの掲示

ウ 市内交通機関とのタイアップ

エ 「長崎のふつうは世間のふしぎ展」の市内開催

令和4年度に東京（代官山）と大阪（梅田）で開催（各地1日）し、多くの来場者にブランド訴求することができた展示会形式のリアルプロモーションを、令和5年度では市内で開催し、域内での認知度及び共感を高めていく。



② 域外向け（対外的なブランドコミュニケーションの強化）

観光マスターブランドを中核に一貫性のある誘致戦略の本格化させるため、中長期的な視点で本質的価値を伝え続けることで、各プロモーションやセールス効果を最大化させ、想起や訪問意欲を高めていく。

- ア 全国交通機関とのタイアップ
- イ ブランドコミュニケーション記事制作（3回）
- ウ ブランド訴求グッズの制作

(2) マーケティングリサーチ 【観光地域づくり事業】

① 観光動向調査

マーケティング活動の中で発生する課題（企画・実行・効果検証）に対し、観光客、MICE 参加者・主催者、市民、事業者を対象とした調査やビッグデータの収集など、様々な手法を用いて幅広く調査・分析を行う。

ア 包括的マーケティングリサーチ

(ア) 市場調査

- ・ブランド調査（認知度・想起率、シーズンプロモーション効果測定等）
- ・コンテンツ・ターゲット調査（例：消費者インサイト調査分析）
- ・来訪者調査（アンケートによる観光動向調査（日本人、外国人））

※インバウンドの段階的な再拡大を睨み、外国人の動向調査を再開予定

- (イ) MICE 調査（主催者・参加者調査）
- (ウ) 事業者調査（観光・MICE 関連事業者調査、受入水準調査）
- (エ) 市民調査（おもてなし、観光・MICE 参加意向調査）
- (オ) マンスリーレポート等の発行

イ ビッグデータの購入・利用（モバイル空間統計、DS.INSIGHT）

ウ データ分析ツール（Tableau）の使用

エ イベント実施に伴う調査・分析

オ 秋期・春期国道交通量・発地調査

	旅マエ			旅ナカ	旅アト (旅マエ)
	Dream	Consider	Activate	Travel	Share
	旅行先としての認知	旅行先の検討	旅行の計画、予約・購入	体験・消費	クチコミ、情報共有・拡散
(1) ブランド調査	(1)ブランド調査 【国内】1,000人定点観測(R3～継続実施)			»	
	(1)ブランド調査 【海外】10カ国程度 各300人 Google Consumer Surveysを活用。認知度、理解度、訪問意欲などを調査			»	
(2) 市場調査				(2)市場調査(消費者インサイト等)	»
(3) 長崎市訪問客動向調査	(3)長崎市訪問客動向調査 【国内】訪問客 1,500人以上 サンプル回収計画を定め年間を通じた調査を実施			»	
	(3)長崎市訪問客動向調査 【海外】訪問客 500人以上 サンプル回収計画を定め年間を通じた調査を実施			»	
(4) MICE関連調査				(4)MICE関連調査 【主催者】50者以上	»
				(4)MICE関連調査 【参加者】500人以上	»
(5) 市内観光事業者調査	(5)市内観光関連事業者調査 【事業者】200者以上 定点観測(観光まちづくりについての評価、マスターブランド認知度など)				
(6) 市民アンケート調査	(6)市民アンケート調査 【市民】500人程度 定点観測(観光まちづくりについての評価、マスターブランド認知度など)				
(7) 移動データ等の分析	(7)移動データ等の分析(検索行動分析)			(7)移動データ等の分析(来訪行動分析)	
				»	

観光マーケティングレポート(3)ツールの活用 解説動画

② マーケティング情報の共有化

令和4年度に構築した市内事業者向けサイトを活用し、市内事業者に対する観光マーケティング情報の活用促進、DMO事業活動の見える化を強化する。

- ・ DMO事業計画、事業報告
- ・ 取り組み紹介
- ・ マンスリーレポート等の調査・分析情報の掲載
- ・ 長崎市観光まちづくりネットワークの紹介、実績紹介
- ・ 補助金、公募情報
- ・ 観光マスターブランドの情報、事業者活用事例 等



(3) 国内誘致・受入

① 誘致プロモーション・セールス【観光地域づくり事業】

今後も拡大する観光ニーズを捉え、主にZ世代、クリエイティブクラス層を継続してターゲットに設定し、観光マスターブランドを軸に大都市圏へのブランド訴求、及び岡山以西の拠点都市(特に北部九州)においては、新幹線開業により物理的・心理的にも近づいたことを継続して訴求し、誘客と消費の拡大に繋がるようクロスメディアプロモーションを行う。

ア シーズンプロモーション

年間を通じて長崎市の多面的で重層的な魅力の浸透を図るとともに、長崎ならではの楽しみ方を紹介する。WEB プロモーションでは、観光公式サイトをハブに取材記事を公開、リアルプロモーションでは、ライフスタイル系全国誌への出稿のほか、ターゲットに親和性が高いメディアを招聘し、魅力を深掘りした取り上げを行う。

施策	コアターゲット	2023年（令和5年）												2024年（令和6年）		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	1月	2月	3月
		春シーズン			夏シーズン			秋シーズン			冬シーズン			春		
基調		観光マスターブランドを柱とした観光コミュニケーション展開														
ブランドコミュニケーション	域内外 ※域外は以下プロモーション連動	JR長崎駅コンコースへの掲示														
		長崎バスラッピング														
		ブランドコミュニケーション記事制作（3回/年）														
		ブランドグッズ制作				ふしぎ展 @長崎開催				JALタイアップ（時期未定）						
シーズンプロモーション	【エリア】 ●大都市圏 ●福岡 ●広島、岡山 【ターゲット】 ●クリエイティブクラス ●Z世代	世界新三大夜景、2つの世界遺産、グルメ（トラフグ）、恐竜、歴史・文化・自然・体験などの過ごし方訴求														
		夏プロモーション 秋プロモーション 冬プロモーション 春プロ														
		取材と記事化および観光公式サイト・SNS「travel nagasaki」での公開														
		メディア招聘 ①				メディア招聘 ②				ライフスタイル系出稿						
						帆船まつりPR				ランタンフェスティバルPR						
WEB 広告		通年で静止画、動画、検索連動型広告を運用。公式サイト、コンテンツサイト、イベントへ誘導														
		 長崎市公式観光サイト travel nagasaki play nagasaki ナガサキ 帆船まつり OTA連携 戸石とらふぐフェア ランタンフェスティバル 通年でのビジュアル/映像等の宣伝素材制作及びコンテンツ追加/更新														

- (ア) ローカル誌への特集記事掲載（年4回）
 - 「travel nagasaki」（WEB、Instagram）への展開
- (イ) ライフスタイル系全国誌への出稿（年2回）
- (ウ) メディア招聘（年2回）

イ WEB 広告

Google、Yahoo、Instagram など各種 WEB 媒体において、認知を獲得するバナー広告、動画広告と、訪問意欲を持つ人に訴求できる検索連動型広告を併用し、旅マエから旅ナカに至る動線に出稿する。

- (ア) 静止画広告（Google、Instagram を想定）
- (イ) 動画広告（YouTube、Instagram を想定）
- (ウ) 検索連動型広告（Google、Yahoo！を想定）
- (エ) OTA 広告（楽天を想定）
- (オ) 広告クリエイティブ、コピー制作

ウ 観光ワンストップサイトの運用・保守管理

これまで一方通行の発信だけであった「あっ！とながさき」から、令和4年9月に「travel nagasaki」にリニューアルオープンし、DMOからの発信だけではなく、事業者の観光情報や訪問客からクチコミなどの情報をワンストップで収集し、適切に発信するとともに、取得したマーケティングデータを新たな戦略に活用するなど、観光のDX化を推進している。さらに、長崎の魅力を発信するための各種サイトを集約し、訪問客の滞在時間と消費の拡大につなげる。

(ア) 長崎市公式観光サイト「travel nagasaki」

(イ) 体験商品予約・販売サイト「play nagasaki」

- ・日本語版ページ・多言語版ページ（英・韓・繁・簡）保守管理
- ・域内イベント情報サイト（井戸端パーティーと調整中）との連携
- ・WEBマガジン「PLAY MAG」記事制作（6回）



(ウ) グルメサイト「ナガサキ飯」

グルメサイト「ナガサキ飯」をハブとして、さしみシティとの連携、長崎市ならではの食の楽しみ方や利用シーンに応じたWEBマガジン仕立ての特集記事を制作・配信する。

保守管理、特集記事制作・配信（4回）

(エ) 修学旅行ページ保守管理

エ セールス

地元支店と連携し商品造成、誘客促進に向けた旅行会社セールスを強化

オ 着地型観光マップ及び観光ポスターの作成と管理・発送

(ア) 観光マップ

日本語（60万部）、英語（15万部）、韓国語・繁体字・簡体字（各3万部）

(イ) 観光ポスター

B1サイズ（500枚）、B3サイズ（2,000枚）

② 受入活動

ア サステナブルツーリズムの推進【観光地域づくり事業】

コロナ禍の観光トレンドの変化も踏まえ、UNWTO(国連世界観光機関)やJNTO(日本政府観光局)において取組みを強化しているサステナブルツーリズム推進の

方針に則して、長崎市においても持続可能な観光地域づくりを目指す。

昨年度で実施した「長崎市版サステナブルツーリズム」推進業務の2年目として、戦略設計に基づき、企画、ブランディング、モデル検証、販売計画、テストマーケティングを実施し、訪問客に観光マスターブランド「暮らしのそばに、ほら世界。」の世界観を感じてもらえるような高付加価値体験や、地域課題の解決をビジネスチャンスにつなげる仕組みを構築する。

体験コンテンツについては SDGs の観点から付加価値を高める磨き上げを行うとともに、食についても、飲食店等における地産地消の取組みを可視化し、アレルギー・ベジタリアンなど多様な食のニーズへの対応強化を図ることで、長崎の食の魅力向上を目指す。

持続可能な観光地域の実現



◆ 地域の「環境」「文化」を活かし守りながら、「経済」を持続に成長させていく

1. 持続可能（地域の「環境」「文化」「経済」）なビジネスモデル＝長崎市版「サステナブルな観光まちづくり」の基本モデルを構築
2. これまで取組んできた体験コンテンツをはじめとする観光商品・サービス磨き上げのためのセミナー、ワークショップの開催
3. 持続可能な食（地産地消等の高付加価値メニュー開発）や・多様な食ニーズ（アレルギー対策、ベジタリアン対策等に関するセミナー～外部アドバイザーを招聘したワークショップ 等

R4年度

- ① 長崎市内滞在コンテンツとSDGs17の項目の関連性調査
- ② 「サステナブルな視点で訪問客の体験価値を高めビジネスチャンスを創出する」セミナーの開催
- ③ 長崎市版サステナブルツーリズムの考え方を共有するワークショップの開催

(ア) 訪問客の満足度を高める滞在型コンテンツの磨き上げ

- ・テーマ共有とコンテンツ・サービス磨き上げのためのセミナー、ワークショップ開催（年2回程度）
- ・モニターツアー等のテストマーケティングの実施、課題抽出、磨き上げのための外部講師、アドバイザー招聘
- ・外部アドバイザーを招聘したワークショップの開催

(イ) 域外事業者をパートナーとしたビジネス創造の仕組みづくり

- ・内的要因調査～課題抽出のための事業者ヒアリング調査
- ・課題解決型ビジネスプラン創出支援（外部アドバイザーとのワーキング）
- ・外部企業とのマッチング支援～持続可能な課題解決型インセンティブツアーモデルケース造成

イ 消費拡大に向けたクチコミ強化【観光地域づくり事業】

旅ナカの消費行動においてはスマートフォンの普及に伴い「クチコミ」が重視されるようになったことから、市内事業者に無料で登録が可能な Google ビジネスプロフィールの活用を促すことで「クチコミ」対策を強化し、飲食等の消費拡大につなげる。

- ・セミナーの開催（年4回開催）
- ・登録サポート支援（登録マニュアル作成、配布、個別説明会等）
- ・登録事業者への効果検証調査

ウ まち歩き観光「長崎さるく」の運営

(ア) 「長崎さるく」の情報発信とブランドの磨上げ【委託事業】

令和4年4月よりリニューアルした「長崎さるく」の事務局として、参画団体の商品や取り組みをHP上に掲載し、商品登録や情報発信をサポートすることで、訪問者に様々なまち歩きの選択肢を提供し、市内事業者のビジネスに結びつけることを目的とする。

(イ) 長崎ストーリーズの販売促進【販売事業】

さらに多くの訪問者や幅広い層に「長崎さるく」に参加していただくことを目的に、DMOでは「長崎ストーリーズ」を造成し令和4年度から事業開始した。

メインターゲットを県外からの訪問客とし、長崎訪問前の予約を促すため、WEBサイトやアクティビティサイトへの掲載、旅行会社へのツアー組み込みを実施する。また、長崎到着後や当日でも参加できるようにすることで、訪問者のすき間時間に訴求していく。また、MICE関係者や教育関係者、他都市からの行政視察についても積極的に受入対応する。（参加者目標：3,200名）

エ 「朝たび長崎・夜たび長崎」事業の取組み【販売事業】

令和4年度は、参画事業者の拡大や提供コンテンツの磨き上げもあり、対前年260%の実績であった。今年度は、さらなる参画事業者の拡大と、「長崎市ならではの」価値を付加し、磨き上げた宿泊プランの提供や、旅ナカで行動変容を促せる柔軟なコンテンツを提供できるように、参画事業者と連携を深め、磨き上げていく。

オ 「ながさき観光きっぷ」の造成・販売【販売事業】

令和4年9月23日の西九州新幹線開業に併せ、長崎市内の主要観光施設を割引価格にて、複数箇所訪問することができる「ながさき観光きっぷ」の販売を開始した。

今年度も価格設定は見直すものの引き続き販売を継続し旅行会社用の設定を行うことで販路の拡大を図っていく。

カ 手荷物配送サービス（手ぶらで長崎観光）の実施【販売事業】

令和4年9月23日の西九州新幹線開業に伴う長崎市総合観光案内所のリニューアルオープンに併せ、手荷物配送サービス（手ぶらで長崎観光）を開始した。今年度も引き続きサービスを継続し、旅行会社との連携による取扱数の拡大を図るとともに配送先宿泊施設の拡大を目指す。

キ 「team NAGASAKI SAFETY」の取組みの発信

- ク 体験型コンテンツ造成や観光地機能向上事業等の活用【実施主体：観光庁、県など】
コンテンツの造成事業や観光地の磨き上げの公募事業が予定されており、これらを活用し、関係団体や活用する事業者と連携し、滞在増、消費増に繋がる取組みを積極的に行う。

(4) インバウンド誘致・受入

① 誘致プロモーション・セールス【観光地域づくり事業】

外国人訪問客にもわかりやすく、長崎らしさを感じられるストーリー性のある体験コンテンツや旅の過ごし方を訴求するためのデジタルプロモーションを行う。

ア 多言語 WEB サイト連携

長崎市の公式観光サイト「travel nagasaki」とデータ連携している多言語版の長崎県公式サイト「DISCOVER NAGASAKI」における掲載情報の充実を図る。日本人向けコンテンツを外国人向けに再編集し、長崎の魅力を訴求する。さらに、外国人向けのモデルコースを新規作成し、魅力の発信を強化する。

イ 台湾向けプロモーション

モデルコースを作成し、台湾・香港向けの日本観光情報サイト「樂吃購（ラーチーゴ）」を用いた情報発信を行う。



ウ 欧州・豪州向けプロモーション

福岡市、熊本市等と連携し、2023年の世界水泳開催を契機に、福岡・九州を訪れる方に対し、長崎の魅力を発信する WEB プロモーションを強化する。

エ セールス活動

長崎県観光連盟等と連携したセールスを強化する。

オ 翻訳（ネイティブによる魅力的に伝える取組み強化）

② 受入活動

ア 「EAT NAGASAKI」の運用・保守管理【観光地域づくり事業】

イ サステナブルツーリズムの推進（再掲）

ウ 消費拡大に向けたクチコミ強化【観光地域づくり事業】

エ 朝たび長崎・夜たび長崎の取組み（再掲）

インバウンド向けの着地型商品としても拡大するとともに、事業者間の連携を促進し、予約なしでも購入できる商品として磨き上げを図る。

オ ながさき観光きっぷの造成・販売（再掲）

カ 手荷物配送サービス（手ぶらで長崎観光）の実施（再掲）

キ 「team NAGASAKI SAFETY」の取組みの発信（再掲）

ク 体験型コンテンツ造成や観光地機能向上事業等の活用（再掲）

(5) MICE 誘致・受入 【観光地域づくり事業】

① MICE ブランドを軸とした情報発信、コミュニケーション

MICE 開催都市としてのブランド強化及び情報発信の強化

ア JNTO と連携した情報収集、長崎 MICE ブランドの発信

イ インセンティブツアー等、MICE 向けコンテンツの磨き上げ

ウ SDGs を意識した商品等の造成支援

（サステナブルツーリズム推進施策との連動含む）

エ スポーツコンベンションなど新たな MICE の推進



② 誘致プロモーション（長崎 MICE 誘致推進協議会との連携）

市及び株式会社ながさき MICE と一体となり、MICE 開催地として長崎の魅力を高め、セールス情報を共有するとともに、長崎 MICE 誘致推進協議会、JNTO、JCCB と連携し、長崎市全体への誘致を促進する。

MICE 情報管理システムを活用して得られた長崎での開催可能性の高いターゲットをリストアップし、セールスを実施する。

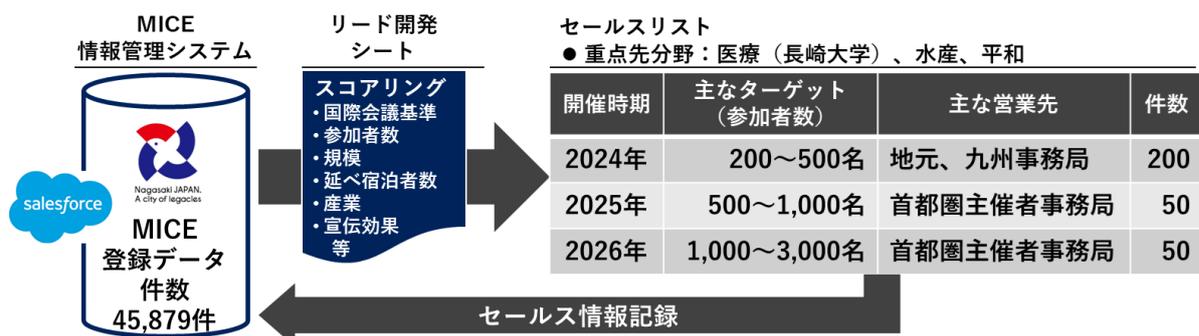
ア 商談会参加、首都圏セールス

イ キーパーソン受入

ウ JCCB※1、ICCA※2 年会費等

※1 JCCB・・・日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー

※2 ICCA・・・国際会議協会



③ 受入活動（「まち MICE」推進：長崎 MICE 事業者ネットワークとの連携）

これまで、市有施設のユニークベニューとしての活用促進や MICE 参加者向け体験コンテンツの造成に取り組んできた。今後は、MICE 主催者へ具体的に提案していくことで、まちなかに人を呼び込み、滞在時間と消費を拡大させることで、MICE 開催の効果をまち全体に波及させる。

また、地元事業者へ MICE 開催情報の提供を行う。



ア 主催者への提案セールス

- ・開催が予定・決定されている案件への提案セールス
- ・今後予定されている案件の誘致時に同時提案
- ・主催者へのユニークベニューやエクスカージョン提案
- ・play nagasaki の紹介（R4 年度内に完成）
- ・セールスツールの配布徹底
- ・公式観光サイトへの掲載依頼
- ・参加者への訴求による周遊促進、消費拡大
- ・大会・学会 HP に「まち MICE」を紹介したランディングページを掲載



(6) 修学旅行誘致・受入

① 誘致プロモーション【観光地域づくり事業】

新規校の獲得に加え、コロナ禍により、海外や沖縄から長崎に振り替えられた学校に、今後も継続して来ていただくことを重点項目として誘致を強化する。

また、長崎の一番の強みである平和学習の強化を主軸に、総合的な滞在プランの提案をするとともに、宿泊事業者や旅行会社とのヒアリング結果から、修学旅行リピート校においても、長崎の体験プログラムが十分に知られていないことが分かったため、情報の集約と発信に注力する。

ア メディア・視察の招聘

修学旅行専門誌や旅行会社などを招聘し、長崎の魅力を知っていただくことで、誘致につなげていく。

イ 修学旅行プランニングガイドの作成

ウ 事業者向け研修

修学旅行における現状と経済効果を地元事業者に知っていただく機会を提供し、ビジネスチャンスの創出とさらなる受入環境の構築につなげる。

エ セールス

② 受入活動

事前学習と事後学習の対応強化（オンライン形式含む）とともに、SDGs やアクティブラーニング、GIGA スクール構想など、学習指導要領の改訂やニーズに対応する学習プログラム・体験コンテンツの開発を行う。

ア 長崎修学旅行ガイドの運営【委託事業】

長崎を訪れる修学旅行の受入として、平和学習と歴史学習でガイドによる案内を実施する。

<ガイド研修>

- ・新規ガイドの育成
- ・全体研修の実施
- ・班別自主研修の実施
- ・歴史ガイドの新規研修の実施

イ 体験プログラムの開発・受入【販売事業】

- ・新学習指導要領に対応したアクティブラーニングを可能とした「長崎 SDGs 平和ワークショップ」の販売（目標人数：500名）
- ・修学旅行生（中学校・高校）向けのデジタルツール「長崎平和 AR アプリ」の販売（目標人数：100名）

ウ 長崎遊学券の販売促進【販売事業】

長崎市への修学旅行誘致及び滞在時間の延長を目的に平成 12 年度より販売している「長崎遊学券」は、長崎市内 8 ヶ所の主要観光施設の入場券と 20 ヶ所の人気観光施設の割引券がついた修学旅行生のためのお得で便利なガイドブック付き観光施設入場券として、利用者からも好評を得ている。

現地学習では料金のお得感に加えて、並ばずに入場できる利便性をアピールし、学校側が事前学習で活用することで業務軽減となることをアピールし、さらなる販売増を目指す。また、宿泊事業者と連携して、遊学券の販売を長崎市内の宿泊数の増加につなげる。

<販売目標内訳>

種類	販売額 (円)	販売目標数 (冊)
高校生	650	20,000
中学生	550	30,000
小学生	500	35,000
合計		85,000

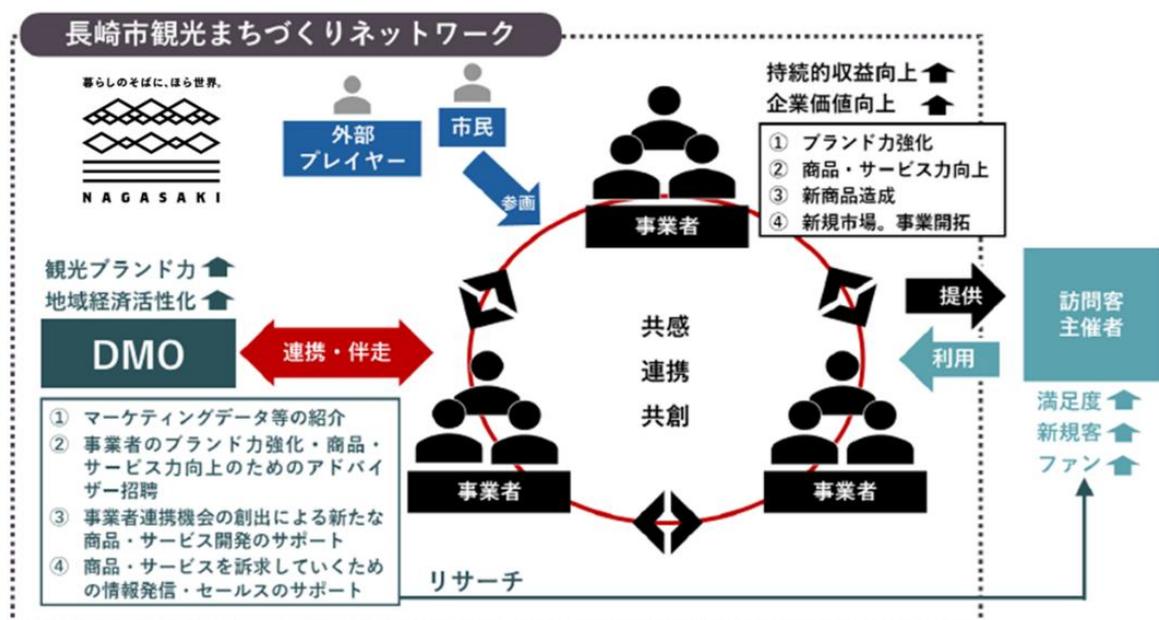
(7) 長崎市観光まちづくりネットワークの活性化

観光・MICE 産業を取り巻く多様な事業者が、長崎市観光・MICE 戦略が目指す観光まちづくりの方向性に共感し、能動的な相互連携や共創によって成長しつづけることを目的に、ネットワークを形成する。

DMO とメンバー、メンバー同士が連携し、商品やサービスの魅力向上や高付加価値化、ビジネスチャンスの創出などに持続的に取り組むことで、変化する市場ニーズに対応していく。

将来的に長崎 MICE 事業者ネットワークも発展的に解消し、本ネットワークに取り込むことで、観光・MICE 全般に対する組織とする。

① 取組み構想



② 令和5年度の取組み

- ア メンバーそれぞれのビジネスチャンスに繋がる情報発信
- イ セミナーの開催（年2回）
- ウ ネットワークメンバーの連携を深める意見交換会の実施

2 文化振興（郷土芸能・年中行事）

(1) 長崎ペーロンの振興（長崎市ペーロン協会、選手権大会実行委員会事務局）

昭和52年2月10日に設立された「長崎市ペーロン協会」の事務局を担当し、伝統ある長崎ペーロンの保存育成に努めるとともに、7月下旬に実施する「ながさきみなとまつり」の一環として「長崎ペーロン選手権大会」など関連諸行事を実施し、長崎市の重要な観光資源である長崎ペーロンの振興を図る。

(2) 長崎ハタ揚げの振興（長崎ハタ揚げ振興会事務局）

昭和57年3月18日に設立された「長崎ハタ揚げ振興会」の事務局を担当し、伝統ある長崎名物行事ハタ揚げの振興を図り、4月第1日曜日に長崎新聞社との共同主催により「長崎ハタ揚げ大会」の開催及び「ハタ揚げ」に関する情報発信を行い長崎ハタ揚げの振興を図る。

(3) 長崎龍踊りの振興（長崎観光龍踊り会事務局）

昭和54年2月13日に設立された「長崎観光龍踊り会」の事務局を担当し、内外訪問客の誘致宣伝並びに歓迎受入等、長崎市の代表的な郷土芸能「長崎龍踊り」をもって、長崎市の観光宣伝と振興に積極的に参加する。

(4) その他文化振興

長崎くんち、長崎ランタンフェスティバル、長崎検番など、各種文化の振興活動に参画するとともに、情報発信など振興に資する取組みを行う。

3 組織・財務基盤確立

(1) 収益事業の運営

① イベント等における商品販売事業の促進

ランタンフェスティバルや長崎くんちなどのイベント出店による会員事業者の商品の販売促進に努める。

② 浪漫ながさき旅情報による着地型旅行商品の販売

人気の軍艦島上陸クルーズや福江島への日帰りツアーなど既存ツアーの代理販売を中心にWEBサイトでの販売を継続する。

③ 旅行・運輸業者との連携

各事業者の長崎キャンペーン企画等に参画することで収益向上を図る。

(2) 長崎市等からの受託

長崎市等から以下の業務を受託する。

- ① 総合観光案内所業務
- ② 亀山社中記念館受付業務
- ③ 観光地域づくり推進業務
- ④ さるく情報発信等業務
- ⑤ 長崎修学旅行ガイド業務

(3) 観光関連事業者の人材育成・スキルアップへの取組み強化

- ① 接客サービス講習会等会員ニーズを踏まえた効果的な講習会、セミナーの実施
- ② 会員との協働による協会事業の推進強化

(4) 内部人材の育成（観光庁 世界水準の DMO 形成事業活用）

- ① 外部教育プログラムの活用（e-ラーニング：Globis 社等）
- ② スタッフの業務意欲向上に資する各種規定の改正等

(5) 財務体制の強化等

- ① スクラップアンドビルド方式による公益等事業のあり方の検討
- ② 新たな事業の検討及び実施
- ③ 業務改善等の取組み

(6) 市の外部機関による事業評価

令和5年度からの「長崎市 DMO 第1期中期目標」に基づく観光地域づくり推進事業（DMO 事業）については、長崎市観光・MICE 振興審議会での評価が行われることとなった。

本年度は、昨年度事業実施分の評価について試行的に行われることとなっており、長崎市と連携して審議会での対応を行う。

(7) 経営管理委員会の定期開催による事業進捗管理

理事で組織された専門委員会の一つである経営管理委員会が、事務局運営状況の定期的な報告を受けることにより、会員協働による事業推進を図る。

(8) 各種会議、運営及び調査

- ① 総会、理事会、監査会及び専門委員会の開催
- ② 観光・コンベンション諸会議、会合、諸行事への出席
- ③ 新入会員の拡大
- ④ 事務局体制の強化
- ⑤ 先進都市調査

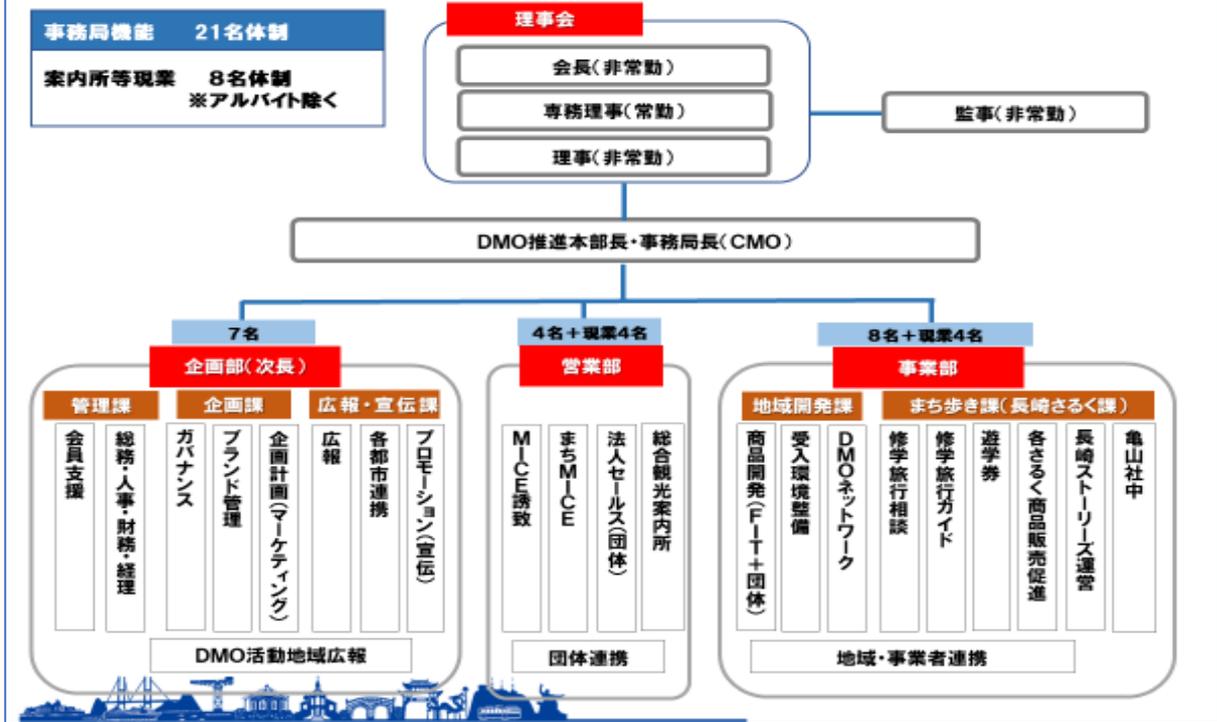
(9) 事務局組織の見直し

1 本部 3 部体制から、1 本部 4 部体制への見直しを行うとともに、次回理事会及び総会において、本部体制の廃止、理事会の執行体制の見直しを検討する。

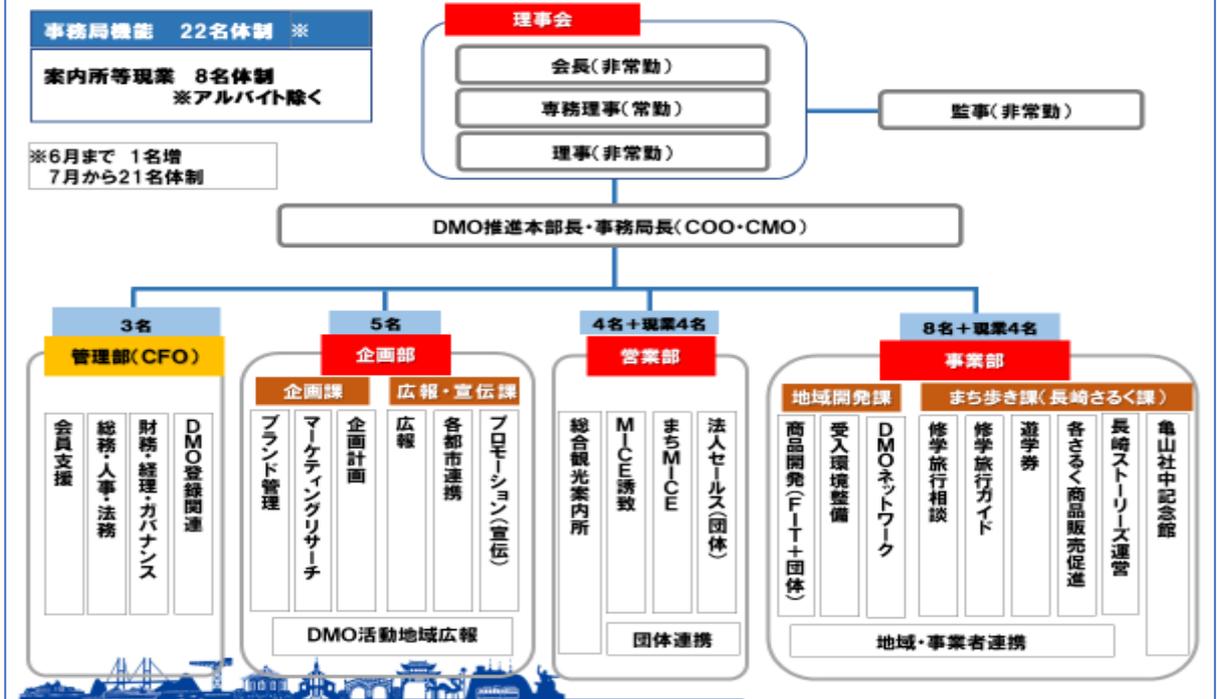
今後も必要な体制見直しを機動的に行う。

【事務局組織の見直し】

【現行】R4年度長崎市DMO（長崎国際観光コンベンション協会）組織図



【改正】R5年度長崎市DMO（長崎国際観光コンベンション協会）組織図（案）



参考資料

長崎市 DMO 第 1 期中期目標

長崎市観光・MICE 戦略の計画期間内に、市が DMO に求める成果・DMO が達成すべき目標を設定し、「選ばれる 21 世紀の交流都市」の実現に向けて、DMO が取り組む事項を長崎市が定めたものである。

「選ばれる 21 世紀の交流都市」の実現に向けて長崎市 DMO が取り組む事項

基本方針 A 資源磨きと魅力あるコンテンツの創造に関すること

- ストーリー性・テーマ性に富んだ魅力あるコンテンツへの磨き上げ

基本方針 B 安全安心・快適な滞在環境の整備に関すること

- 安全安心な滞在環境づくり
- 快適な滞在環境づくり

基本方針 C 戦略的な魅力発信と誘致活動の推進に関すること

- 市場分析等に基づく戦略的な誘客・MICE 誘致の展開
- 長崎ブランドの確立と効果的なプロモーションの推進
- DMO を中心としたワンストップ誘客・MICE 誘致

基本方針 D 観光・MICE 関連産業の活性化に関すること

- DMO を中心とした観光まちづくりの推進体制の充実
- 民間事業者の稼ぐ力の向上
- まち MICE プロジェクトの推進

令和5年度 正味財産増減予算書
令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

科 目	(公益事業)補助事業及び自主事業会計			(収益事業)さるく運営事業会計			(収益事業)受託事業会計			
	補助事業	自主事業	小計	修学旅行ガイド 受託事業	さるく情報発信等 受託事業	小計	総合観光案内所 受託事業	亀山社中記念館 受託事業	観光地域づくり 推進受託事業	小計
I 事業活動収支の部										
1. 経常収益										
受取会費										
事業収益										
受取手数料										
受取補助金等	27,800,000		27,800,000							
受託収益				24,317,776	11,276,544	35,594,320	25,402,623	13,350,321	293,925,985	332,678,929
受取国庫助成金										
受取負担金										
雑収益										
経常収益計	27,800,000		27,800,000	24,317,776	11,276,544	35,594,320	25,402,623	13,350,321	293,925,985	332,678,929
2. 経常費用										
事業費	27,800,000	4,680,000	32,480,000	26,477,732	10,251,404	36,729,136	23,093,294	17,288,350	255,423,133	295,804,777
給料手当				12,032,066	4,422,681	16,454,747	17,435,147	13,484,760	77,456,525	108,376,432
臨時雇賃金				434,000		434,000	165,400	159,850		325,250
福利厚生費				2,117,262	792,777	2,910,039	3,060,630	2,431,317	13,031,913	18,523,860
仕入費										
旅費交通費		300,000	300,000						12,492,000	12,492,000
通信運搬費				795,120	240,000	1,035,120			3,275,000	3,275,000
消耗什器備品費										
消耗品費				526,000	60,000	586,000		120,000		120,000
印刷製本費				122,400		122,400			18,180,000	18,180,000
会議費										
広告費				216,000		216,000			3,163,500	3,163,500
渉外費		500,000	500,000						28,000	28,000
光熱水料費										
賃借料				114,800	40,000	154,800				
施設使用料										
保険料				829,500		829,500				
諸謝金				7,703,000		7,703,000				
支払負担金		1,130,000	1,130,000						1,400,000	1,400,000
支払手数料									110,000	110,000
図書研修費				200,000		200,000			340,000	340,000
商品開発費										
委託費					3,764,000	3,764,000			110,333,800	110,333,800
事務費				1,387,584	931,946	2,319,530	2,066,117	1,092,423	15,612,395	18,770,935
被服費							366,000			366,000
雑費										
観光行事費		2,350,000	2,350,000							
受入対策費		400,000	400,000							
コンベンション開催補助費	27,800,000		27,800,000							
事業費	27,800,000	4,680,000	32,480,000	26,477,732	10,251,404	36,729,136	23,093,294	17,288,350	255,423,133	295,804,777
管理費										
給料手当										
退職給付費用										
福利厚生費										
減価償却費										
修繕費										
光熱水料費										
賃借料										
保険料										
租税公課										
図書研修費										
委託費										
事務費										
雑費										
管理費										
経常費用計	27,800,000	4,680,000	32,480,000	26,477,732	10,251,404	36,729,136	23,093,294	17,288,350	255,423,133	295,804,777
当期経常増減額		△4,680,000	△4,680,000	△2,159,956	1,025,140	△1,134,816	2,309,329	△3,938,029	38,502,852	36,874,152
II 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
経常外収益計										
(2) 経常外費用										
経常外費用計										
当期経常外増減額										
他会計振替額										
税引前当期一般正味財産増減額		△4,680,000	△4,680,000	△2,159,956	1,025,140	△1,134,816	2,309,329	△3,938,029	38,502,852	36,874,152
法人税・住民税及び事業税										
当期一般正味財産増減額		△4,680,000	△4,680,000	△2,159,956	1,025,140	△1,134,816	2,309,329	△3,938,029	38,502,852	36,874,152
一般正味財産期首残高										
一般正味財産期末残高		△4,680,000	△4,680,000	△2,159,956	1,025,140	△1,134,816	2,309,329	△3,938,029	38,502,852	36,874,152
III 指定正味財産増減の部										
当期指定正味財産増減額										
指定正味財産期首残高										
指定正味財産期末残高										
正味財産期末残高		△4,680,000	△4,680,000	△2,159,956	1,025,140	△1,134,816	2,309,329	△3,938,029	38,502,852	36,874,152

令和5年度 正味財産増減予算書
令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

科 目	(収益事業)販売事業会計					(公益・収益事業)法人会計			合計
	物品等販売事業	企画商品事業	手数料事業	共通	小計	公益事業	収益事業	小計	
I 事業活動収支の部									
1. 経常収益									
受取会費						14,430,000		14,430,000	14,430,000
事業収益	15,885,000	86,610,000			102,495,000				102,495,000
受取手数料			4,028,000		4,028,000				4,028,000
受取補助金等									27,800,000
受託収益									368,273,249
受取国庫助成金									
受取負担金	264,000				264,000				264,000
雑収益				101,000	101,000	301,751		301,751	402,751
経常収益計	16,149,000	86,610,000	4,028,000	101,000	106,888,000	14,731,751		14,731,751	517,693,000
2. 経常費用									
事業費	18,470,560	75,382,223		1,350,000	95,202,783	5,500,000		5,500,000	465,716,696
給料手当	2,948,454	2,997,073			5,945,527				130,776,706
臨時雇賃金	832,500				832,500				1,591,750
福利厚生費	535,889	505,150			1,041,039				22,474,938
仕入費	3,655,450				3,655,450				3,655,450
旅費交通費		200,000		100,000	300,000				13,092,000
通信運搬費	50,000	150,000			200,000				4,510,120
消耗什器備品費									
消耗品費									706,000
印刷製本費	100,000	9,174,500			9,274,500				27,576,900
会議費						1,300,000		1,300,000	1,300,000
広告費	1,120,900			100,000	1,220,900				4,600,400
渉外費				100,000	100,000				628,000
光熱水料費									
賃借料	200,000				200,000				354,800
施設使用料	838,000	55,694,500			56,532,500				56,532,500
保険料	103,867				103,867				933,367
諸謝金	2,565,000				2,565,000				10,268,000
支払負担金	393,000			1,000,000	1,393,000	600,000		600,000	4,523,000
支払手数料	408,000	6,461,000			6,869,000				6,979,000
図書研修費									540,000
商品開発費				50,000	50,000				50,000
委託費	4,199,500				4,199,500				118,297,300
事務費	100,000	100,000			200,000	3,500,000		3,500,000	24,790,465
被服費									366,000
雑費	420,000	100,000			520,000	100,000		100,000	620,000
観光行事費									2,350,000
受入対策費									400,000
コンベンション開催補助費									27,800,000
事業費	18,470,560	75,382,223		1,350,000	95,202,783	5,500,000		5,500,000	465,716,696
管理費						15,876,867	33,537,437	49,414,304	49,414,304
給料手当						8,423,995	9,341,698	17,765,693	17,765,693
退職給付費用							3,460,089	3,460,089	3,460,089
福利厚生費						1,747,770	1,606,026	3,353,796	3,353,796
減価償却費						5,000	300,000	305,000	305,000
修繕費									
光熱水料費						1,000,000		1,000,000	1,000,000
賃借料						3,000,000		3,000,000	3,000,000
保険料									
租税公課							18,328,624	18,328,624	18,328,624
図書研修費									
委託費						1,000,000		1,000,000	1,000,000
事務費						500,000	500,000	1,000,000	1,000,000
雑費						200,102	1,000	201,102	201,102
管理費						15,876,867	33,537,437	49,414,304	49,414,304
経常費用計	18,470,560	75,382,223		1,350,000	95,202,783	21,376,867	33,537,437	54,914,304	515,131,000
当期経常増減額	△2,321,560	11,227,777	4,028,000	△1,249,000	11,685,217	△6,645,116	△33,537,437	△40,182,553	2,562,000
II 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
経常外収益計									
(2) 経常外費用									
経常外費用計									
当期経常外増減額									
他会計振替額									
税引前当期一般正味財産増減額	△2,321,560	11,227,777	4,028,000	△1,249,000	11,685,217	△6,645,116	△33,537,437	△40,182,553	2,562,000
法人税・住民税及び事業税							5,000,000	5,000,000	5,000,000
当期一般正味財産増減額	△2,321,560	11,227,777	4,028,000	△1,249,000	11,685,217	△6,645,116	△38,537,437	△45,182,553	△2,438,000
一般正味財産期首残高									
一般正味財産期末残高	△2,321,560	11,227,777	4,028,000	△1,249,000	11,685,217	△6,645,116	△38,537,437	△45,182,553	△2,438,000
III 指定正味財産増減の部									
当期指定正味財産増減額									
指定正味財産期首残高									
指定正味財産期末残高									
正味財産期末残高	△2,321,560	11,227,777	4,028,000	△1,249,000	11,685,217	△6,645,116	△38,537,437	△45,182,553	△2,438,000

附属資料

令和5年度 収支予算書 令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

収入の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	比較増△減
(公益事業) 補助事業及び自主事業会計 (コンベンション開催補助金、キャンペーン・イベント負担金等)	27,800,000	22,000,000	5,800,000
(収益事業) さるく運営事業会計 (修学旅行ガイド・さるく情報発信等受託)	35,594,320	33,757,088	1,837,232
(収益事業) 受託事業会計 (施設受託、観光地域づくり受託)	332,678,929	333,236,430	△557,501
(収益事業) 販売事業会計	106,888,000	60,661,800	46,226,200
法人会計	14,731,751	14,731,682	69
(公益事業) 法人会計	14,731,751	14,731,682	69
(収益事業) 法人会計	0	0	0
当期収入合計	517,693,000	464,387,000	53,306,000
(公益事業) 収入合計	42,531,751	36,731,682	5,800,069
(収益事業) 収入合計	475,161,249	427,655,318	47,505,931

支出の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	比較増△減
(公益事業) 補助事業及び自主事業会計 (コンベンション開催補助金、キャンペーン・イベント負担金等)	32,480,000	26,680,000	5,800,000
(収益事業) さるく運営事業会計 (修学旅行ガイド・さるく情報発信等受託)	36,729,136	33,950,638	2,778,498
(収益事業) 受託事業会計 (施設受託、観光地域づくり受託)	295,804,777	298,220,921	△2,416,144
(収益事業) 販売事業会計	95,202,783	51,783,862	43,418,921
法人会計	59,914,304	67,614,579	△7,700,275
(公益事業) 法人会計	21,376,867	15,663,573	5,713,294
(収益事業) 法人会計 ※法人税・住民税及び事業税含む額	38,537,437	51,951,006	△13,413,569
当期支出合計	520,131,000	478,250,000	41,881,000
当期収支差額	△2,438,000	△13,863,000	11,425,000
(公益事業) 支出合計	53,856,867	42,343,573	11,513,294
(収益事業) 支出合計	466,274,133	435,906,427	30,367,706

経常増減額 (収入-支出)

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	比較増△減
(公益事業) 補助事業及び自主事業会計 (コンベンション開催補助金、キャンペーン・イベント負担金等)	△4,680,000	△4,680,000	0
(収益事業) さるく運営事業会計 (修学旅行ガイド・さるく情報発信等受託)	△1,134,816	△193,550	△941,266
(収益事業) 受託事業会計 (施設受託、観光地域づくり受託)	36,874,152	35,015,509	1,858,643
(収益事業) 販売事業会計	11,685,217	8,877,938	2,807,279
法人会計	△45,182,553	△52,882,897	7,700,344
(公益事業) 法人会計	△6,645,116	△931,891	△5,713,225
(収益事業) 法人会計	△38,537,437	△51,951,006	13,413,569
当期収支差額	△2,438,000	△13,863,000	11,425,000
(公益事業) 当期収支差額合計	△11,325,116	△5,611,891	△5,713,225
(収益事業) 当期収支差額合計	8,887,116	△8,251,109	17,138,225

(公益事業) 補助事業及び自主事業会計 (コンベンション開催補助金、キャンペーン・イベント負担金等)

収入の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	比較増△減	説 明
1. コンベンション開催補助金	27,800,000	22,000,000	5,800,000	長崎市 19,800,000 長崎県 8,000,000
当期収入合計	27,800,000	22,000,000	5,800,000	

支出の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	比較増△減	説 明
1. 自主事業費	4,680,000	4,680,000	0	
(1) 旅費交通費	300,000	300,000	0	諸会議、研究会等出席旅費
(2) 渉 外 費	500,000	500,000	0	他都市関係者受入費
(3) 支払負担金	1,130,000	1,130,000	0	国内観光客誘致対策事業費 1,000,000 県キャンペーン対策費 130,000
(4) 観光行事費	2,350,000	2,350,000	0	長崎伝統芸能振興助成金 1,000,000 ながさきみなとまつり助成金 800,000 国内ペーロン大会派遣負担金 350,000 長崎帆船まつり負担金 200,000
(5) 受入対策費	400,000	400,000	0	クルーズ船受入費、サービス講習会
2. 補助事業費	27,800,000	22,000,000	5,800,000	
(1) コンベンション開催補助費	27,800,000	22,000,000	5,800,000	
当期支出合計	32,480,000	26,680,000	5,800,000	
当期収支差額	△4,680,000	△4,680,000	0	協会自主財源負担額 4,680,000

(収益事業) さるく運営事業会計 (修学旅行ガイド・さるく情報発信等受託)

収入の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	比較増△減	説 明
1. 受 託 収 益	35,594,320	33,757,088	1,837,232	
(1) 修学旅行ガイド受託収益	24,317,776	23,754,855	562,921	ガイド謝礼金支払業務受託含む 長崎市受託料 (内消費税分 1,526,343円)
(2) さるく情報発信等受託収益	11,276,544	10,002,233	1,274,311	長崎市受託料 (内消費税分 1,025,150円)
当期収入合計	35,594,320	33,757,088	1,837,232	

支出の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	比較増△減	説 明
1. 修学旅行ガイド運営事業費	26,477,732	24,857,698	1,620,034	
(1) 通信運搬費	795,120	866,220	△71,100	専用電話使用料 428,400 ガイドステーション電話等使用料 42,360 郵送料等 324,360
(2) 消耗品費	526,000	273,000	253,000	ユニホーム 250,000 コピー用紙等事務用品 276,000
(3) 印刷製本費	122,400	63,000	59,400	ガイド用等封筒作成 36,000 ガイド募集チラシ印刷 56,000 ガイドマニュアル印刷 30,400
(4) 広告費	216,000	0	216,000	新規ガイド募集広告
(5) 賃借料	114,800	198,800	△84,000	全体会議等会場借上料 38,000 事務連絡等移動経費 76,800
(6) 保険料	829,500	138,808	690,692	登録ガイド活動保険 59,500 参加者傷害保険 770,000
(7) 諸謝金	7,703,000	7,703,000	0	研修謝礼 175,000 ガイド謝礼 (ガイド謝礼金支払業務受託) 7,528,000
(8) 図書研修費	200,000	200,000	0	班別研修経費
(9) 事務費	1,387,584	1,341,062	46,522	一般管理費
(10) 雑費	0	0	0	
(11) 人件費	7,185,384	7,127,298	58,086	職員1名
①給料	3,748,800	3,748,800	0	
②諸手当	2,386,358	2,350,962	35,396	
③保険料	1,025,226	1,002,536	22,690	
④厚生費	25,000	25,000	0	
(12) 契約職員人件費	6,953,944	6,414,910	539,034	契約職員2名
①給料	4,244,424	2,122,212	2,122,212	
②諸手当	1,652,484	826,242	826,242	
③嘱託費	0	2,526,754	△2,526,754	
④保険料	1,007,036	889,702	117,334	
⑤厚生費	50,000	50,000	0	
(13) ステーション人件費	444,000	531,600	△87,600	アルバイト
①賃金	434,000	521,600	△87,600	
②保険料	10,000	10,000	0	
2. さるく情報発信等事業費	10,251,404	9,092,940	1,158,464	
(1) 通信運搬費	240,000	240,000	0	専用電話使用料
(2) 消耗品費	60,000	0	60,000	コピー代

科 目	予 算 額	前年度予算額	比較増△減	説 明
(3)賃 借 料	40,000	100,000	△60,000	会場借上料
(4)委 託 費	3,764,000	2,712,000	1,052,000	ホームページ保守管理 272,000 ホームページ改修 1,328,000 ガイド研修 426,000 予約システム管理 792,000 情報発信費 946,000
(5)事 務 費	931,946	826,631	105,315	一般管理費
(6)雑 費	0	0	0	
(7)契約職員人件費	5,215,458	5,214,309	1,149	契約職員2名（1名は半年分）
①給 料	3,183,318	3,183,318	0	
②諸 手 当	1,239,363	1,239,363	0	
③保 険 料	755,277	754,128	1,149	
④厚 生 費	37,500	37,500	0	
当期支出合計	36,729,136	33,950,638	2,778,498	
当期収支差額	△1,134,816	△193,550	△941,266	法人会計分（租税公課、退職積立引当金） 3,466,669

(収益事業) 受託事業会計 (施設受託、観光地域づくり受託)

収入の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	比較増△減	説 明
1. 受 託 収 益	332,678,929	333,236,430	△557,501	
(1) 総合観光案内所受託収益	25,402,623	20,787,390	4,615,233	
①長崎市観光案内	25,402,623	17,299,551	8,103,072	長崎市受託料 (内消費税分 2,309,329円)
②タクシー観光案内	0	3,487,839	△3,487,839	
(2) 亀山社中記念館受託収益	13,350,321	10,438,040	2,912,281	長崎市受託料 (内消費税分 1,213,665円)
(3) 観光地域づくり推進受託収益	293,925,985	302,011,000	△8,085,015	長崎市受託料 (内消費税分 26,720,543円)
当期収入合計	332,678,929	333,236,430	△557,501	

支出の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	比較増△減	説 明
1. 観光案内所受託事業費	23,093,294	15,726,865	7,366,429	
(1) 人 件 費	5,018,174	3,990,545	1,027,629	職員1名
①給 料	3,152,400	2,200,800	951,600	
②諸 手 当	1,137,797	1,147,362	△9,565	
③保 険 料	702,977	627,783	75,194	
④厚 生 費	25,000	14,600	10,400	
(2) 契約職員人件費	15,643,003	10,851,848	4,791,155	契約5名、アルバイト
①給 料	12,300,000	8,678,616	3,621,384	
②諸 手 当	844,950	0	844,950	
③臨時雇賃金	165,400	437,000	△271,600	
④保 険 料	2,207,653	1,654,992	552,661	
⑤厚 生 費	125,000	81,240	43,760	
(3) 事 務 費	2,066,117	445,272	1,620,845	一般管理費
(4) 被 服 費	366,000	439,200	△73,200	
2. タクシー観光案内受託事業費	0	3,170,764	△3,170,764	
(1) 契約職員人件費	0	3,170,764	△3,170,764	
①給 料	0	2,692,626	△2,692,626	
②保 険 料	0	453,138	△453,138	
③厚 生 費	0	25,000	△25,000	
3. 亀山社中記念館受託事業費	17,288,350	13,199,235	4,089,115	
(1) 人 件 費	6,116,871	5,943,845	173,026	職員1名
①給 料	3,438,300	3,392,700	45,600	
②諸 手 当	1,704,792	1,680,101	24,691	
③保 険 料	948,779	846,044	102,735	
④厚 生 費	25,000	25,000	0	
(2) 契約職員人件費	9,959,056	6,862,503	3,096,553	契約3名、アルバイト
①給 料	7,306,824	5,679,990	1,626,834	

科 目	予 算 額	前年度予算額	比較増△減	説 明
②諸 手 当	1,034,844	0	1,034,844	
③臨時雇賃金	159,850	159,850	0	
④保 険 料	1,382,538	947,663	434,875	
⑤厚 生 費	75,000	75,000	0	
(3)消 耗 品 費	120,000	120,000	0	
(4)事 務 費	1,092,423	272,887	819,536	一般管理費
4. 観光地域づくり推進受託事業費	255,423,133	266,124,057	△10,700,924	一般管理費調整前 265,602,142円
(1)ブランディング事業費	14,663,500	0	14,663,500	
①旅費交通費	1,000,000	0	1,000,000	事業関連活動
②広 告 費	3,163,500	0	3,163,500	市内交通機関とのタイアップ (ラッピングバス) 1,200,000 JR長崎駅コンコースサイネージ掲示 1,963,500
③委 託 費	10,500,000	0	10,500,000	全国交通機関とのタイアップ 3,000,000 ブランドコミュニケーション記事制作 3,000,000 「長崎のふつうは世間のふしぎ展」市内開催 1,500,000 ブランド訴求グッズ制作 2,000,000 アクションプラン策定 1,000,000
(2)マーケティング事業費	23,030,000	18,415,000	4,615,000	
①委 託 費	23,030,000	18,415,000	4,615,000	包括的マーケティングリサーチ (tableau含む) 15,200,000 イベント関連集客数調査・分析、経済効果調査 3,500,000 交通量・発地調査 (秋期・春期) 330,000 長崎市観光まちづくりネットワーク (仮称) 活性化 4,000,000
(3)国内事業費	84,223,000	149,443,000	△65,220,000	
①旅費交通費	3,500,000	1,500,000	2,000,000	事業関連活動 (プロモーション用) 2,000,000 セールス活動 1,500,000
②通信運搬費	2,675,000	2,240,000	435,000	パンフレット管理 600,000 パンフレット配送 2,075,000
③印刷製本費	16,000,000	10,302,000	5,698,000	着地型観光MAP制作 3,000,000 着地型観光MAP印刷 12,000,000 観光ポスター印刷 500,000 セールス用リーフレット制作 500,000
④賃 借 料	0	300,000	△300,000	
⑤委 託 費	62,048,000	135,101,000	△73,053,000	サステナブルツーリズム推進 6,600,000 WEB広告 20,000,000 シーズンプロモーション 15,000,000 観光DXサイト運用・保守管理 6,108,000 観光DXサイト運用レポート報告 550,000 消費拡大のための受入強化施策 3,000,000 エリアゲート運用 308,000 play nagasaki (システム連携) 1,870,000 play nagasaki (保守) 2,612,000 play nagasaki (情報発信施策) 3,000,000 グルメサイト運用保守・管理 600,000 グルメサイト情報発信施策 2,400,000
(4)インバウンド事業費	13,330,800	2,168,000	11,162,800	
①旅費交通費	2,000,000	0	2,000,000	セールス活動 1,000,000 事業関連活動 1,000,000
②通信運搬費	300,000	200,000	100,000	海外発送
③委 託 費	11,030,800	1,968,000	9,062,800	多言語WEBサイト運用・保守管理 3,000,000 台湾向けプロモーション 2,200,000 欧米豪プロモーション 2,200,000 翻訳 2,500,000 EAT nagasaki運用・保守管理 1,130,800
(5)MICE事業費	10,067,000	6,475,000	3,592,000	
①旅費交通費	3,532,000	2,346,000	1,186,000	JCCB総会 106,000 MEET JAPANキーパーソン受入 300,000 セールス活動 1,100,000 JCCBビューロー部会 104,000 JNTOセミナー 100,000

科 目	予 算 額	前年度予算額	比較増△減	説 明
				IME 53,000 MEET JAPAN 153,000 FAMトリップ 570,000 海外商談会 746,000 事業関連活動 300,000
②通信運搬費	0	200,000	△200,000	
③印刷製本費	2,000,000	630,000	1,370,000	セールスカatalog・パンフレット
④支払負担金	1,320,000	1,589,000	△269,000	JCCB会費 80,000 ICCA会費 520,000 JCCBビューロー部会参加料 12,000 JNTOセミナー参加料 20,000 IME出展料 308,000 MEET JAPAN出展料 80,000 海外商談会出展料 300,000
⑤支払手数料	110,000	110,000	0	JCCBデータベース購入
⑥委 託 費	3,105,000	1,600,000	1,505,000	MICEホームページ(英語版)運用・保守管理 154,000 MICE情報管理システム 1,151,000 参加者市内回遊促進施策 1,800,000
(6) 修学旅行事業費	4,008,000	5,996,000	△1,988,000	
①旅費交通費	2,460,000	900,000	1,560,000	セールス活動 350,000 修学旅行メディアの招聘 150,000 修学旅行視察の招聘 1,000,000 事業関連活動 960,000
②通信運搬費	300,000	0	300,000	資料送付
③印刷製本費	180,000	3,570,000	△3,390,000	修学旅行ナビ本(冊子印刷)
④渉 外 費	28,000	0	28,000	宿泊施設協議会会議
⑤支払負担金	80,000	0	80,000	修学旅行関連団体会費
⑥図書研修費	340,000	0	340,000	事業者向け研修
⑦委 託 費	620,000	1,526,000	△906,000	修学旅行一元サイトの保守管理 200,000 修学旅行ナビ本(ダイジェスト版データ制作) 420,000
(7) 人 件 費	87,004,095	67,112,650	19,891,445	職員11名
①給 料	47,284,000	33,483,900	13,800,100	
②諸 手 当	27,224,071	23,868,023	3,356,048	
③保 険 料	12,221,024	9,535,727	2,685,297	
④厚 生 費	275,000	225,000	50,000	
(8) 契約職員人件費	3,484,343	3,500,000	△15,657	契約1名
①給 料	2,122,212	1,737,500	384,712	
②諸 手 当	826,242	1,216,250	△390,008	
③保 険 料	510,889	521,250	△10,361	
④厚 生 費	25,000	25,000	0	
(9) 事 務 費	15,612,395	12,914,407	2,697,988	一般管理費
(10) 雑 費	0	100,000	△100,000	
当期支出合計	295,804,777	298,220,921	△2,416,144	
当期収支差額	36,874,152	35,015,509	1,858,643	法人会計分(租税公課、退職積立引当金) 32,272,667

受託事業(合算)当期収入合計	368,273,249	366,993,518	1,279,731	
受託事業(合算)当期支出合計	332,533,913	332,171,559	362,354	
受託事業(合算)当期収支差額	35,739,336	34,821,959	917,377	法人会計分(さるく運営事業租税公課、退職積立引当金) 3,466,669 法人会計分(受託事業租税公課、退職積立引当金) 32,272,667 合計 35,739,336

(収益事業) 販売事業会計

収入の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	比較増△減	説 明
1. 物品等販売事業収益	15,885,000	12,137,800	3,747,200	
(1) 印刷物事業収益	20,000	55,000	△35,000	名刺販売のみ
(2) 通信販売事業収益	0	1,500,000	△1,500,000	ハンドクリーム販売期限終了
(3) イベント販売事業収益	3,930,000	4,781,000	△851,000	令和元年度ランタンフェスティバル決算額の50%を見込む(くち出店せず)
(4) 長崎ストーリーズ事業収益	6,400,000	3,004,800	3,395,200	2,000円×3,200名
(5) SDGs平和ワークショップ事業収益	1,000,000	500,000	500,000	5校×100名
(6) 平和ARアプリ事業収益	30,000	900,000	△870,000	100名
(7) 旅行商品事業収益	500,000	500,000	0	朝たびプラン含む
(8) 亀山社中物販事業収益	897,000	897,000	0	令和元年度決算額の60%を見込む
(9) 手ぶら観光事業収益	3,108,000	0	3,108,000	一般取扱1,110個、旅行会社取扱1,665個
2. 企画商品事業収益	86,610,000	45,500,000	41,110,000	
(1) 遊学券	49,250,000	42,500,000	6,750,000	高校35,000冊、中学30,000冊、小学20,000冊
(2) シュガーロードPASS	0	3,000,000	△3,000,000	
(3) 周遊パスポート	37,360,000	0	37,360,000	日本語版:ペーシック4,800冊、カルチャー4,000冊、夜景8,000冊 英語版:ペーシック1,500冊、カルチャー1,500冊、夜景2,000冊
3. 手数料事業収益	4,028,000	2,923,000	1,105,000	
(1) 受託販売手数料	2,638,000	1,570,000	1,068,000	令和元年度決算額の70%を見込む
(2) 旅行商品手配手数料	1,300,000	1,300,000	0	池島等手配
(3) 宿泊施設負担金収益	90,000	53,000	37,000	令和元年度決算額の70%を見込む
4. 受取負担金	264,000	0	264,000	手ぶら観光事業参画22宿泊施設
5. 雑収益	101,000	101,000	0	
(1) 受取利息	1,000	1,000	0	
(2) 雑収益	100,000	100,000	0	
当期収入合計	106,888,000	60,661,800	46,226,200	

支出の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	比較増△減	説 明
1. 事業費	95,202,783	51,783,862	43,418,921	
(1) 通信販売費	0	1,310,000	△1,310,000	事業終了
① 仕入費	0	960,000	△960,000	
② 広告費	0	100,000	△100,000	
③ 賃借料	0	150,000	△150,000	
④ 雑費	0	100,000	△100,000	
(2) イベント販売費	4,515,400	4,016,580	498,820	
① 仕入費	2,672,400	3,251,080	△578,680	売上金×68%
② 賃借料	150,000	150,000	0	倉庫料等
③ 支払負担金	393,000	315,500	77,500	長崎ランタンフェスティバル実行委員会
④ 委託費	1,000,000	0	1,000,000	販売員派遣委託等

科 目	予 算 額	前年度予算額	比較増△減	説 明
⑤事 務 費	100,000	100,000	0	
⑥雑 費	200,000	200,000	0	
(3) イベント販売人件費	0	800,000	△800,000	
①臨時雇賃金	0	800,000	△800,000	
(4) 印刷物販売経費	0	0	0	
①印刷製本費	0	0	0	
②雑 費	0	0	0	
(5) 長崎ストーリーズ事業費	4,694,767	3,557,684	1,137,083	
①広 告 費	1,120,900	1,300,000	△179,100	雑誌掲載等
②施設使用料	688,000	406,500	281,500	施設入場料
③保 険 料	93,867	46,934	46,933	ガイドボランティア保険、参加者傷害保険
④諸 謝 金	2,400,000	1,200,000	1,200,000	ガイド料
⑤支払手数料	220,000	324,250	△104,250	旅行会社手数料
⑥委 託 費	132,000	240,000	△108,000	ホームページ保守
⑦雑 費	40,000	40,000	0	
(6) 長崎ストーリーズ人件費	3,484,343	3,476,206	8,137	契約1名
①給 料	2,122,212	2,122,212	0	
②諸 手 当	826,242	826,242	0	
③保 険 料	510,889	502,752	8,137	
④厚 生 費	25,000	25,000	0	
(7) SDGs平和ワークショップ事業費	505,000	483,250	21,750	
①賃 借 料	50,000	0	50,000	ミーティング・研修会場借上料
②施設使用料	150,000	215,250	△65,250	施設入場料
③諸 謝 金	165,000	90,000	75,000	ガイド料
④支払手数料	100,000	138,000	△38,000	旅行会社手数料
⑤雑 費	40,000	40,000	0	
(8) 平和ARアプリ事業費	98,000	564,137	△466,137	
①支払手数料	63,000	169,843	△106,843	旅行会社・JASRAC手数料
②委 託 費	15,000	354,294	△339,294	アプリ利用委託
③雑 費	20,000	40,000	△20,000	
(9) 手ぶら観光事業費	3,202,500	0	3,202,500	
①印刷製本費	100,000	0	100,000	チラシ
②委 託 費	3,052,500	0	3,052,500	荷物配送料
③雑 費	50,000	0	50,000	
(10) 手ぶら観光人件費	832,500	0	832,500	アルバイト
①臨時雇賃金	832,500	0	832,500	
(11) 游学券事業費	34,560,000	29,563,000	4,997,000	
①旅費交通費	200,000	0	200,000	営業旅費等
②通信運搬費	150,000	1,000,000	△850,000	見本発送等

科 目	予 算 額	前年度予算額	比較増△減	説 明
③印刷製本費	6,884,500	5,700,000	1,184,500	遊学券110,000冊（見本含む）、チラシ
④施設使用料	22,162,500	18,275,000	3,887,500	8施設入場使用料 売上金×45%
⑤支払手数料	5,013,000	4,338,000	675,000	売上金×10%、クーポン契約料
⑥事 務 費	100,000	200,000	△100,000	
⑦雑 費	50,000	50,000	0	
(12)シュガーロードPASS事業費	0	2,613,840	△2,613,840	
①通信運搬費	0	30,240	△30,240	
②支払手数料	0	150,000	△150,000	
③委 託 費	0	2,400,000	△2,400,000	
④雑 費	0	33,600	△33,600	
(13)周遊パスポート事業費	37,320,000	0	37,320,000	
①印刷製本費	2,290,000	0	2,290,000	パスポート、チラシ印刷
②施設使用料	33,532,000	0	33,532,000	施設入場料
③支払手数料	1,448,000	0	1,448,000	旅行会社手数料
④雑 費	50,000	0	50,000	
(14)企画商品人件費	3,502,223	2,955,965	546,258	職員1名（6ヶ月分）
①給 料	1,886,400	1,572,000	314,400	
②諸 手 当	1,110,673	1,038,362	72,311	
③保 険 料	492,650	335,203	157,447	
④厚 生 費	12,500	10,400	2,100	
(15)旅行商品販売費	505,000	505,000	0	
①仕 入 費	400,000	400,000	0	参画施設使用料等
②通信運搬費	50,000	50,000	0	送料
③保 険 料	10,000	10,000	0	旅行特別補償・旅行業者賠償責任保険
④支払手数料	25,000	25,000	0	カード手数料等
⑤雑 費	20,000	20,000	0	
(16)亀山社中物販費	633,050	588,200	44,850	
①仕 入 費	583,050	538,200	44,850	売上×65%
②雑 費	50,000	50,000	0	
(17)旅費交通費	100,000	100,000	0	会議及び視察研修派遣費、市内交通費
(18)広 告 費	100,000	100,000	0	旅行雑誌広告等
(19)渉 外 費	100,000	100,000	0	取材班及び調査研究、他都市関係者受入
(20)支払負担金	1,000,000	1,000,000	0	長崎ランタンフェスティバル協賛金
(21)商品開発費	50,000	50,000	0	商品開発等
当期支出合計	95,202,783	51,783,862	43,418,921	
当期収支差額	11,685,217	8,877,938	2,807,279	

当期部門別収支比較

印刷物	収入	売上金	20,000
	支出	事業費	0
	収支差額		20,000

通信販売	収入	売上金	0
	支出	事業費	0
	収支差額		0

イベント販売	収入	売上金	3,930,000
	支出	事業費	4,515,400
		人件費	0
		小計	4,515,400
		収支差額	

長崎ストーリーズ	収入	売上金	6,400,000
	支出	事業費	4,694,767
		人件費	3,484,343
		小計	8,179,110
		収支差額	

SDGs平和ワーク ショップ	収入	売上金	1,000,000
	支出	事業費	505,000
	収支差額		495,000

平和ARアプリ	収入	売上金	30,000
	支出	事業費	98,000
	収支差額		△ 68,000

旅行商品 (旅行商品手配手数料含む)	収入	売上金	500,000
		手数料	1,300,000
		小計	1,800,000
	支出	事業費	505,000
		小計	505,000
	収支差額		1,295,000

亀山社中物販	収入	売上金	897,000
	支出	事業費	633,050
	収支差額		263,950

手ぶら観光	収入	売上金	3,108,000
		負担金	264,000
		小計	3,372,000
	支出	事業費	3,202,500
		人件費	832,500
		小計	4,035,000
収支差額		△ 663,000	

遊学券	収入	売上金	49,250,000
	支出	事業費	34,560,000
		人件費	3,502,223
		小計	38,062,223
		収支差額	

周遊パスポート	収入	売上金	37,360,000
	支出	事業費	37,320,000
	収支差額		40,000

手数料 (旅行商品手配手数料除く)	収入	手数料	2,728,000
	支出	—	0
	収支差額		2,728,000

雑収益	収入	雑収入	101,000
	支出	—	0
	収支差額		101,000

共通	収入	—	0
	支出	事業費	1,350,000
	収支差額		△ 1,350,000

当期収支差額		11,685,217
--------	--	------------

(公益事業) 法人会計

収入の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	比較増△減	説 明
1. 受 取 会 費	14,430,000	14,430,000	0	長崎商工会議所 一般会員 2,000,000 12,430,000
2. 雑 収 益	301,751	301,682	69	
(1) 受 取 利 息	1,000	1,000	0	
(2) 雑 収 益	300,751	300,682	69	総会懇親会費等
当期収入合計	14,731,751	14,731,682	69	

支出の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	比較増△減	説 明
1. 事 業 費	5,500,000	5,550,000	△50,000	
(1) 会 議 費	1,300,000	1,300,000	0	総会、理事会、委員会、監査会等
(2) 支払負担金	600,000	650,000	△50,000	
① 観光団体負担金	600,000	600,000	0	加盟機関団体年度会費
② コンベンション団体負担金	0	50,000	△50,000	
(3) 事 務 費	3,500,000	3,500,000	0	電話料、消耗品、事務機器リース料等
(4) 雑 費	100,000	100,000	0	慶弔費、記念品等
2. 管 理 費	15,876,867	10,113,573	5,763,294	
(1) 契約職員人件費	10,171,765	4,393,320	5,778,445	専務理事1名(3ヶ月)、CF01名
① 給 料	7,988,568	3,154,272	4,834,296	
② 諸 手 当	435,427	630,854	△195,427	
③ 保 険 料	1,697,770	583,194	1,114,576	
④ 厚 生 費	50,000	25,000	25,000	
(2) 減価償却費	5,000	20,000	△15,000	
(3) 光熱水料費	1,000,000	1,000,000	0	事務所電気、ガス、水道料
(4) 賃 借 料	3,000,000	3,000,000	0	事務所・倉庫使用料
(5) 委 託 費	1,000,000	1,000,000	0	事務委託料
(6) 事 務 費	500,000	500,000	0	新聞代等
(7) 雑 費	200,102	200,253	△151	送金手数料等
当期支出合計	21,376,867	15,663,573	5,713,294	
当期収支差額	△6,645,116	△931,891	△5,713,225	

(収益事業) 法人会計

収入の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	比較増△減	説 明
当期収入合計	0	0	0	

支出の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	比較増△減	説 明
1. 管 理 費	33,537,437	51,001,006	△17,463,569	
(1)人 件 費	6,460,000	7,257,423	△797,423	職員1名
①給 料	3,190,000	3,748,800	△558,800	
②諸 手 当	2,310,000	2,474,214	△164,214	
③保 険 料	935,000	1,009,409	△74,409	
④厚 生 費	25,000	25,000	0	
(2)契約職員人件費	4,487,724	4,508,695	△20,971	契約1名
①給 料	2,743,776	2,743,776	0	
②諸 手 当	1,097,922	1,097,922	0	
③保 険 料	621,026	641,997	△20,971	
④厚 生 費	25,000	25,000	0	
(3)減価償却費	300,000	500,000	△200,000	
(4)租 税 公 課	18,328,624	33,917,781	△15,589,157	
①納 税 金	50,000	50,000	0	自動車税等
②消 費 税	18,278,624	33,867,781	△15,589,157	受託事業分 16,904,871 販売事業分 1,373,753
(5)事 務 費	500,000	500,000	0	研修費等
(6)雑 費	1,000	1,000	0	
(7)特定預金支出	3,460,089	4,316,107	△856,018	
①退職積立引当金	3,460,089	4,316,107	△856,018	
当期支出合計	33,537,437	51,001,006	△17,463,569	
法人税・住民税及び事業税	5,000,000	950,000	4,050,000	当年度課税概算額
当期収支差額	△38,537,437	△51,951,006	13,413,569	

法人会計(合算)当期収入合計	14,731,751	14,731,682	69	
法人会計(合算)当期支出合計	59,914,304	67,614,579	△7,700,275	
法人会計(合算)当期収支差額	△45,182,553	△52,882,897	7,700,344	

一般社団法人 長崎国際観光コンベンション協会 沿革

昭和 29 年(1954) 6 月	「長崎観光協会」創立 (6 月 8 日発足)
昭和 37 年(1962) 5 月	「長崎市観光協会」に改称
9 月	グラバー邸「団体休憩所」(現在はグラバー園) 売店運営開始 (令和 4 年 3 月 31 日廃止)
昭和 40 年(1965)10 月	「グラバー邸 (現在はグラバー園) 入場料徴収委託業務」開始 (平成 20 年 3 月 31 日廃止)
昭和 41 年(1966) 5 月	「長崎市立西坂レストハウス委託業務」開始 (廃止)
昭和 42 年(1967)12 月	「社団法人長崎市観光協会」として運輸大臣より設立認可される (12 月 20 日付)
昭和 52 年(1977) 2 月	「長崎市ペーロン協会」設立 (事務局担当)
昭和 54 年(1979) 2 月	「長崎観光龍踊り会」設立 (事務局担当)
昭和 56 年(1981) 4 月	グラバー園内「長崎伝統芸能館」受託運営 (廃止)
昭和 57 年(1982) 3 月	「長崎ハタ揚げ振興会」設立 (事務局担当)
昭和 60 年(1985)11 月	「日本開港五都市観光協議会」結成 函館・新潟・横浜・神戸・長崎の 5 都市観光協会
昭和 62 年(1987) 1 月	グラバー園内「自由亭」喫茶室運営業務開始 (令和 4 年 3 月 31 日廃止)
5 月	韓国「済州道観光協会」と姉妹観光協会締結
昭和 63 年(1988)10 月	事務局移転 (桜町 4-1 商工会館 3F)
10 月	「長崎コンベンションビューロー」設立 (事務局担当)
平成 2 年(1990) 1 月	「長崎市観光施設協議会」事務局担当 (平成 18 年 10 月 30 日廃止)
3 月	「ミス長崎選彰委員会」(現在ロマン長崎選彰委員会) 事務局担当 (令和 4 年 3 月 31 日廃止)
平成 4 年(1992)12 月	当協会と長崎コンベンションビューローとの一本化問題について検討委員会設置される
平成 7 年(1995)10 月	長崎コンベンションビューローと一本化 「社団法人長崎国際観光コンベンション協会」として 名称変更認可される (10 月 2 日付)
平成 8 年(1996)10 月	「旧香港上海銀行長崎支店記念館委託業務開始」 (平成 25 年 9 月 30 日廃止)
10 月	「旧香港上海銀行長崎支店記念館喫茶室」運営 (平成 13 年 3 月 31 日廃止)
平成 9 年(1997) 4 月	「グラバー園管理委託業務」開始 (平成 18 年 3 月 31 日廃止)
平成 9 年(1997) 4 月	「出島資料館(現在は出島)委託業務」開始 (令和 2 年 3 月 31 日廃止)
4 月	「出島資料館 (現在は出島へトル部屋及び旧出島神学校) 売店」運営開始 (令和 2 年 3 月 31 日廃止)

	4月	「科学館売店」運営開始（平成13年3月31日廃止）
	4月	事務局移転（グラバー園内へ）
平成10年(1998)	4月	当協会内に「コンベンション誘致対策本部」設置 (組織変更)
	9月	事務局移転（出島史料館内へ）
平成12年(2000)	4月	「旧内外クラブ喫茶室」運営開始 (平成14年3月31日廃止)
	11月	「長崎市宿泊施設協議会」事務局担当 (平成30年3月31日終了)
平成14年(2002)	2月	「長崎くんちモッテコイ実行委員会」設立(事務局担当) (平成17年度廃止)
平成16年(2004)	6月	協会創立50周年（11月に「記念式典」「マダム・バタフライ国際コンクール in 長崎」等の記念事業実施）
平成17年(2005)	3月	事務局移転（出島町1-1出島ワープ2階）
	4月	「東山手十二番館（長崎市旧居留地私学歴史資料館）」委託業務開始（平成28年3月31日廃止）
	4月	『「マダム・バタフライ」を活用した国際観光都市長崎プロモーション事業実行委員会』設立（事務局担当） (平成25年3月31日廃止)
平成19年(2007)	1月	当協会内に「さるく事業課」設置 (平成24年3月31日組織変更)
平成20年(2008)	12月	旅行業の登録（長崎県知事登録旅行業第3-143号） (平成22年9月 第2種旅行業に変更登録 第2-143号)
平成21年(2009)	8月	「長崎市亀山社中記念館」委託業務開始
平成22年(2010)	8月	中国「瀋陽市旅游協会」と観光交流友好協力協定締結
平成23年(2011)	3月	「長崎まちなか龍馬館」委託業務開始 (平成24年3月31日廃止)
平成23年(2011)	12月	「香港政府観光局」と友好親善協定締結
平成24年(2012)	3月	「一般社団法人長崎国際観光コンベンション協会」として長崎県より認可される（3月22日付）
平成24年(2012)	4月	「一般社団法人長崎国際観光コンベンション協会」への移行設立登記完了（4月1日付）
平成26年(2014)	8月	「長崎 MICE 誘致推進協議会」設立（事務局担当）
平成26年(2014)	11月	協会創立60周年（11月に「記念式典」の実施）
平成28年(2016)	4月	観光庁から日本版 DMO 候補法人(地域 DMO)に登録される (4月22日付)
平成28年(2016)	7月	当協会内に「DMO 推進本部」設置 (平成31年4月1日組織変更)
平成30年(2018)	3月	観光庁から日本版 DMO 法人※1(地域 DMO)に登録される (3月30日付) ※1 現、観光地域づくり法人(DMO)

